

教 育 要 覧

令 和 7 年 度
(2 0 2 5)



市内4小学校閉校式（令和8年3月11日、12日）

大町市教育委員会



市 章

制定：昭和29年12月21日

「大町市」の頭文字「大」の字を図案化したもの。中央の山型は当市が北アルプスの玄関口であり、山岳観光都市であることを披歴し、さらに将来の発展と繁栄を燕が上昇する姿に託しています。

大町市民憲章

- 1 厳しい風雪に耐えてたくましく
心優しく生きる市民です
- 2 麗しい風土と歴史をもち
土の香り高い文化を築く市民です
- 3 豊かな自然と環境を守り育て
教養と創造を重んじる市民です
- 4 つねに自治に励み
役割と責任を持ち合う市民です
- 5 郷土を愛し自己をみがき
未来をつくる幸せを喜び合う市民です

昭和52年7月2日



目 次

I	概 要	1
1	大町市の沿革.....	2
2	位置と地勢.....	3
3	人口と世帯数.....	4
4	教育委員、理事者.....	6
5	関係委員会等.....	7
6	教育委員会の組織.....	9
7	教育委員の事務分掌.....	10
8	教育予算.....	13
9	教育行政のあゆみ.....	15
II	学 校 教 育	29
1	市内小中学校.....	34
2	学校施設.....	41
3	学校別児童生徒及び学級数.....	42
4	小中学校教職員数.....	44
5	外国人英語指導助手.....	45
6	通学区.....	45
7	小規模特認校制度.....	46
8	山村留学生受け入れ状況.....	46
9	就学援助.....	47
10	中学校卒業後の状況.....	49
11	奨学金.....	51
12	私学振興.....	53
13	教員住宅.....	53
14	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動.....	54
15	教育支援委員会.....	56
16	特別支援教育.....	56
17	キャリア教育.....	58
18	教育支援センター.....	59
19	不登校・いじめの状況.....	60
20	いじめ防止対策.....	61
21	児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み.....	64

22	通学の安全確保に関する取り組み	65
23	学校給食	67
24	中学校部活動の地域展開	69
III	生涯学習推進と社会教育	71
1	生涯学習・社会教育	73
2	青少年	75
3	文化財	77
4	人権教育	92
5	公民館	98
6	図書館	102
7	山岳博物館	108
8	民俗資料館	113
9	文化会館	115
10	女性未来館ピュア	117
11	大町市文化財センター	118
12	重要文化財旧中村家住宅	118
13	社会教育施設一覧表	119
IV	社会体育	120
1	社会体育	121

I 概 要



1 大町市の沿革

今から約900年前、伊勢の内宮御陵として仁科御厨（みくりや）が設定されたとき、この地方に定着していた仁科氏は、この御厨を預かって神宮への神役を果たしつつ勢力を得、周辺地域の開発にも力を入れて領地を拡大し、皇室御陵仁科庄として支配するようになった。

仁科氏は社の館之内に居を構えていたが、鎌倉時代に入ってから大町に居館を移して広く糸魚川方面にまで勢力を張るに至った。この地方が仁科と呼ばれるようになったのは、このような歴史があつてのことである。仁科氏は早くから京都や伊勢と深いつながりをもっていた関係で、中央の進んだ文化を取り入れて、この地方の開発に力を注ぎ、仁科神明宮本殿及び中門（国宝）に代表される優れた文化財を残している。

しかし今から400年前、戦国時代の終わり近くに至って、武田信玄のためその家系を絶たれた。信玄はその子盛信を遣わして仁科の名跡を継がせたが、天正10年高遠城で敗死してからまもなく松本城を回復した小笠原氏の勢力下に入ることになり、この地方の支配関係に一大変革をきたすこととなった。江戸時代、松本藩では北安曇地域に大町・池田・松川の3組を置いて治めており、大町平（大町村・高根新田村および平地区9か村）と八郷（社地区8か村）とが大町組に、常盤地区5か村が松川組に、現社地区山ノ寺村が池田組に属していた。

仁科氏が領有していた時代から、この地域には、日本海と松本方面を結ぶ糸魚川街道が通じており、海産物をはじめ多くの物資が流通し、信州における経済的交通路の一つとして重視されていた。それらの物資の集散地であつた大町は、宿駅的性格を基に商業都市として栄えた。

明治維新後、大町市域は一時松本県に属したが、明治4年筑摩県が成立するに及んでその管下に入り、同9年筑摩県が長野県の管下に移ることになった。同8年、村々の合併の議が進み、大町村と高根新田町が合併して大町村、社地区の9か村が社村、平地区の9か村が平村、常盤地区5か村が常盤村となった。同22年には町村制が実施され、昭和29年7月1日、町村合併促進法により、1町3か村の合併が成立し大町市が誕生した。

平成に入り旧合併特例法の期限が平成17年3月31日と定められたのに伴い、平成18年1月1日、大町市、八坂村、美麻村の1市2村が合併し、新「大町市」が誕生した。

2 位置と地勢

位置	東経 137° 51' 3"	北緯 36° 30' 10"
面積	565.15 k m ²	
海拔	726 m	

(測点 大町市役所)

大町市は長野県の北西部、松本平の北側に位置している。

当市一帯の地形は、東西両山地とその間に挟まれた帯状の中央低地（安曇平）で構成され、糸魚川静岡地質構造線に沿って何回か繰り返された垂直的断層によって形成された。現在の地形の原型は洪積世（約 100 万年前）に起こった陥没によって形成され、このとき木崎湖・中綱湖・青木湖のいわゆる仁科三湖も形成されたものと考えられている。

通称中山山地と呼ばれる東部山地は、第三期の水成岩（約 3,000 万年前）を基盤として、造られ、鷹狩山・霊松寺山のようになだらかな起伏を持っている。

西部山地（北アルプス一帯）は、古生代の水成岩（約 3 億年前）を基盤とした険しい地形で、槍ヶ岳をはじめとして、鹿島槍ヶ岳・針の木岳など 2,800m 以上の高峰が連なっている。日本には断層地形が非常に多いといわれているが、北アルプスはその中でも最高最大の断層地形が展開しており、市街地からこれらの雄大な地形を望むことができる。

中央低地は旺盛な堆積作用を持った高瀬川の沖積地を主体として、鹿島川・籠川・乳川などによって形成された扇状地と結合して形成された複合扇状地で、古くから活発な土地利用が行われ、市街地を含めた宅地・農地などはこの中央低地に集中している。

中央低地を流れる高瀬川の左岸には段丘や中山山地の崩土崖錐層（社方面）が発達し、これらの台地は西部山地と平野部の接点で起こった活発な堆積作用により東偏して流れる高瀬川によって区画されている。

右岸は、自然堤防となった河岸で保護され、安定した砂れきの沖積地（常盤方面）は農地・宅地などに利用されている。

これらの中央低地に挟んだ東西両山地は地形・地質のうえで対照的であり、地質時代のごく最近までは相当の地質変動があったと考えられ、現在も緩慢な地殻運動が続けられている。

3 人口と世帯数

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
昭和5年	3,884	19,073	9,302	9,771
10	4,163	21,457	11,133	10,324
15	4,567	23,711	11,669	12,042
20	5,492	28,827	13,253	15,574
25	5,749	30,508	14,118	16,390
30	6,229	30,722	14,715	16,007
35	7,508	35,151	17,745	17,406
40	7,700	32,085	15,143	16,942
45	8,122	31,899	15,181	16,718
50	8,983	33,844	16,518	17,326
55	9,605	32,966	15,981	16,985
60	9,565	32,451	15,647	16,804
平成2年	9,710	31,597	15,223	16,374
7	9,941	31,020	15,068	15,952
12	10,403	31,016	15,068	15,948
13	10,452	30,949	14,993	15,956
14	10,422	30,661	14,860	15,801
15	10,425	30,439	14,720	15,719
16	10,596	30,198	14,678	15,520
17	10,970	30,324	14,668	15,656
18	11,812	32,227	15,574	16,653
19	11,871	31,860	15,409	16,451
20	11,909	31,488	15,225	16,263
21	11,927	31,148	15,049	16,099
22	11,966	30,737	14,870	15,867
23	12,007	30,456	14,737	15,719
24	11,820	30,021	14,535	15,486
25	11,790	29,606	14,347	15,259
26	11,825	29,328	14,204	15,124
27	11,828	28,962	14,033	14,929
28	11,844	28,517	13,861	14,656

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
平成29年	11,871	28,124	13,691	14,433
30	11,910	27,741	13,478	14,263
令和元年	11,893	27,356	13,289	14,067
2年	10,905	25,978	12,608	13,370
3年	10,907	25,576	12,408	13,168
4年	10,805	25,277	12,239	13,038
5年	10,852	24,926	12,058	12,868
6年	10,838	24,500	11,877	12,623
7年	10,897	24,202	11,739	12,463

4 教育委員会、理事者

(1) 教育委員会

役職名	氏名	就任年月日	住所	備考
教育長	中村 一郎	令5.4.1	大町市大町（大原町）	
同職務代理者	下川 清志	令元.8.13 再任 令5.8.13	大町市社（宮本）	教育長職務代理者就任 令7.1.1
委員	森 しのぶ	令4.1.1	大町市大町（三日町）	
委員	北澤 明美	令4.9.26	大町市八坂（大平）	
委員	奥原 圭永	令7.1.1	大町市常盤（上一）	

(2) 理事者

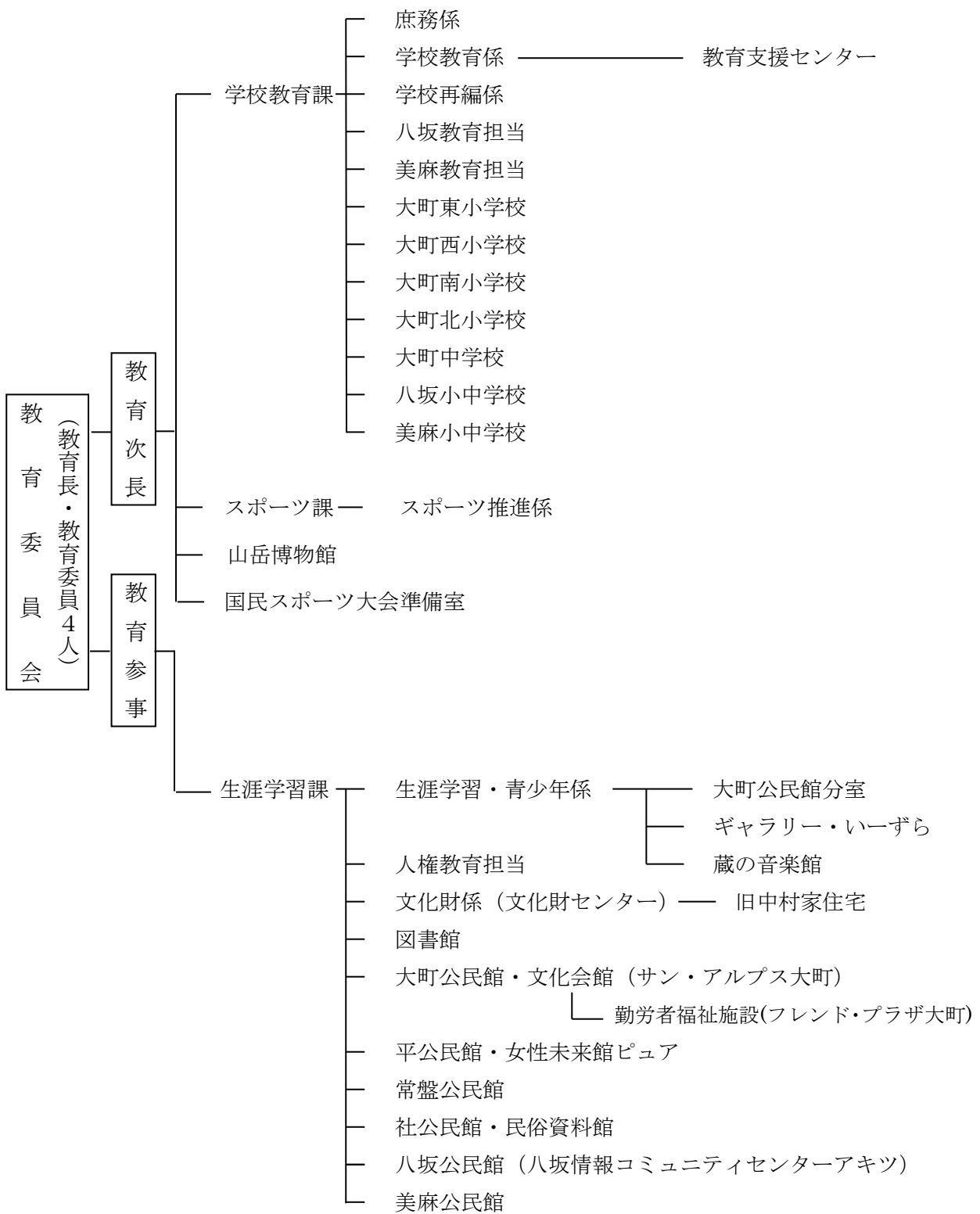
役職名	氏名	就任年月日	住所	備考
市長	牛越 徹	平18.7.14	大町市常盤（泉）	
副市長	矢花 久則	令2.4.1	大町市大町（南原町）	

5 関係委員会等

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
教 育 支 援 委 員 会	大町市教育支援委員会設置条例	22 以内	2
キャリア教育推進協議会	大町市キャリア教育推進協議会設置要綱	20 "	2
情報教育推進委員会	大町市情報教育推進委員会設置要綱	10 "	1
児童の通学における安全推進会議	大町市児童生徒の通学における安全推進会議設置要綱		1
学 校 運 営 協 議 会	大町市学校運営協議会規則	15 以内	3
いじめ問題対策連絡協議会	大町市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱	12 "	2
社 会 教 育 委 員	大町市社会教育委員設置条例	10 "	2
大町公民館運営審議会	大町市公民館条例	10 "	2
平公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
常盤公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
社公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
八坂公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
美麻公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
図 書 館 協 議 会	市立大町図書館設置及び管理に関する条例	7 "	2
山 岳 博 物 館 協 議 会	市立大町山岳博物館条例	15 "	2
文化会館運営委員会	大町市文化会館条例	10 "	2
女性未来館ピュア運営委員会	大町市女性未来館ピュア設置及び管理に関する条例	8 "	2
文化財保護審議会	大町市文化財保護条例	7 "	2
青少年問題協議会	大町市青少年問題協議会条例	若干名	2
青少年補導委員協議会	大町市青少年補導委員協議会会則		2
子ども会育成連絡協議会	大町市子ども会育成連絡協議会規約		1
青少年育成市民会議	大町市青少年育成市民会議規約		2
人権教育推進協議会	大町市人権教育推進協議会規約	30 以内	2
学校人権教育研究委員会	大町市学校人権教育研究委員会設置要綱	各校1名	1
企業人権教育推進協議会	大町市企業人権教育推進協議会会則		1

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
人権・同和教育推進懇談会	大町市人権・同和教育推進懇談会設置要綱	10 以内	2
生涯学習のまちづくり 推 進 本 部	大町市生涯学習のまちづくり推進本部設置要綱		2
文化芸術振興審議会	大町市附属機関に関する条例	18 以内	2
科 学 振 興 会	大町市科学振興会規約		
八坂、美麻山村留学 推 進 協 議 会	大町市八坂・美麻山村留学推進協議会規約		2
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会	大町市スポーツ推進審議会条例	10 "	2
ス ポ ー ツ 推 進 委 員	大町市スポーツ推進委員に関する規則	20 "	2
学校施設開放運営協議会	大町市立学校の施設の開放に関する規則	15 以内	

6 教育委員会の組織



7 教育委員会の事務分掌

課	係	事 務 分 掌
学校教育課	庶務係	1. 公印の管守 2. 教育委員会の会議 3. 教育委員会規則等 4. 公告式 5. 請願及び陳情 6. 寄付採納 7. 栄典 8. 教育財産（整理簿） 9. 教育委員会職員の人事等 10. 公務災害 11. 県費負担教職員の人事内申等 12. 学校医等 13. 教職員の健康診断等 14. 児童生徒の就学援助 15. 特別支援教育就学奨励費 16. 奨学金 17. 文書の受付及び発送 18. 公文書の公開 19. 個人情報の保護 20. 私学助成 21. 教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価 22. 児童生徒の就学 23. 教科書事務 24. 学校業務改善 25. 学校給食費の徴収管理
	学校教育係	1. 学校の組織編制 2. 通学区域（通学路） 3. 学校施設の整備及び維持管理 4. 教育支援委員会 5. キャリア教育 6. コミュニティスクール 7. 情報教育 8. 学校運営協議会（学校運営委員会） 9. いじめ問題 10. 教育課程等 11. 教科書選定及び教材備品 12. 学校災害共済 13. 学校事故報告 14. スクールバス 15. 学校給食 16. 教員住宅 17. 教育支援センター 18. 教育相談 19. 学校保健、児童生徒の健康診断 20. 外国語教育
	学校再編係	1. 学校再編 2. 小中一貫教育の推進
	八坂教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 八坂地区小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理
	美麻教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 美麻小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理

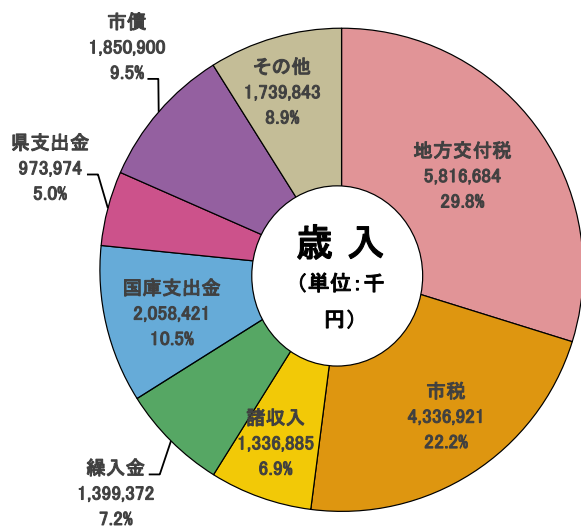
課	係	事 務 分 掌
生涯学習課	生涯学習 ・青少年係	1. 生涯学習推進（推進プラン） 2. 生涯学習のまちづくり推進本部 3. 社会教育委員 4. 社会教育関係施設・係の連絡調整 5. 社会教育関係団体の指導助言 6. コミュニティ施設整備支援 7. 大町公民館分室 8. 蔵の音楽館 9. 文化・芸術の振興 10. 文化芸術振興審議会 11. ギャラリー・いーずら 12. 二十歳の門出 13. 科学振興 14. 信濃木崎夏期大学 15. エネルギー博物館 16. リーダーバンク 17. 青少年問題協議会 18. 青少年センター 19. 青少年補導委員協議会 20. 青少年育成市民会議 21. 子ども会育成連絡協議会 22. 青少年関係団体
	人権教育担当	1. 人権教育の総合的な計画及び推進 2. 人権教育関係機関、団体との連絡調整 3. 学校及び地域への人権教育 4. 解放子ども会 5. 人権・同和教育推進懇談会 6. 企業内の人権教育 7. 人権教育推進協議会 8. 人権問題についての対応
	文化財係	1. 文化財 2. 文化財保護審議会 3. 埋蔵文化財発掘調査 4. 文化財センター 5. 旧中村家住宅
社会教育施設	公民館	1. 公民館運営審議会 2. 分館の運営活動の援助及び指導 3. 社会教育団体の連絡調整 4. 公民館講座の推進 5. 地区別体育事業 6. 館報の発刊 7. 文化祭 8. 視聴覚教室 9. 生活改善 10. 人権教育 11. 分館長会 12. 生涯教育 13. 活動団体の育成 14. 地域学校協働活動
	図書館	1. 閲覧および貸出し 2. 資料の受入れ整理 3. 図書館協議会 4. 大北図書館協会 5. 関係グループの育成等 6. 調査相談（レファレンス） 7. 園文庫 8. 障がい者サービス 9. 広報 10. 読書推進
	文化会館	1. 自主事業 2. 文化会館運営委員会 3. 文化会館ホールアシスタント 4. 芸術文化団体の育成 5. 施設の貸し出し 6. 文化事業の共催および後援
	勤労者福祉施設	1. 運営、管理
	女性未来館 ピュア	1. 女性未来館ピュア運営委員会 2. 職能講座 3. 家庭生活講座 4. 婦人問題講演会 5. 余暇活動の援助 6. 女性団体・サークルの育成 7. 職業・家庭生活等の相談 8. 託児業務
	民俗資料館	1. 案内窓口 2. 常設展示 3. 資料の受入れ 4. 特別展示

課	係	事 務 分 掌
社会教育施設	八坂情報コミュニティセンターアキツ	1. 運営、管理
スポーツ課	スポーツ推進係	1. 社会体育総合計画 2. 社会体育施設の整備および維持管理 3. 社会体育施設および学校施設の開放 4. 学校施設開放運営協議会 5. スポーツ大会等の計画、運営 6. スポーツ推進委員 7. 市民の保健、体力づくり 8. B&G海洋センター 9. スポーツ大会等の奨励および指導 10. 体育関係団体 11. スポーツ傷害保険
山岳博物館		1. 博物館資料の収集・整理・保管 2. 調査研究 3. 教育普及 4. 案内窓口・展示レファレンス活動 5. 展示業務(常設展示・企画展示・特別展示) 6. 動植物飼育栽培繁殖 7. 山岳図書資料館の管理 8. インターネット・ウェブサイトの運営 9. 「山と博物館」等の情報発信 10. 資料の受贈・受託及び貸出 11. 年報・紀要の発行 12. 山岳博物館協議会 13. 大町博物館連絡会との連携 14. 信州大学山岳科学研究所等との研究協力 15. 友の会等関係団体との提携 16. アートライン連絡会との連携 17. 長野県山岳総合センターとの連携
国体スポーツ準備室		1. 第82回国民スポーツ大会及び第27回障害者スポーツ大会の開催 2. 第82回国民スポーツ大会及び第27回障害者スポーツ大会の競技施設整備

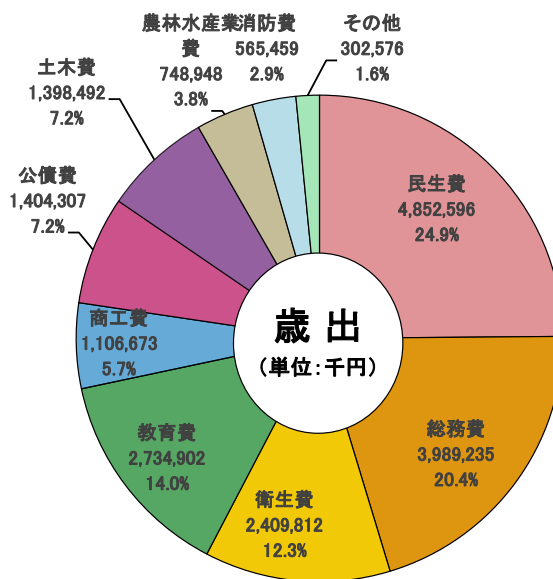
8 教育予算

(1) 令和7年度一般会計当初予算

歳入 19,513,000千円



歳出 19,513,000千円



(単位 千円)

歳 入				歳 出			
区 分	予 算 額	構 成 比		区 分	予 算 額	構 成 比	
1 市 税	4,336,921	22.2 %		1 議 会 費	156,164	0.8 %	
2 地 方 譲 与 税	228,855	1.2		2 総 務 費	3,989,235	20.4	
3 利 子 割 交 付 金	907	0.0		3 民 生 費	4,852,596	24.9	
4 配 当 割 交 付 金	15,400	0.1		4 衛 生 費	2,409,812	12.3	
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	16,500	0.1		5 労 働 費	121,411	0.6	
6 法 人 事 業 税 交 付 金	54,000	0.3		6 農 林 水 産 業 費	748,948	3.8	
7 地 方 消 費 税 交 付 金	710,000	3.6		7 商 工 費	1,106,673	5.7	
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,570	0.0		8 土 木 費	1,398,492	7.2	
9 環 境 性 能 割 交 付 金	15,800	0.1		9 消 防 費	565,459	2.9	
10 地 方 特 例 交 付 金	16,700	0.1		10 教 育 費	2,734,902	14.0	
11 地 方 交 付 税	5,816,684	29.8		11 災 害 復 旧 費	1	0.0	
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	2,100	0.0		12 公 債 費	1,404,307	7.2	
13 分 担 金 及 び 負 担 金	77,407	0.4		13 予 備 費	25,000	0.1	
14 使 用 料 及 び 手 数 料	254,500	1.3					
15 国 庫 支 出 金	2,058,421	10.5					
16 県 支 出 金	973,974	5.0					
17 財 産 収 入	18,003	0.1					
18 寄 付 金	128,101	0.7					
19 繰 入 金	1,399,372	7.2					
20 繰 越 金	200,000	1.0					
21 諸 収 入	1,336,885	6.9					
22 市 債	1,850,900	9.5					
歳 入 合 計	19,513,000	100.0		歳 出 合 計	19,513,000	100.0	

(2) 令和7年度教育費当初予算 (歳出)

(単位 千円)

項	目	本年度予算額
1 教育総務費		158,878
	1 教育委員会費	4,323
	2 事務局費	154,555
2 小学校費		1,157,179
	1 小学校管理費	109,847
	2 小学校教育振興費	172,989
	3 学校再編環境整備費	874,343
3 中学校費		96,714
	1 中学校管理費	54,979
	2 中学校教育振興費	41,735
4 社会教育費		408,716
	1 社会教育総務費	73,937
	2 青少年育成費	4,397
	3 生涯学習推進費	70,559
	4 図書館費	32,377
	5 文化会館費	221,220
	6 文化財保護費	6,226
5 保健体育費		690,538
	1 体育振興費	62,825
	2 体育施設費	436,765
	3 学校給食費	190,948
6 山岳博物館費		222,877
教育費合計		2,734,902
5 労働費		121,411
1 労働諸費	2 労働施設費	5,123

9 教育行政のあゆみ

- 昭和 29. 5.24 大町、平村、常盤村および社村が合併の調印
7. 1 市制施行
教育委員に西沢録四郎、平林悦夫、遠藤嘉久、平林忠雄、宮田清の各氏就任
8. 8-9 市民登山(白馬岳 34 人)。第 1 回町民登山(鹿島槍ヶ岳 17 人)以来毎年実施
- 11.24 図書館内に PTA 母親文庫北安曇配本所開設
30. 3.25 教育委員に清水敬一郎、平林悦夫、中村勝則、阿部西与、原又雄の各氏就任
- 5.27 「大町市中学校制度確立に関する意見書」を市議会で議決
- 10.15 小中学校の完全給食を実施
31. 6.18 常盤中学校の普通教室・管理棟が新築落成(工事費 1,425 万円)
8. 8 菅沢幸雄、阿部西与、平林悦夫、中村勝則、竹内周也の各氏教育委員に任命
- 8.15 市公民館、文部省から準優良公民館として表彰される
11. 8 第 1 回市文化祭
32. 1.22 大町中学校制度審議会が大町市中学校制度に関して答申
- 3.27 山岳博物館指導の大映映画「白い山脈」(動物記録映画)完成。文部省特選
8. 8 三沢巖氏教育委員に任命
11. 1 山岳博物館第二期建物、東山樋沢の現在地に落成開館(工事費 360 万円)
33. 1.13 大町市中学校制度推進特別委員会は大町地区に 1 校新設することの必要を市議会議へ報告、市議会これを了承
- 8.11 幡野茂道氏教育委員に任命
- 12.11 子ども劇場(民間)を開設
34. 2.23 中学校の4校を統合し、第一中学校(新設)・第二中学校・第三中学校とすることを市議会で議決
- 3.12 上原遺跡を買収、復元に着手
4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校となる。第一中学校は校舎が新築されるまで旧平中学校と第二中学校で学習する
- 6.10 針ノ木岳周辺総合学術調査報告書を山岳博物館で出版、針ノ木自然園の基礎計画ができる
- 7.10 天然記念物の「噴湯丘」が湯俣沢の増水で流失したことを発見
8. 8 一志五郎氏教育委員に任命
- 8.30 国宝仁科神明宮の防災工事完成(工事費 180 万円)
9. 9-13 第 12 回県美術展(大町公民館)
- 10.30 国宝仁科神明宮の式年造営(工事費 120 万円)
35. 3.31 第一中学校普通教室の北校舎西側が完成
総合グラウンドの野球場完成(工事費 2,800 万円)
- 8.22 片倉甫氏教育委員に任命

- 10.15 総合グラウンドのテニスコート・バレーコート完成(工事費 105 万円、皇太子殿下ご成婚記念)
- 36. 3.10 上原遺跡の堅穴保存工事完成(工事費 5 万円)
第一中学校北校舎東側完成
- 3.27 皇太子殿下山岳博物館などご視察
- 3.29 第一中学校普通教室・特別教室・管理棟落成(工事費 6,140 万円)
- 4. 1 第一中学校新校舎に移転し、実質統合中学校となる
山岳博物館が高山植物コマクサの低地栽培に成功
- 6.15 秩父宮妃と高松宮ご夫妻が山岳博物館にご見学
- 12. 1 第一中学校体育館落成(工事費 2,288 万円)、(第一中学校建設工事が完了)
- 37. 4. 5 山岳博物館の北ア動物生態グループがライチョウの生態研究結果を学会に発表
- 4.10 皇居外苑保存会からコブハクチョウ一羽が贈られ、木崎湖畔に「白鳥の池」を造って放鳥
- 6. 8 第 3 回全日本学生ワルデルング(鹿島大谷原)
- 11. 1 山岳博物館の裏山にカモシカ園を造り、カモシカ「岳子」を放し飼い
- 38. 1.25 矢口亨氏教育委員に任命
- 2.12 山岳博物館が北アルプス爺ヶ岳で冬期ライチョウ調査
- 5.14 内川金市氏教育委員に任命
- 6.10 針ノ木自然園総合学術調査(黒部の観光開発と並行して、学術的資料を整備)
- 39. 1. 第三中学校給食室完成
- 5.13 木崎湖「白鳥の池」でコブハクチョウがふ化
- 10.19 西山千明氏、荒井録良氏教育委員に任命
- 40. 3. 1 山岳博物館が秩父宮記念学術賞受賞
- 4. 1 仁科台中学校発足。仁科台中学校大町部校、同常盤部校となる
- 9. 1 山下利彦氏教育委員に任命
- 41. 4.15 山岳博物館にカモシカ放養園が完成
- 8.22 矢口けさ江氏教育委員に任命
- 42. 3.31 仁科台中学校完成(工事費 2 億 7,500 万円)
- 4. 2 中学校 2 校制に伴う新学区による第一中学校の開校式
- 4. 3 仁科台中学校新校舎で開校式
- 7.27 仁科台中学校体育館完成
- 8.10 五十嵐水卯氏教育委員に任命
- 43. 9.24 大町小学校校舎1棟全焼
- 12.22 第一中学校技術棟完成
- 44. 3. 7 百瀬渉氏教育委員に任命
- 11.11 松本明氏教育委員に任命
- 12.10 文化財審議委員会発足
- 45. 1.31 大町小学校校舎 2 棟完成(工事費 4,980 万円)
- 3.22 平小学校の野口分校(明治 5 年開設)、源汲分校(明治 8 年開設)閉校

- 8. 1 三日町来見原地籍「かしわくずれ1号墳」の埋蔵文化財発掘
- 10.12 大町図書館落成開館(工事費 2,484 万円)
- 11. 2 第一中学校開校 10 周年記念式典
- 46. 8. 4 第一中学校プール完成
- 10 大北地域広域市町村圏事務組合発足
- 10.26 大町小学校開校 100 周年記念式典
- 47. 5. 公民館運営審議会に諮り同和教育事業推進のための年次計画を決定
市内小中学校へ同和教育研究委員を委嘱、学校同和教育の取り組みに着手
- 6.26 同和対策審議会発足
- 8.24 小学校制度審議会「小学校制度」について答申
- 11.20 富山県氷見市と姉妹都市の調印
- 48. 3. 常盤小学校松林の間伐を行い、遊歩道を設けて「健康の森」とする
- 3.25 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」を中国へ贈る
- 3.31 宮下正治氏、横沢監物氏教育委員に任命
- 4. 1 同和対策課を設置、大町市小学校同和教育計画を作成
- 7.30 市民プール完成(工事費約 2,000 万円)
- 49. 1. 5 運動公園建設着工
- 4. 1 教育委員会事務局に社会体育係設置
- 6. 2 常盤小学校東校舎焼失
- 8.22 西山正氏教育委員に任命
- 9. 同和教育推進協議会を設立
- 50. 1. 4 教育委員会内に同和教育係を設置、同和教育指導員 2 名を配置
- 4. 1 大北視聴覚ライブラリー開設
- 7. 1 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明施設完成
- 8.10 鈴木忠博氏教育委員に任命
- 10. 1-2 第 24 回長野県公民館大会(大町小学校)
- 12. 1 常盤小学校校舎 5 教室完成
- 51. 2.14 第 1 回部落解放市民大会
- 3.31 第一中学校技術棟 2 階増築完成
- 4. 1 少年育成補導センターを教育委員会事務局内に設置
美麻南・北小学校統合により美麻小学校
- 6. 第 1 回同和教育指導者養成講座(常盤地区)
- 7.16 上條為人氏、横沢茂氏教育委員に任命
- 10.31 仁科台中学校開校 10 周年記念式典
- 52. 3.22 平小学校閉校
- 3.31 清水利和氏教育委員に任命
- 4. 1 県からの派遣社会教育主事(スポーツ担当)として花岡実教諭着任(3 年間)
美麻南・北中学校統合により美麻中学校(小中併設校)
- 4. 4 北小学校開校
- 5.13 山岳博物館のニホンカモシカ「岳子」永眠(飼育 21 年 3 か月)

- 6. 企業同和教育連絡協議会設立
- 7. 2 市民憲章を制定
- 7.21 新市庁舎が完成(総工費 11 億 8,000 万円)
- 7.30-31 国体リハーサル大会の全国選抜少年団サッカー大会
- 11. 解放子ども会設置
- 53. 1.23 常盤小学校で毎週月曜日、弁当持参による米飯給食開始
- 3. 小中学校同和教育計画書を改訂
- 3.10 北小学校校歌・校旗できる
- 4. 同和教育推進教員を配置、市内 6 校を同和教育指定校に指定
- 4. 1 学校体育施設の一般開放始まる
- 部落解放都市宣言
- 大町総合病院に院内学級開設
- 青少年育成会連絡協議会を設置
- 6. 第 1 回市内教職員同和教育研究会
- 7. 9 運動公園陸上競技場(第 3 種公認)完成
- 8. 2 市公民館平支館、旧平小学校へ移転
- 8.15 成人式を夏に変更
- 9.24 遠藤正賢氏教育委員に任命
- 10. 隣組同和教育講座を開設
- 10.15-20 第 33 回国民体育大会やまびこ国体
- 10.16 やまびこ国体サッカー競技大会
- 10.19 常陸宮両殿下サッカー競技ご観覧
- 11. 5 第 1 回全国健康マラソン大会
- 54. 4. 1 同和教育集会所開設
- 6.20 図書館 2 階へ学習室・収蔵庫を増築完成
- 7. 常盤小学校第 1 グラウンドの高低差 90cm をなくす工事を行う
- 7.23 常盤小学校プール完成
- 9.26 西公園グラウンド夜間照明点灯式
- 11. 9 市史編纂(さん)室設置
- 11.16-18 仁科神明宮遷宮祭
- 11.29 B&G 財団大町海洋センターオープン
- 55. 4. 市内学校同和教育研究委員会に高校も参加、幼・保・小・中・高一貫の学校同和教育を推進
- 7.25 平グラウンドの夜間照明点灯
- 10. 1 市公民館常盤支館、旧第三中学校へ移転
- 10.31 第一中学校開校 20 周年記念式典
- 56. 2.13 B&G 大町海洋センター武道館完成
- 3.31 社小学校閉校
- 4. 1 一志開平氏教育委員に任命
- 4. 4 東小学校開校

- 4.22-5.5 パンダ「ランラン」のはく製を山岳博物館で公開(貸し出し第1号)
- 12.20 北小学校給食棟完成
- 57. 2. 1 砂田繁雄氏教育委員に任命
 - 3.13 東小学校校歌発表会
 - 3.16 仮称大町西小学校プレイルーム・特別教室完成
 - 4. 1 常盤小学校プレハブ校舎特別教室分新設
 - 4.28 (財)大町エネルギー博物館開館(工事費 3 億 2,000 万円)
 - 6. 5 山岳博物館第三期建物落成開館(工事費 4 億 9,300 万円)
 - 7. 9 B&G 大町海洋センター多目的広場完成(旧社小跡地)
 - 7.13 児童生徒健全育成推進モデル地区に指定
 - 8.18 仮称大町西小学校高学年棟完成
- 58. 3. 小中学校同和教育指導書を作成
 - 4. 企業同和教育推進連絡協議会を企業同和教育推進協議会に改称
 - 4. 1 市役所出張所(平・常盤・社)を廃止、平・常盤・社に独立公民館を設置
 - 5.17 春の花壇コンクールで、第一中学校、文部大臣賞受賞
 - 6.25 仮称大町西小学校管理棟完成
 - 8.12 北小学校 2 教室増築工事完成
 - 8.17 仮称大町西小学校給食棟完成
- 11. 6 第1回常盤少年駅伝大会
- 59. 3.18 仁科台中学校、花壇コンクールで、文部大臣奨励賞受賞
 - 4. 1 平公民館・働く婦人の家(複合施設)開館(工事費 3 億 500 万円)
 - 西小学校開校
 - 図書館に障がい者用便所を増築、完成
 - 5. 2 運動公園に全天候テニスコート開設
 - 6.28 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明灯増設
 - 7. 1 市制 30 周年記念式典
 - 市史第 1 巻・第 5 巻刊行
 - 7. 9 西小学校プール完成
 - 9.26 第一中学校大規模改修工事(校舎)終了
 - 10.10 第 1 回大町健康シティーマラソン
 - 10.26 ニホンカモシカ 2 頭、オーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を通じて、ウィーン市のシェーンブルン宮殿動物園へ贈る
 - 11.30 国宝仁科神明宮の防災設備が完成(工事費 1,359 万円)
 - 12.27 仮称大町南小学校プレイルーム棟完成
- 60. 2.15 シェーンブルン動物園へ贈った雌カモシカの死亡により、再び雌1頭贈る
 - 2.18 大町市とインスブルック市、山岳博物館とアルペン動物園が友好提携の調印
 - 3.22 仮称大町南小学校普通教室棟完成
 - 4. 1 教育委員会事務局に課制を敷き、学校教育課と社会教育課が発足
 - 民俗資料館が開館(工事費 1 億 3,000 万円)

- 4. 1 解放子ども会指導委員会を解放子ども会運営委員会に統合
青少年センターを教育委員会事務局内に設置(旧少年育成補導センター)
少年教育電話相談開設
- 4.27 アルプスマーモットふたつがいがインスブルック市から山岳博物館に到着、一般公
開始まる
- 7. 3 青少年育成市民会議発足
- 8.10 B&G 財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される
- 8.17 第一中学校大規模改修工事終了(配線工事ほか)
- 8.19 仮称大町南小学校給食棟・特別教室棟が完成、使用開始
- 9. 1 市史第 2 巻・第 4 巻刊行
- 11. 1 長野建設労働者研修福祉センター・愛称「サン・アルプス大町」開館(工事費 3 億
5,000 万円)
- 61. 1.20 仮称大町南小学校管理棟完成
- 3. 1 市史第 3 巻刊行(全 5 巻完結)
- 3.15 市制 30 周年記念「大町ーきのう、きょう、あした」、県自作教育ビデオ最優秀賞
- 3.24 オオライチョウ 1 つがいがインスブルック市から山岳博物館に到着(雌は輸送中に
死亡)
- 4. 1 働く婦人の家、長野建設労働者研修センター補助執行
- 4.20 運動公園野球場落成記念・高等学校招待野球
- 5.10 オオライチョウの卵(5 個)をインスブルック市アルペン動物園長持参(ふ化せず)
- 5.28 大町公民館・文化会館(複合施設)開館(総事業費 16 億 8,800 万円)
- 7.25-27 第 7 回北信越国民体育大会・山岳競技の部
- 8.10 夏期巡回 NHK ラジオ体操会
- 8.29-31 第 7 回北信越国民体育大会・サッカー競技
- 9.26 西山謙次氏教育委員に任命
- 9.27 仮称大町南小学校体育館完成(工事費 1 億 8,900 万円)
- 11. 1 北小学校開校 10 周年記念式典
- 11. 2 仁科台中学校開校 20 周年記念式典
- 12.30 重要文化財若一王子神社本殿防災施設完成(工事費 1,291 万円)
- 62. 1.14 仮称大町南小学校屋外環境整備等完成(工事費 3,439 万円)
- 2.11 第 1 回綱引きトーナメント
- 3.20 運動公園弓道場・相撲場完成(工事費 1,860 万円)
- 3.27 南小学校開校祝賀式(総工事費 11 億 2,600 万円)
- 3.30 家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.1 発刊
- 4. 3 南小学校開校・入学式
- 4. 6 加藤寿々子氏、著名作家書簡等を市へ寄贈
- 4.20 運動公園多目的広場完成(工事費 5,710 万円)
- 5. 5 オオライチョウの卵(9 個)アルペン動物園長持参、30 日ふ化(雌雄各 2)
- 8.13 藤沢彌五衛氏教育委員に任命
- 8.28 第一中学校校舎、体育館大規模改修完了(工事費 4,015 万円)

- 9.20-30 アルペン動物園開設 25 周年記念行事に市民訪問団参加(13 人)
11. 3 加藤朝鳥・寿々子両氏にかかわる「著名作家書簡展」文化会館で開く
63. 3.30 第一中学校玄関ポーチ、校名板設置(工事費 98 万円)
- 「市内遺跡分布調査報告書」発刊
- 家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.2 発刊
- 3.31 「社会教育計画」発刊
- 「来見原遺跡調査報告書」発刊
4. 南小学校、体力づくり推進校として文部省指定(3 年)
- 4.25 同和教育相談員(4 人)設置
- 7.23 チョモランマ／サガルマタ友好登山記念講演会(文化会館)
8. 1 外国青年英語指導助手招致、アラン・ラインステイン氏(米)発令(3.3.31 まで)
- 9.28 運動公園マレットゴルフ南コース完成
- 10.25 県宝若一王子神社三重塔防災施設完成
11. 6 運動公園総合体育館完成(工事費 9 億 8,448 万円)
- 12.20 北小学校みどりの少年団結団式
- 平成元 1.21 総合体育館落成記念全日本バレーボール男女選抜リーグ大町大会
- 1.28-30 運動公園を主会場に「大町雪と氷の博覧会」が開かれる(延べ 6 万 7,000 万人が来場)
- 1.31 「大町市の文化財」発刊
- 3.31 「小海戸発掘調査報告書」発刊
4. 1 教育委員会事務局に体育課、文化財係設置
- 勤労青少年ホームを補助執行
4. 2 矢口格氏教育委員に任命
- 5.13 附属資料館完成により、夏期大学の再建終わる(総事業費 3 億 4,000 万円)
- 5.17 金田國武氏教育委員に任命
- 5.25 北小学校、春の花壇コンクールで環境庁長官賞受賞
7. 山岳博物館で英文パンフレット製作
- 7.15 大町高校初の学校開放講座(書道に 37 人受講)
- 9.13 仁科台中学校大規模改造工事終了
- 9.28-29 文化会館、北小学校を会場に県公民館大会開催
10. 1 共同福祉施設「フレンド・プラザ大町」開館 教育委員会が補助執行
- 10.29 常盤小学校(南小学校)開校 100 周年記念式典
- 12.22 美術博物館構想懇話会が、美術館・歴史民俗博物館構想を市長に報告
2. 2. 6 石曾根佐和江氏教育委員に任命
3. 2 重要文化財盛蓮寺観音堂防災施設完成(総事業費 1,081 万円)
3. 8 シャモア(アルプス・カモシカ)3 頭がインスブルック市から山岳博物館に到着(雄 1、雌 2)
- 3.15 市科学振興賞 第 1 回授与式
- 3.31 「海の口・一津遺跡調査報告書」発刊
- 7.30 文化公園完成(2 億 300 万円)

- 10. 8 仁科台中学校大規模改造(体育館ほか)終了
- 10.19-20 県視聴覚放送教育研究大会(第一中ほか)750人
- 10.21 県PTA連合会研究大会大北大会(文化会館)
- 10.28 東小学校開校10周年記念式典
- 11. 2 第一中学校開校30周年記念式典
- 12. 1 生涯教育リーダーバンク設立
- 3. 3.25 保健センター・大町公民館分室完成(5億900万円)
東京・立川市と姉妹都市提携
- 4. 1 子どものための郷土冊子発刊、4~6年生に配布
仁科台中学校運動部活動研究推進校として文部省指定(3年間)
- 6.15 IOC総会で長野が1998年冬期五輪開催都市に決まる
- 6.19 暴力追放市民協議会設立総会
- 8. 1 外国人英語指導助手にジョン・クーパー氏(英)発令(5.7.31まで)
- 9.30 仁科台中学校大規模改造工事(技術・家庭科棟)終了
- 10.19 北小学校5年3組、『いいとこカルタ』の作成などで地域づくり大賞を受賞
- 11. 1 山岳博物館開館40周年。記念式典、特別展など実施。インスブルック・アルペン動物園からオオヤマネコ1つがい贈られる
- 4. 2.14 市婦人団体連絡協議会発足
- 3.31 「中城原・南入日向・西の原遺跡調査書」発刊
- 4.28 エネルギー博物館開館10周年
- 7.14 常盤公民館竣工式(工事費 3億4,600万円)
- 7.26-8.25 大町野外美術展「'92夏 アルプス wa ミュージアム」、大町スキー場で開催
- 8. 1 山本茂實文化講演会および「葺」の仲間作品展
- 9. 1 学校週5日制スタート(月1回第2土曜日)
- 9. 7 紀宮清子親王山岳博物館ご来館
- 9.16 皇太子殿下(徳仁親王) "
- 9.22 仁科台中学校大規模改造工事(理科・廊下棟)終了
- 12.15 中学校コンピューター導入
- 5. 2.26 山岳博物館展示改修完成(改修費5,489万円)
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」発刊
- 3.31 第2期「社会教育計画」策定、発刊
郷土学習冊子改訂
- 4. 1 大町市子ども会育成連絡協議会を設置(旧青少年育成会連絡協議会)
- 4. 2 牛越充氏教育委員に任命
- 5.17 佐々木敬次氏教育委員に任命
- 6. 2 カモシカ2頭をオーストリアのシェーンブルン動物園へ贈呈
- 7.19 外国人英語指導助手プリンデーキャサリン・トムシ氏(加)発令
- 9. 3 長野県女と男ふれあいフェスティバル開催
- 9.14 仁科台中学校大規模改造工事(管理棟)終了

- 10. 8 長野県社会教育委員研修会開催
- 10.26 生涯学習推進の基本的な考え方、体制について社会教育委員が答申
- 6. 2.24 「山岳博物館総合案内書」発刊
- 3.10 「5,000 年前のムラ跡の調査概要報告書(後山・大行原遺跡)」発刊
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」No.2 発刊
- 「1,700 年前のムラ跡の調査概要報告書(中城原遺跡)」発刊
- 3.24 西小学校体育館竣工式(事業費 4 億 700 万円)(起工 5.6.21・竣工 6.2.25)
- 4. 1 社会教育課を生涯学習課に、社会教育係を生涯学習係、同和教育係を同和推進係に改称(同和対策を補助執行)
- 大町公民館分室に社会教育指導員設置
- 7.18 生涯学習推進プラン策定委員会発足(17 名、委員長に菅沢徹夫氏)
- 9.20 女性行動計画策定委員会発足(10 名、委員長に牛越充教育長)
- 9.26 西澤徳市氏教育委員に任命
- 10. 1 市民意識調査「女性プランにあなたの声を」を実施
- 10.15 第 1 回生涯学習推進フォーラム開催(サン・アルプス、岡本包治氏講演)
- 10.29 アルプスマーモット 1 つがいがアルペン動物園から山岳博物館に到着
- 11.11 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 12.27 運動公園屋内体育館完成
- 7. 3.10 「5,500 年前の耳飾り製作ムラ跡の調査概要報告書(藪沢 I・II 遺跡)」発刊
- 3.15 「居谷里湿原保存調査報告書」発刊
- 3.18 「中城原 II(中城原遺跡報告書)」発刊
- 3.23-30 市制 40 周年記念国際交流事業大町市少年少女合唱団インスブルック訪問
- 3.31 大町市生涯学習推進プラン「いきいき学習エンジョイライフ大町」策定、発刊
- おおまち女性プラン「ともに生きる喜びめざして」策定、発刊
- 4. 1 教育次長および青少年女性係を新設
- 6.23 生涯学習のまちづくり推進本部発足
- 6.28 女性問題懇話会発足
- 8. 生涯学習のまちづくり出張講座開設
- 8.13 遠藤正人氏教育委員に任命
- 9.23-24 第1回ロマン街道「塩の道」産業と文化フェスティバル開催
- 10.23 大町市文化会館開館 10 周年記念式典
- 11. 生涯学習リーダーバンク開設
- 11.20 山岳博物館イヌワシ舎竣工(1,066 万円)
- 11.26 第 1 回男女共生フォーラム開催
- 8. 3. 6 「大町市指定文化財調査書第 2 版大町市の文化財」発刊
- 4. 1 学校教育指導員を配置
- 9.30 「大町市の絵馬」発刊
- 11. 2 大町北小開校 20 周年記念式典
- 9. 1.14 大町南小児童クラブ開所(常盤公民館)

- 4. 2 荒井和比古氏教育委員に任命
- 4. 7 「ギャラリー・いーずら」オープン
- 10. 3. 「郷土学習冊子」新訂版発行
 - 3. 新図書館竣工
 - 5. 学社融合推進委員会設置
- 10. 4 第3期「大町市社会教育計画」策定
- 11. 3 幸町教員住宅竣工(12戸)
- 11. 4. 平成14年度から実施の総合的な学習の時間の試行事業として、大町市公民館が企画運営する学社融合事業を北小学校5年で1年間授業として実施
 - 8. 大町市と坂北村の子ども会交流会を坂北村で開催(翌年は平公民館で開催)
- 11.10. 1 新図書館オープン
 - 人権擁護審議会設置
- 12. 1. 大町市人権教育のための国連10年推進本部設置
 - 5. 人権と暮らしに関する意識調査実施
 - 8.31 第1回ライチョウ会議
- 13. 4. 2 丸山一由氏教育委員に任命
 - 4.22 平運動場整備竣工式。記念ソフトボール大会
 - 5.17 中山弘幸氏教育委員に任命
 - 7. 1 市内全小中学校に学校評議員会設置
 - 8. 6 宇宙飛行士(若田光一氏)講演会(文化会館)
 - 9.24 山岳博物館創立50周年記念登山。爺ヶ岳
 - 9.28-30 第15回全日本シニアソフトボール大会開催(48チーム)
 - 10. 「第2次大町市生涯学習推進プラン」発刊
 - 10.13 山岳博物館50周年記念式典、シンポジウム(文化会館)
 - 10.28 チルドレンズミュージアム開催(サンアルプス)
 - 11.20 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 14. 2. 6 横澤幸子氏教育委員に任命
 - 3.15 山岳文化都市宣言
 - 3.16 山岳博物館展示改修完成(改修費3,980万円)
 - 4. 6 こども体験学習号(バス)運行開始
 - 5.24-27 第20回全国シニアソフトボール大会開催(96チーム)
 - 6. 同和対策「特別措置法」失効に伴い、関係する市条例、規則等を改正
 - 9.26 眞嶋強志氏教育委員に任命
- 15. 3. . 「人権教育のための大町市行動計画」策定
 - 4. 第4期「大町市社会教育計画」発刊
 - 8.13 矢口博文氏教育委員に任命
- 16. 4. 1 働く婦人の家を「女性未来館ピュア」に名称変更する
 - 4. 4 大町市蔵の音楽館竣工
 - 5.15 大町市文化会館スケートボードパーク竣工
 - 7. 6 第一中学校全面改築工事起工式

- 7.26 外国人英語指導助手ウィリアム・ハビントン、タミー・クライトン(加)発令
- 10.16 市制施行 50 周年記念式典
- 17.11.25 第一中学校新校舎開き
- 18. 1. 1 大町市・八坂村・美麻村合併 新大町市誕生
 - 1.24 大町高校と大町北高校の存続を守り育てる市民会議設立
 - 2.11 合併記念式典(文化会館)
 - 2.22 県立高校の発展と存続を願う会県庁包囲行動(県庁)
 - 3.24 青色パトロール車出発式
 - 3.27 新児童センター完成
 - 5.27 第 30 回長野県知事杯争奪選手権マレットゴルフ大会(運動公園)
- 6.10-11 第 44 回北信越壮年ソフトボール大会
 - 第 10 回北信越シニアソフトボール大会
- 10.28 大町北小学校 30 周年記念式典
- 11.10 仁科台中学校 40 周年記念式典
- 11.25 八坂中学校 60 周年記念式典
- 11.26 美麻小中学校 30 周年記念式典
- 12.22 第一中学校竣工式
- 19. 3 「第 3 次大町市生涯学習プラン」発刊
 - 4 第 5 期「大町市社会教育計画」発刊
- 19.12.25 美麻公民館移転
- 20. 3.30 「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」策定
 - 8. 5 仁科台中学校全面改築工事起工式
- 21. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命
 - 4. 文部科学省人権教育総合推進地域事業指定(3年間)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命
 - 7.27 外国人英語指導助手ソン ティリム発令
 - 8. 3 // チェロ アントニー発令
- 11. 6 大町南小 120 周年記念式典(新型インフルエンザ流行のため印刷物等の配布)
- 12.18 仁科台中学校新校舎開き
- 22. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命
 - 9.26 布施知子氏教育委員に任命
 - 12.14 仁科台中学校完成式
- 23. 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命
 - 11.3 山岳博物館 60 周年記念式典(JAホール アプロード)
- 24. 3. 第 6 期「大町市社会教育計画」発刊
 - 4.20 山岳図書資料館開館
- 25. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命(再任)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命(再任)
 - 7.29 外国人英語指導助手クリーバ ブリトニー発令
- 26. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命(再任)

- 3.29 山岳博物館リニューアルオープン
- 26. 3 「第4次大町市生涯学習プラン」発刊
「大町市スポーツ推進計画」策定
- 26. 4. 1 美麻小学校及び美麻中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化、小中一貫教育導入)
- 8. 3 外国人英語指導助手マッケイ クリストファー発令
- 9.26 仲原直美氏教育委員に任命
- 10.11 大町市制施行60周年・合併10年記念『未来を担う子どもたちの芸術交流事業』
(小学校児童絵画展、中学生吹奏楽演奏、和太鼓演奏)実施
- 27. 3 「ふるさと・きのう・きょう・あした 私たちの大町」新訂第4版発行
- 27. 4. 1 八坂小学校及び八坂中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化)
八坂小学校、美麻小学校、八坂中学校、美麻中学校で小規模特認校制度開始
- 7. 4 山岳博物館ライチョウ舎竣工式
- 7.18-19 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
- 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命(再任)
- 10.31 大町東小学校 35周年記念式典
- 11.17 第1回大町市総合教育会議
- 28. 1.25 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
- 28. 3 常盤公民館太陽光発電設備設置
- 3.31 長野県大町高等学校及び長野県大町北高等学校閉校
- 28. 4. 1 長野県大町岳陽高等学校開校
大町南小学校及び大町北小学校に学校運営委員会設置
(コミュニティスクール化)
- 28. 4 生涯学習リーダーバンク制度改定
- 6.21 乗鞍岳よりニホンライチョウの卵を山岳博物館にて受入れ、飼育開始
- 7.16-17 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:立川市)
- 8.19 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、リオデジャネイロ五輪バドミントン女子シングルス銅メダル獲得
- 8.29 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
(祝賀パレード、銅メダルをお祝いする会開催)
- 9.30-10.1 美麻小中学校 40周年記念梨の木祭
- 10. 1 仁科台中学校 50周年記念式典
- 10.15 ライチョウ会議長野大会開催(於:大町市文化会館)
- 10.21 大町北小学校 40周年記念音楽会
- 28. 10 長野県信濃美術館移動展開催(ギャラリー・いーずら)
- 12. 8 美麻小中学校「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞
- 12.10 ニホンライチョウ2羽逸出(うち1羽についてはその日のうちに捕獲)
- 12.11 大町市文化会館開館 30周年記念式典
- 12.28-29 第3回第2の奥原希望発掘プロジェクト実施

- 29. 3 第7期大町市社会教育計画策定
- 29.3.31 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪(氷河)調査団活動終結(26～28年度)
 - 4.1 荒井今朝一氏教育長に任命(再任)
外国人英語指導助手 カマゼルト ショーン氏任命(派遣)
 - 5.17 中山晴隆氏教育委員に任命
 - 7.2 ニホンライチョウ第2世代(大町産卵)雛誕生
 - 7.14 ニホンライチョウ第2世代(上野産卵)雛誕生
- 7.22-23 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
 - 8.1 外国人英語指導助手 赤羽 タミー氏任命
 - 8.27 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、第23回世界バドミントン大会女子シングルス金メダル獲得
 - 9.29 大町市運動公園 第二屋内運動場竣工
 - 9.30 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
- 12.29 第4回第2の奥原希望発掘プロジェクト実施
- 30.1.1 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪が正式に氷河として認められる。
 - 1.5-8 第1回 北アルプスバドミントンオープン2018開催
 - 2.6 甘利道子氏教育委員に任命
 - 3.12 山岳博物館付属園 新ライチョウ舎竣工
 - 4.1 外国人英語指導助手 グレニー ケビン氏任命(派遣)
 - 4.15 山岳博物館友の会創立40周年記念パーティー開催
- 7.15-16 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:立川市)
 - 8.6 外国人英語指導助手 リム フィミン氏任命
 - 9.26 仲原直美氏教育委員に任命(再任)
- 31.3.1 校務支援システム全校稼働
 - 4.1 学校給食費公会計運用開始
- 令和元 7.13-15 北アルプスバドミントンオープン2019～国際ジュニアオープン大会 in 大町～開催
 - 8.13 下川清志氏教育委員に任命
 - 8.19-25 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、世界バドミントン選手権大会2019女子シングルス銀メダル獲得
- 4.21-10.19 大町市出身(西小、仁科台中卒業)上田瑠偉選手、スカイランナーワールドシリーズでアジア人・日本人初となる年間総合優勝
 - 10.5 図書館開館20周年記念事業
 - 11.9-17 国宝仁科神明宮式年造替に併せて仁科氏歴史文化展を宮本公民館で開催
 - 11.15-17 国宝仁科神明宮遷宮祭
- 2.3～5月 新型コロナウイルス感染防止のため市内全小中学校臨時休業
 - 4.1 荒井今朝一氏教育長に任命(再任)
 - 6.26 大町市立学校通学区域再編審議会発足
 - 10.27 大町市立学校通学区域再編に関わる市民説明会
 - 10.31 第一中学校60周年記念式典
 - 3.1.1 中山晴隆氏教育委員に任命(再任)

- 2.25 八坂学校協働隊が文部科学大臣表彰受賞
- 3.19 大町市立学校通学区域再編審議会が通学区域などについて答申
- 4.2 東京 2020 オリンピック聖火リレーが市内で実施
- 9.3 大町市学校再編基本計画策定
- 11.28 大町山岳博物館創立 70 周年記念式典・講演会
- 4.1.1 森しのぶ氏教育委員に任命
- 1.10 新型コロナウイルス感染対策により延期していた令和 2 年度並びに令和 3 年度「成人式」開催
- 3.10 第 5 次大町市生涯学習推進プラン策定
- 4.20 山岳図書資料館開館 10 周年
- 5.9 北京オリンピックモーグル杉本幸祐選手が表敬訪問
- 7.30-8.21 特別企画展「鉄拳展」in 大町 2022 夏
- 8.15 令和 4 年度二十歳の門出
- 9.26 北澤明美氏教育委員に任命
- 9.29 第一中学校・仁科台中学校閉校記念行事「奥原希望さん講演会」
- 10.24 大町・平地区「新小学校」校地として第一中学校選定
- 11.12 大町西小学校開校 150 周年記念植樹
- 5.3.16 第一中学校・仁科台中学校閉校式
八坂小学校・八坂中学校で最後の卒業式
- 4.1 中村一郎氏教育長に任命
国民スポーツ大会準備室設置
- 4.7 大町中学校・八坂小中学校開校式
- 5.31 チャレンジデー実施
- 7.15-16 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
- 8.13 下川清志氏教育委員に任命(再任)
- 8.23 体操選手の坂口彩夏選手が牛越市長を表敬訪問
- 12. 1 新小学校の校名が「大町北部小学校」と「大町南部小学校」に決定
- 6.10. 1 第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 大町市準備委員会設立
総会・第 1 回総会
- 11.21 「大町北部小学校」と「大町南部小学校」の校章が決定
- 7.1.1 奥原圭永氏教育委員に任命
- 7. 4.18 大町市を震源とする地震により、重要文化財覚音寺木造持国天立像が倒れ、破損する。
- 7.19-20 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
- 7.31 「大町北部小学校」校歌完成
- 9.16 「大町南部小学校」校歌完成
- 8.1.1 小田美恵氏教育委員に任命
- 3.11 「大町東小学校」「大町南小学校」閉校式
- 3.12 「大町北小学校」「大町西小学校」閉校式

II 学 校 教 育



大町市の学校教育

大町市の少子化に対応した学校の再編成は令和8年の大町南部小学校、大町北部小学校の開校をもって終了します。再編成によって開校した5つの小中学校・義務教育学校が「地域の学校」としての存在を確立していくために、大町市では教育改革を進めていきます。

今、大町市の全ての学校が直面している問題は「学習指導要領の円滑な実施と教員の働き方改革のための指導・運営体制の構築」です。この問題には、教育の質的転換、学習指導の質的改善、教員のワークライフバランスへの配慮、学校と地域の役割の転換など、多くの要素が含まれています。

教育委員会では、これらの課題に対して、基本理念「子どもにとって学びやすく、教師にとって働きやすい『地域の学校』をめざして」を据え、行政・学校・地域が一体となって取組を進めます。

<学校教育基本理念>

「子どもにとって学びやすく、教師にとって働きやすい『地域の学校』をめざして」
—より良い学校教育を通じて、よりよい地域をつくる—

I 子どもたちがよりよく育つ魅力ある学校づくりの推進

1 学校経営ビジョンに基づく学校づくりの推進

- 子どもたちの尊厳を守り、資質・能力を育成するために大切にすることを教育理念に示します。
- 子どもたちの学校生活の中心である「授業づくりのあり方」をめざす学校像として示します。
- めざす学校像の実現に向けた教育課程設定とその実施に向けた教育システムを明らかにします。
- 対話により子どもの自己有用感を高め、「考える力」「協働する力」を育てます。
 - ・「協働の学び」を軸とした授業で友と語り合う。
 - ・キャリア・パスポートを活用して自己と向き合う。
 - ・異年齢・異学年交流や地域と協働する活動に役割をもって参加する。
- 心づくり、体づくり、生活リズムづくりにより、子どもの心身の健康の保持増進を図ります。
- 誰もが安心して学べる学校にします。
 - ・心の不安や生活リズムの乱れに気づき、チーム学校で早期に最適な支援につなげる。
 - ・トラブルが起きても、しっかり対応してくれる安心感のある学校にする。
 - ・一人ひとりのニーズに応じた学びの場・機会を可能な限り準備し支援する。

2 子どものキャリア発達の基礎となる力を育成するカリキュラム・マネジメントの確立

- 総合的な学習の時間を中核に教科横断的な教育課程を編成し、協働的な学びを軸とした授業を行います。
 - ・教科で学んだ見方や考え方を活用して探究活動を行う総合的な学習の時間を通じて、「考える力」や「協働する力」を養う。

- ・自らの思考を整理・操作できる「思考ツール」や「ICT」の活用により、言語能力、情報活用能力等の「学習の基盤となる力」を高める。

○学力調査や学校評価の結果に基づき、教育課程と授業改善を図ります。

- ・知識の習得が不十分な領域では、「学び直し」と「補充授業」を実施する。

- ・「対話」と「振り返り」の質に着目して、指導方法を改善することにより自己調整学習力を高め、深い学びの実現を図る。

- ・「魅力ある学校づくり支援シート」を活用して、「授業づくり」「関係づくり」等の観点から学期ごとに点検・振り返りを全職員で行い、学校経営の改善を図る。

- ・学校評価における「自己評価」の結果は、学校運営協議会による「学校関係者評価」を通じて、「学校評価」としてまとめ、児童生徒がより良い教育活動等を楽しめるような学校経営の改善と向上をめざす。

- ・第三者評価において学校づくりの状況の評価し、学校のカリキュラム・マネジメント及び学校運営協議会の教育活動への関与の質を高める。

3 子どもにとって学びやすく、教職員にとって働きやすい組織の創造

○協働の学びを軸とした子どもにとって学びやすい授業を追求します。

- ・児童生徒が、主体的に学びのあり方について語り合う場を作る。

- ・教師と児童生徒が学びについて語り合う。

○異年齢学習集団による教科学習と総合的な学習の時間の実施をめざします。

- ・総合的な学習の時間において、異年齢学習集団を形成し、地域の文化や産業、地域づくりについてとことん追究する探究学習を展開する。

○教職員にとって働きやすい組織や教育課程を見直します。

- ・登校支援やいじめ対応等の課題に対して、チーム学校（組織）で対応する体制を整える。

- ・小学校では、教科担任制による学習指導の機会を作る。

- ・通知表の2期制や時間割の工夫を進める。

4 地域とともにある大町北部小学校・大町南部小学校をめざして

○中核教員を中心に4小学校間の協働によって再編準備を進めます。

- ・4校合同職員会議を計画的に行い、教育目標の制定、校務内容の調整、備品の点検等を進める。

- ・新小学校ガイドラインの作成を通して、学校間の「学びの融合」を図る。

○教職員、児童、学校運営協議会の交流活動を計画的に実施します。

○閉校に対する児童・保護者・地域の方の思いを受け止めながら、閉校の1年間の学校生活を充実させ、新小学校に対する希望ある展望につなげます。

II 地域とともに学校改革の推進

1 学校運営協議会制度を活用した学校づくりを進め「社会に開かれた教育課程」の実現

○学校は、学校運営協議会委員と学校経営ビジョンを共有し、ともに子どもを育てる仕組みを整えます。

○学校運営協議会で学校の課題等を取り上げ、委員が積極的に協議できる運営を行います。

○学校は、「社会に開かれた教育課程」を編成し、地域の方との協働により教科や総合的な学習の時間の学習活動を行います。

○「自己評価」の結果について、学校運営協議会委員が検討する過程を保証し、「学校関係者評価」を実施します。

○学校は、「学校評価」の結果を次年度の「学校経営ビジョン」に反映します。

2 学校と地域が連携・分担し地域全体で多様な教育機会の実施（地域学校協働活動の活性）

○児童生徒の授業における学びの充実や放課後の活動を地域が協働的に支援します。

○校長は、地域コーディネーターと課題解決の状況について、日常的に懇談を行います。

○学校はホームページを活用してコミュニティ・スクールによる教育の成果を発信します。

○放課後子ども教室を地域が主体となって組織的に運営します。

3 新小学校の開校に向けて学校運営協議会・地域学校協働活動を再編

○市内4小学校合同による学校運営協議会を開催し、めざす子ども像や地域学校協働活動について話し合い、その方向性を共有します。

III 教育委員会のサポート

○学習指導要領に対応した支援を行います。

・学力状況把握への支援 ・情報活用能力育成への支援 ・英語力育成への支援

○地域と学校の協働を支援します。

・学校運営協議会の運営支援

・地域学校協働活動に対する支援（放課後子ども教室の活動支援、育成会、公民館活動等社会教育における地域の子どもの育成支援）

○義務教育学校及び連携型小中学校で取り組む「小中一貫教育」を推進します。

○学校経営ビジョンに基づく学校づくりを支援します。

・校長の学校経営ビジョンづくりを支援

・カリキュラム・マネジメント推進委員会における研修の企画と推進

・授業クリニックの企画・運営を支援

・第三者評価の計画・実施を支援

○多様な学びの場を確保し、その活動内容を充実します。

・教育支援センター（アルプスの家）における活動内容の改善の推進

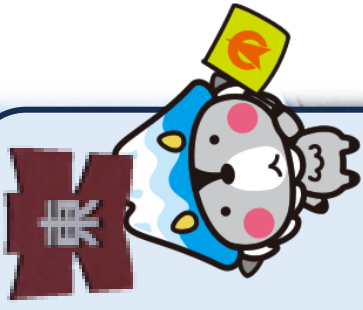
- ・キッズウィルやフリースクール等民間施設との連携強化
 - ・不登校等の早期発見・早期対応への支援（スクリーニング会議の実施）
 - ・校内における支援会議のあり方改善を推進
- 新校の開校に向けた準備を推進します。
- ・小学校再編準備委員会、校務等調整委員会を計画的に開催し、再編の推進
 - ・中核教員の活動内容についての共有、活動への支援
 - ・育成会や公民館活動等地域における交流活動の実施
- 教職員の働き方改革を支援します。
- ・教職員の職務軽減への取組の点検・推進
 - ・中学校部活動の地域展開を推進

学校教育目標「学び続ける」『きたえる』『思いやる』『求める』『求める』

教育理念…子どもにも開かれた学校

～よりよく生きるために学びつづける子どもたちの育成をめざして～

- 自他を大切に学ぶ子ども(誠実・思いやり)
- 友と学びながら自分の考えを表現する子ども(自己表現)

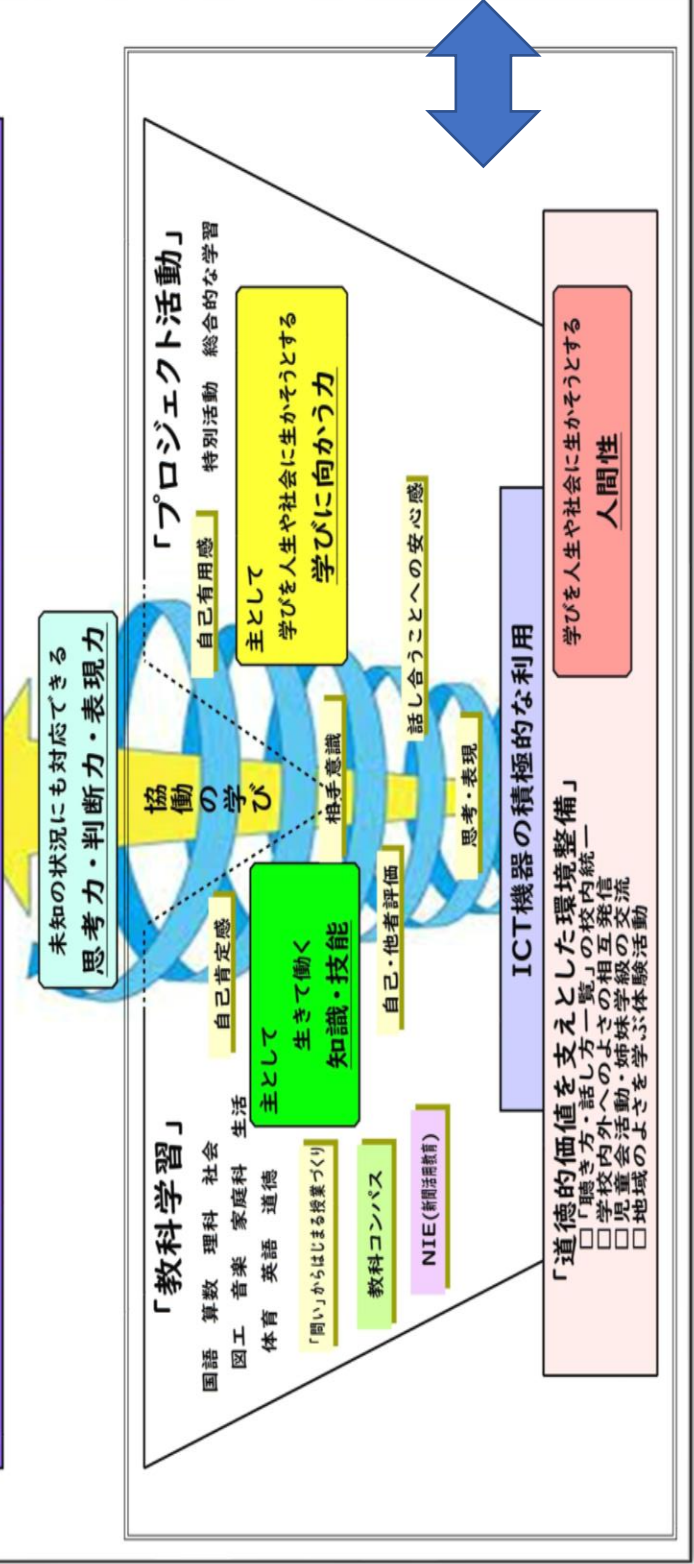


「学びづくり」・「関係づくり」

学びの構造

本校でねらう資質能力 「コミュニケーション力」につながる表現力の育成

大町市立大町東小学校



保護者・地域とともに 創る学校づくり

○学校運営協議会・地域共同活動の充実

『大町東小プロジェクトサポーター』

『放課後子ども教室』『読み聞かせ』等

○保護者・地域の方と行う学びや安全の充実

『米作り・収穫祭』『焼いも会』『登下校時

の見守り』『地域遠足サポーター』『交通安全

全指導』等

○共に高め合う「ふり返り」の実施

『職員ふり返りの会』『学校自己評価』及

び『学校関係者評価』等

○『閉校実行委員会』を中心とした

協働の閉校諸活動

『記念誌』『航空写真』『お祭りイベント』

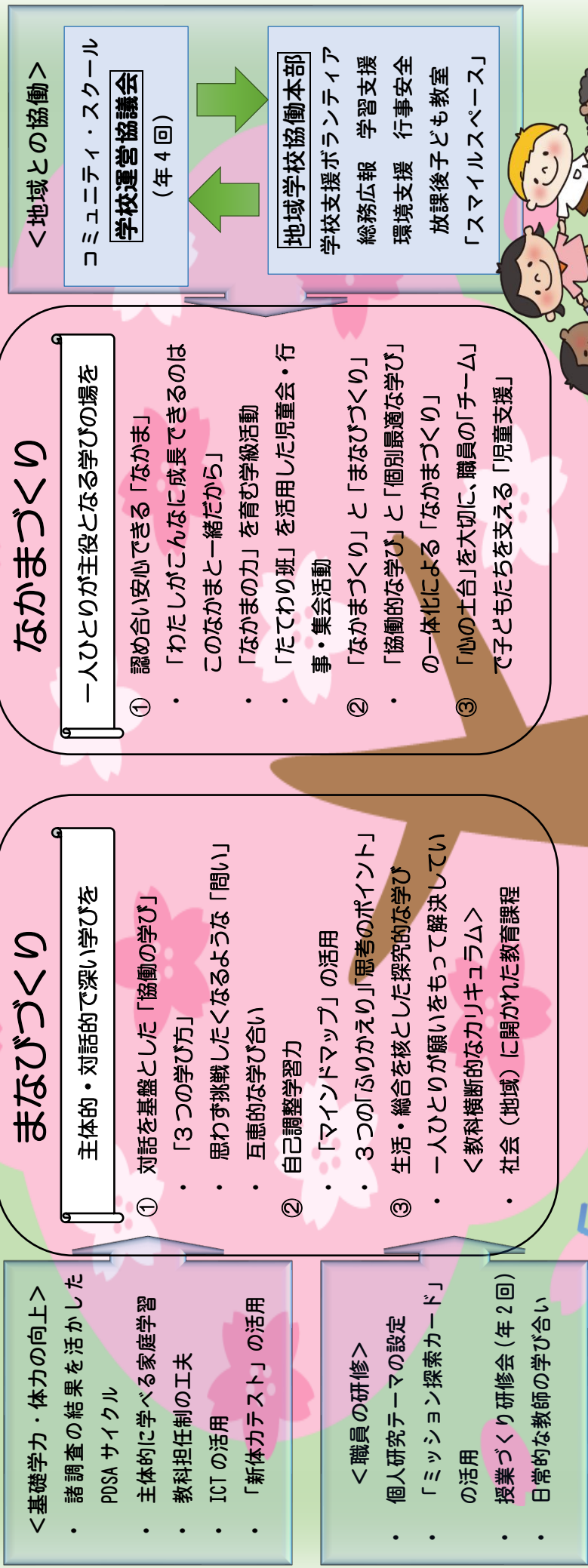
『学校行事とのコラボ』等

自ら学び 友と学び 仁科の里に学び

学校教育目標

めざす子ども像 ～よりよく生きるために学び続ける～

自他を大切にする子ども 安心して学び合い 高め合う子ども ふるさとに愛着をもち大切にしている子ども



<基礎学力・体力の向上>

- ・ 諸調査の結果を活かした POSA サイクル
- ・ 主体的に学べる家庭学習
- ・ 教科担任制の工夫
- ・ ICT の活用
- ・ 「新体力テスト」の活用

<職員の研修>

- ・ 個人研究テーマの設定
- ・ 「ミッション探索カード」の活用
- ・ 授業づくり研修会(年2回)
- ・ 日常的な教師の学び合い

まなびづくり

主体的・対話的で深い学びを

- ① 対話を基盤とした「協働の学び」
 - ・ 「3つの学び方」
 - ・ 思わず挑戦したくなるような「問い」
 - ・ 互恵的な学び合い
- ② 自己調整学習力
 - ・ 「マインドマップ」の活用
 - ・ 3つの「ふりかえり」「思考のポイント」
- ③ 生活・総合を核とした探究的な学び
 - ・ 一人ひとりが願いをもち解決していく
 - ・ <教科横断的なカリキュラム>
 - ・ 社会(地域)に開かれた教育課程

なかまづくり

一人ひとりが主役となる学びの場を

- ① 認め合い安心できる「なかま」
 - ・ 「わたしがこんなに成長できるのはこのなかまと一緒にだから」
 - ・ 「なかまの力」を育む学級活動
 - ・ 「たてわり班」を活用した児童会・行事・集会活動
- ② 「なかまづくり」と「まなびづくり」
 - ・ 「協働的な学び」と「個別最適な学び」の一体化による「なかまづくり」
 - ③ 「心の土台」を大切に、職員の「チーム」で子どもたちを支える「児童支援」

子どもたちを支える「ユニバーサルデザイン」

教育課題 自己調整学習力・自己有用感の育成

教育理念

一人ひとりの輝きを認め合う学校

子どもの可能性を信じて寄り添う教師

授業を根幹とする学校

学校教育目標
よくまなぶ子

教育理念

「みて きいて」

めざす教師像 子どもの姿をみつめ、子どもの声をきき、子どもと共に学び続ける教師
めざす学校像 になりたい自分に出会える学校

《学校づくりのねらい》

子どもに開かれた学校づくりと、なりたい自分に出会うことのできる「協働の学び」の実践により、よりよく生きるために学び続ける子どもを育成する。

めざす子ども像

学び続ける子ども

- ・ 自他を大切にする子ども
- ・ 友と共に「みて きいて」、自分の考え表現しようとする子ども

教育課題

聴き合い、伝え合い、考え合う子どもの育成

(重点1 学びづくり)

- ・ 質の高い「問い」を設定し、「きく・つなぐ・もどす」を意識した授業展開により、協働の学びの充実を図る。

(重点2 関係づくり)

- ・ 認め合い、安心して自己表現できる対話活動を日常的に行う。
- ・ 友と協働して企画、運営する活動の推進。

教育システム

学び続ける子どもへと導く学習システム

- ◇ 市内小中学校と連続的な学びでつなぐ「協働の学び」
- ◇ 本校ならではの教科横断的学習（地域素材をもとにしたプロジェクトラーニング）
- ◇ 全教職員で児童を育む教科担任制や授業交換、全教職員による相談活動

学び続ける教師へと導く研修システム

- ◇ 教育課題実現に向けた授業づくりのための、自己課題に応じたグループ内研修や外部講師による授業づくり研修
- ◇ 互いの実践情報交換等をする、児童理解支援・関係づくり・学級経営等の研修

地域との協働システム

- ◇ コミュニティ・スクールによる地域連携（地域に学ぶ・地域の方と創る）
- ◇ 家庭・地域・外部機関との協働（いつでも学校へどうぞ）
- ◇ 大町南小への思い・願いを大切にした、協働による閉校諸活動

学校教育目標 かしこく なかよく たくましく 学び続ける子ども

【教育理念】

「 その子らしく育つ学校 」

めざす教師像：その子の可能性を信じ 愛語を贈る教師

めざす学校像：授業を根幹とする学校

《 学校づくりのねらい 》

その子とその子らしく育つ学校づくりと
子どもが自分や対象に深く向き合い対話する「協働の学び」を軸とした授業を通して
自己調整学習力を高め 学び続ける子を育成する。

「協働の学び」で大切にすることの三つの学び方

わからないということ 友だちの声に耳をかたむけること なっとくするまであきらめないこと
(協働の学びとは「聴く、問う」から始まる対話活動を基盤として、課題について少人数で互恵的に語り合うこと)

めざす子ども像

- ・自分で決めて 自分でできる子
- ・自他を大切にする子
- ・学びを楽しむ子

《 教育課題と重点 》

教育課題
自己調整学習力を高める

(重点1・学びづくり)

対話をベースに、子どもが「考え・えらび・
やってみて・ふりかえる」学びをつくる。

(重点2・関係づくり)

一人一人が主役となる協働活動を通して、
「わたしたちの活動」となる特別活動をつくる。

《 教育システム 》

○学習システム

- ・大町中学校と旧市内4小学校と「協働の学び」でつなぐ小中一貫カリキュラム
- ・人・もの・こと等対象に自分から深くかかわる活動や体験を実現する教科等横断的なカリキュラム(総合的な学習の時間他)

○地域との協働システム

- ・学校運営協議会制度をもとにした学校づくり(閉校行事・職員との合同研修会)
- ・北小カフェを活用した地域学校協働活動の推進(先生との北小カフェ・子どもの参画)

○職員の研修システム

- ・共有及び自己課題に応じたLCによる授業づくり・学びの個性を見とる研修
- ・個々の「ミッション」「ビジョン」を明らかにし互いにつなぐ「北小タイム」

教育目標・自立した学び手となる

【教育理念】

「聴く学校」

めざす教師像：生徒の存在を丸ごと受け入れ、生徒の声や心の声に耳を傾け、共に歩む教師

めざす学校像：生徒が生きることと学ぶことを統合する学校

《 学校づくりのねらい 》

「聴く学校」を合言葉とする学校づくりと、互いの考えを比べながら聴き合う「協働の学び」の授業を通して考える力を高め、『自立した学び手』を育成する

「協働の学び」の授業における三つの学び方
わからないと言うこと・友だちの声に耳を傾けること・自分のわからなさを追究すること
(協働の学びとは、「聴く、問う」からはじまる対話活動を基盤として、課題について少人数で互恵的に語り合うこと)

めざす生徒像

- ・筋道立てて考え、自分の考えを適切に伝える生徒
- ・吟味と検討を繰り返しながら学ぶ生徒
- ・自分のよさを生かして、人の役に立とうとする生徒

《 教育課題と重点 》

教育課題

対話の質を高める

(重点1・学びづくり)

外化作品へのフィードバックを充実させ、吟味と検討を繰り返す学びの意識化・習慣化を図る。

(重点2・関係づくり)

思いや考えを聴き合うことを通して相互理解を深め、互いの尊厳を守る関係を構築する。

《 教育システム 》

○自立した学習者が育つ学習システム

- ・論理的思考力が高まる教科等横断的な教育課程を編成する。

○地域との協働システム (CS：コミュニティ・スクール)

- ・学校職員と運営協議会委員の合同研修を企画し、学校運営協議会制度に基づく学校づくりのあり方について理解を深める。

○職員の研修システム

- ・ミッション探索カードを活用する教頭との懇談を通して、職員が本校における使命と課題を明らかにする。
- ・LC (ラーニング・コミュニティ) による授業づくりの研修を重ねる。

【義務教育終了時に目指す姿】

「自分が好き」と言える子ども

【教育理念】

聴き合って未来を拓く学校づくり

目指す学校像：授業を根幹とする学校

目指す教師像：目の前の児童・生徒を丸ごと受け入れ、共に学ぶ教師

【八坂小中学校 義務教育9年間のねらい】

「聴き合って未来を拓く学校づくり」と「協働の学び」の授業実践を通して、「他者と結び合う力」「対象をとらえ直す力」を養い、「『自分が好き』と言える子ども」を育成する。

【学校教育目標】

「問い」をもって学ぶ八坂の子

【教育課題】

協働の学びの質を高める

【重点1】学びづくり

「問い」を開発し、質を高めることを通して、児童・生徒の対話を活性化させる。

【重点2】関係づくり

考えを聴き合うことを通して、多様性や個性を認め合える関係を構築する。

【教育システム】

○義務教育9年間学習システム

全ての教科領域で9年間を見通したカリキュラムを作成する。
教科担任制や複数担任制を導入する。

○地域協働システム ～「学び合いの里 八坂」と共に歩む～

学校運営協議会との協働により「地域に開かれた教育課程」を編成し、地域の宝である子どもたちを共に育てる。

○教職員研修システム

前期・後期課程の教職員が授業を相互に参観しあう。
村瀬先生の授業クリニックや教科等に関する専門的な研修を通して、授業力の向上を図る。



自律した学習者

3つの学び方「わかからないと言うこと」「友だちの声に耳を傾けること」「自分のわからなさを追究すること」で授業を創ります。

「聴く・問う」から始まる対話活動を中核に据えた教育活動を重視し、主体性や思考力・判断力・表現力を育みます。

学びの発達に着目して教育課程を編成し、義務教育9年間を「協働の学び」でつなぎます。

全職員が子どもたちの発達に応じた「聴く」姿勢を基本にした支援を行い、心の安定を図ります。

学び合える教師集団、学び続ける教師を視点において、課題研修・共通研修・マネジメント研修を行い、教師力を高めます。

育成する「生涯学び続けるための基礎力」
(基本的な生活力 中核的学力 社会力)

ジャンプ期 (8年～9年)

自らの生活を拓く学び

ステップ期 (5年～7年)

ものごとの根拠を探る学び

ホップ期 (1年～4年)

体験的な学び

協働の学び

地域との協働により
ふるさと美麻を愛し、語り、
想いを深める児童生徒

職員間の協働により
対話を通して、主体的に深い学びに
向かう児童生徒

育てる会や美麻地区の皆様と協力して、全国から集う山村留学生を育てます。

地区との合同運動会、合同文化祭を通して、地域と共に行事をつくります。

コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を有効に機能させ、地域の方々が学校づくりに積極的に参画できるようにします。

総合的な学習では、美麻スクールパートナーズをはじめ様々な皆さんと共に学ぶ場「美麻市民科」と「夢の時間」を位置づけ、ふるさと美麻(対象)や友だち、自己との対話を深められるようにします。

米国メンドシーノ訪問交流と全校による美麻訪問交流を通して、異文化理解と国際感覚を養い、人的成長を促します。

重点2 (体づくり)

異年齢の児童生徒同士でつなぐ元氣アップ運動によって、自他の動きや取り組みのよさを分かり合い、主体的に取り組む体づくりを目指す。

重点1 (学びづくり)

単元の核心を軸に、子ども自身が自己の考えを「友の考え」や「既有知識」、「経験」とつなぎ、学びの深まりを実感できるような授業づくりを目指す。

重点3 (集団づくり)

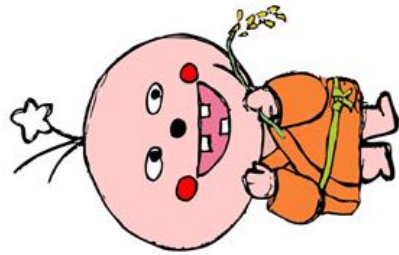
自活動や歌声づくりを中心に、縦割り班活動を取り入れながら、リーダーとフォロワーが互いの立場を理解して、信頼関係によってつながる集団を目指す。

令和7年度 教育課題

深い学びに向かう子ども ～深い学び=つながる学び～

学校教育目標 心と体をひらいて学ぶ美麻の子

教育理念 個の生き方や考え方を尊重する学校づくり



2 学校施設

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

学 校 名	校 舎		給 食 棟 他		屋 内 運 動 場		校			地
	保有面積 m ²	構 造	保有面積 m ²	構 造	保有面積 m ²	構 造	校舎敷地 m ²	屋外運動場敷地 m ²	そ の 他 m ²	
小 学 校	5,899	鉄筋 鉄骨	404	鉄筋 鉄骨	1,002	鉄筋	17,107	13,715	2,605	33,427
	7,360	鉄筋 鉄骨	409	鉄筋 鉄骨	1,218	鉄筋	21,626	13,169	1,138	35,933
	5,812	鉄筋 鉄骨	375	鉄筋 鉄骨	1,092	鉄筋	19,207	9,275	7,028	35,510
	6,609	鉄筋 鉄骨	347	鉄筋 鉄骨	1,051	鉄筋 鉄骨	17,158	11,750	3,439	32,347
計	25,680	鉄筋 鉄骨	1,535	鉄筋 鉄骨	5,390	鉄筋 鉄骨	75,098	47,909	14,210	137,217
中 学 校	6,983	鉄筋 鉄骨	420	鉄筋 鉄骨	2,511	鉄筋	16,926	17,331	—	34,257
義 務 教 育 学 校	3,361	鉄筋 鉄骨	504	鉄筋 鉄骨	1,227	鉄骨	10,809	12,948	2,567	26,324
	2,861	鉄筋 鉄骨	255	鉄筋	1,027	鉄筋	7,040	8,190	13,385	28,615
	2,167	鉄筋 鉄骨 木造	216	鉄骨	1,198	鉄筋	6,781	9,388	—	16,169
	8,389	鉄筋 鉄骨 木造	975	鉄筋 鉄骨	3,452	鉄筋 鉄骨	24,630	30,526	15,952	71,108

(2) 中学校

学校名	1学年		2学年		3学年		計		教職員数	特別支援学級の生徒数				
	男女	計	男女	計	男女	計	男女	計		学年	1	2	3	計
大町中	男	82 (14)	147 (14)	85 (10)	159 (13)	79 (8)	155 (10)	246 (32)	31 24	知的障害	6	6	3	15
	女	65 (0)		74 (3)		76 (2)		215 (5)			27 14	情緒障害	8	
八坂後期	男	9 (0)	16 (1)	4 (0)	8 (0)	4 (1)	6 (1)	17 (1)	/	知的障害	0	0	0	0
	女	7 (1)		4 (0)		2 (0)		13 (1)			1	0	1	
美麻後期	男	4 (1)	10 (1)	9 (5)	12 (5)	4 (2)	5 (2)	17 (8)	/	知的障害	1	0	0	1
	女	6 (0)		3 (0)		1 (0)		10 (0)			1	0	5	
合計	男	95 (15)	173 (16)	98 (15)	179 (18)	87 (11)	166 (13)	280 (41)	31 24	計	16	18	13	47
	女	78 (1)		81 (3)		79 (2)		238 (6)			27 14	27	14	

※ 児童・生徒数の()内の数字は、特別支援学級の数を内数で表す
 ※ 八坂小中学校、美麻小中学校の教職員数は、前期課程に全員を計上する

4 小中学校教職員数

(令和7年5月1日現在)

学校名	県										市										費			合計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	養護助教諭	講師	事務職員	栄養職員	計		支	学サポ 校業タ	図書館事務員	栄養職員	給食調理員	校務員	A	計		男	女	計		
										男	女								男	女					
大町東小学校	1	0	1	9	1	0	4	2	0	9	18	3	0	1	1	3	1	0	4	5	9	13	14	27	
大町西小学校	1	0	1	13	1	0	4	2	0	9	22	3	1	1	1	4	1	0	3	8	11	12	21	33	
大町南小学校	1	0	1	15	1	1	3	2	1	10	25	4	0	1	0	4	1	0	1	9	10	11	24	35	
大町北小学校	1	0	1	15	1	0	2	2	1	12	23	3	0	1	0	4	1	0	2	7	9	14	18	32	
計	4	0	4	52	4	1	13	8	2	40	88	13	1	4	2	15	4	0	10	29	39	50	77	127	
大町中学校	1	0	1	28	1	0	7	3	0	26	41	5	1	1	1	6	1	2	5	12	17	31	27	58	
八坂小中学校	1	1	1	15	2	0	2	2	0	13	24	2	0	0	1	3	2	1	3	6	9	16	17	33	
美麻小中学校	1	1	0	16	1	0	5	1	0	14	25	2	1	1	1	3	1	1	3	7	10	17	18	35	
計	2	2	1	31	3	0	7	3	0	27	49	4	1	1	2	6	3	2	6	13	19				
合計	7	2	6	111	8	1	27	14	2	93	178	22	3	6	5	27	8	4	21	54	75	114	139	283	

※ () は会計年度任用職員を内数で表す
 ※ 育児休業代替者を含む
 ※ 兼務職員は本務校に計上
 ※ A.L.Tのうち3名は派遣

5 外国人英語指導助手（中学校配置）

氏 名	国 籍	契約期間
カマゼルト ショーン エベン KAMMERZELT SHAWN EVAN	アメリカ合衆国	平成29年4月1日～令和8年3月31日 (派遣)
アカハネ タミー レベッカ AKAHANE TAMMY REBECCA	オーストラリア	平成29年8月1日～令和8年3月31日 (市雇用会計年度任用職員)
グレンニー ケビン GLENNIE KEVIN	イギリス	平成30年4月1日～令和7年7月18日 (派遣)
チェロキー ロレケ CHEROKEE LOREQUE	フィリピン	令和7年8月20日～令和8年3月31日 (派遣)
ヘイデン シェッソン Hayden Chiasson	アメリカ合衆国	令和7年4月1日～令和8年3月31日 (派遣)

6 通学区

(1) 小学校

学校名	通 学 区 域
大町東小学校	社の全区域および大町のうち八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、東町、下白塩町、昭電アパート
大町西小学校	大町のうち大黒町、相生町、九日町、六九町、上仲町、下仲町、名店街、高見町、南原町、堀六日町、白塩町、山田町、北山田町、宮田町、幸町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、高根町、大新田町、和町
大町南小学校	常盤の全区域
大町北小学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、若原町

(2) 中学校

学校名	通 学 区 域
大町中学校	大町、平、社、常盤の全区域

(3) 義務教育学校

八坂小中学校	八坂の全区域
美麻小中学校	美麻の全区域

7 小規模特認校制度

大町市では、平成27年4月から、八坂小中学校前期課程、八坂小中学校後期課程及び美麻小中学校は、市内全域から通学できる小規模特認校となりました。小規模学校ならではの特色を生かして、地域と連携した学校づくりに取り組んでいます。

☆令和6年度実績

	八坂前期・八坂後期			美麻小中		
	男	女	合計	男	女	合計
小1			0	2	1	3
小2		2	2	3	1	4
小3			0	1	1	2
小4			0	5		5
小5	2		2	1	2	3
小6	1		1	2	1	3
中1（7年）	1	1	2	1		1
中2（8年）			0	2		2
中3（9年）	1		1		3	3
合計	5	3	8	17	9	26

8 山村留学生受け入れ状況

☆令和6年度実績

	八坂前期・八坂後期			美麻小中		
	男	女	合計	男	女	合計
小3			0		1	1
小4		1	1			0
小5	1	1	2	1	3	4
小6	4	2	6		1	1
中1（7年）	2		2	3	1	4
中2（8年）	3		3	1		1
中3（9年）	1		1		1	1
合計	11	4	15	5	7	12

9 就学援助

(1) 要保護および準要保護児童生徒援助費

(令和6年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品購入費・通学用品費	122人	1,611,079円	133人	1,613,833円
体育実技用具費	0	0	0	0
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	115	157,540	25	56,440
校外活動費(宿泊を伴うもの)	0	0	15	93,150
新入学児童生徒学用品費等	41	2,007,960	5	315,000
修学旅行費	18	605,144	21	1,544,911
医療費	0	0	0	0
学校給食費	120	5,837,624	64	3,336,090
計	132	10,219,347	69	6,959,424

※平成29年度から新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を実施している。数値には、新入学児童生徒分を含む。

(2) 特別支援教育就学奨励費

(令和6年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品購入費	74	427,657円	34人	386,580円
校外活動費(宿泊を伴うもの)	0	0	11	34,155
新入学児童生徒学用品費等	13	228,037	10	304,900
修学旅行費	11	118,690	10	285,929
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	68	47,210	8	9,240
体育実技用具費	0	0	0	0
学校給食費	73	1,834,080	31	814,030
計	74	2,655,674	34	1,834,834

(3) 遠距離通学費補助

スクールバスの運行状況

(令和6年度)

	利用者数	委託金額
東小スクールバス	15	9,609,600
北小東回りコーススクールバス	26	12,473,538
北小・大町中西回りAコース(源汲)スクールバス	21	9,667,755
北小・大町中西回りBコース(高瀬入)スクールバス	27	10,897,950
大町中社コーススクールバス	20	9,779,110
八坂小中スクールバス	31	28,438,187
美麻小中スクールバス	98	8,325,900
計		89,192,040

遠距離通学扶助の状況

(令和6年度)

	金額
小学校遠距離通学扶助費	849,760
中学校遠距離通学扶助費	4,472,510
計	5,322,270

10 中学校卒業後の状況

(1) 年度別状況

年度	卒業者			進学者			就職者			その他の					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
平成 27	127人	118人	245人	126人	118人	244人	99.6%	0人	0人	0人	0.0%	1人	0人	1人	0.4%
28	122	140	262	122	140	262	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
29	118	133	251	115	133	248	98.8	2	0	2	0.8	1	0	1	0.4
30	118	134	252	118	133	251	99.6	0	0	0	0.0	0	1	1	0.4
令和 元	115	109	224	115	108	223	99.6	0	0	0	0.0	0	1	1	0.4
2	91	113	204	91	113	204	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
3	117	89	206	115	89	204	99.0	0	0	0	0.0	2	0	2	1.0
4	115	96	211	113	96	209	99.1	0	0	0	0.0	4	0	4	1.9
5	101	97	198	99	97	196	99.0	0	0	0	0.0	2	0	2	1.0
6	96	84	180	95	83	178	98.9	0	0	0	0.0	2	1	3	1.7

(2) 学校別状況

(令和6年3月卒業)

	卒業者			進学者			就職者			その他の					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
大町中学校	88人	74人	162人	87人	73人	160人	98.8%	0人	0人	0人	0.0%	1人	1人	2人	1.2%
八坂小中後期	2	0	2	2	0	2	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
美麻小中後期	6	10	16	6	10	16	100.0	0	0	0	0.0	1	0	1	6.3
計	96	84	180	95	83	178	98.9	0	0	0	0.0	2	1	3	1.7

※進学者には就職進学者を含む

(3) 進学状況 (令和6年3月卒業)

学校名	進学者数	高校(公立)		高校(私立)		高専	その他 (通信制高校含)	地域別			
		全日制	定時制	全日制	定時制			市内	郡内	県内	県外
大町中学校	160人	107人	1人	28人	0人	1人	23人	51人	14人	91人	4人
八坂小中後期	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2
美麻小中後期	16	7	0	2	0	0	7	3	0	9	4
合計	178	116	1	30	0	1	32	54	14	100	10

(4) 就職状況 (令和6年3月卒業)

学校名	就職者数	就職地域別			産業別		
		市内	郡内	県内	県外	第1次産業	第2次産業
大町中学校	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
八坂小中後期	0	0	0	0	0	0	0
美麻小中後期	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0

1 1 奨 学 金

(1) 奨学金の種類

ア 対象者

(ア) 一般奨学金（貸与型）

高等学校（高等専門学校等課程及び専修学校高等課程を含み、通信制の課程を除く）又は大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者に貸与を行う。

- ① 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- ② 成績が優秀であること
- ③ 品行方正であること
- ④ 経済的理由により修学が困難と認められること
- ⑤ 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に学資等の貸与を受けていないこと

(イ) 特別奨学金（給付・償還免除型）

大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者に貸与を行う。なお、出願者が卒業後6か月後から起算して貸与期間の倍の期間、市内に居住する場合は、償還を免除（給付）する。

- ① 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- ② 前年度の学業成績証明書において5段階評価で、平均4.0以上であること
- ③ 品行方正であること
- ④ 経済的理由により修学が特に困難と認められること
- ⑤ 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に償還を要しない学資等の給付を受けていないこと
- ⑥ 出願者が卒業後6か月後から起算して貸与期間の倍の期間、市内に居住する予定であること

イ 貸付金額

高校生	月額	15,000円以内
大学生	月額	30,000円以内

ウ 返済方法

卒業後6か月後から貸付期間の倍の期間以内に返済する。ただし、特別奨学金については、要件を満たしている場合、返還を要しない。

(2) 貸付数

(人)

年度 対象区分	平成 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
高校生	4	3	6	5	4	1	0	1	3	3
大学生	14	13	15	15	7	7	5	2	2	4
計	18	16	21	20	11	8	5	3	5	7

(人)

年度 対象区分	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2
高校生	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学生(貸付)	2	2	1	1	2	2	1	2	1	2
大学生(給付)	—	—	—	—	—	—	0	2	2	2
計	4	2	1	1	2	2	1	4	3	4

年度 対象区分	3	4	5	6	7
高校生	0	0	0	0	0
大学生(貸付)	0	0	0	0	0
大学生(給付)	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0

1 2 私学振興

(1) 私学に対する保護者負担の軽減

(令和6年度)

補助対象者	基準人数	補助単価	補助人数	補助金額	備考
朝鮮学園在籍者	1人	9,000円	—	—	学園に補助
私立高校在籍者	1人	22,000円	105人	2,310,000円	保護者に補助

1 3 教員住宅

(令和7年5月1日現在)

住宅名	所在地	建設年度	床面積 (m^2)	戸数	使用料 円
幸町教員住宅	大町市大町4692-1ほか	平成10年	33.7	6	19,000
			78.3	6	29,000
館の内教員住宅	大町市社5610-2	昭和47年	43.6	6	8,000
俵町教員住宅	大町市大町5722-5	昭和60年	80.7	2	21,000
		昭和62年	80.7	2	21,000
		平成元年	45.6	2	14,000
桜田町教員住宅	大町市大町3841-1	昭和63年	80.7	1	23,000
旭町教員アパート (借上)	大町市大町2952-2ほか	平成14年	31.2	6	26,000
			50.2	6	29,000
大平教員住宅	大町市八坂1008-イ3	昭和53年	66.0	1	4,000
	大町市八坂1112	昭和56年	66.0	1	4,000
明野教員住宅	大町市八坂701-1	平成7年	56.0	4	20,000

14 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

(1) コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールは、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域の方が参画できる仕組みです。コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設置され、校長が作成する学校運営の「基本方針の承認」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者が当事者意識を持ち、「役割分担をもって連携・協働による取組」が行われています。学校運営協議会の主な機能として、

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ・学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べるができる
- ・教職員の任用に関して、教育委員会規則で定めた事項について、教育委員会に意見を述べるができる

の3つがあります。大町市では、この他に学校の自己評価に対して、「学校関係者評価」を行う役割を担っています。これらを通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができ、学校と地域が一体となって「地域と共にある学校づくり」の実現に向けて取り組んでいます。

令和2年度から市内すべての小中学校・義務教育学校が「学校運営協議会」を設置し、「地域と共にある学校づくり」を推進しています。

(2) 地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域の皆さん、保護者、地域の団体など幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互のパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

大町市では、全ての学校に設置されている地域の方や保護者の方で構成されている学校支援ボランティア代表者が、地域学校協働活動の拠点となり、子どもたちの学びや活動を支える取り組みを行っています。各学校に配置されている地域コーディネーター（8名）が、学校と地域をつなぐコーディネーターとして、学校への様々な支援活動や協力活動の取組を展開しています。読み聞かせや授業支援（家庭科のミシン指導、着付け指導、習字指導など）、学校の環境整備（落ち葉拾い、花壇定植）、登下校の見守りなどの支援活動の他に郷土学習や職場体験学習を連携して取り組んだり、放課後子ども教室を開設したりして、学校と地域が一体となって子どもたちの学びや体験の充実を図っています。

地域・保護者の方による学校との協働活動の様子



学習支援



花壇づくり



北小カフェ



プロジェクト支援

15 教育支援委員会

教育支援委員会は、大町市教育委員会の諮問に応じて、次の事項について調査審議する機関です。

- (1) 病弱、発育不完全その他やむを得ない事由による児童生徒の就学義務猶予又は免除等の判断に関すること。
- (2) 知的障がいその他心身に障がいのある者で、障がいの状況に応じたふさわしい教育を行うことが適当であると認められる者の判断に関すること。
- (3) その他、適切な教育支援に関し、教育委員会が必要と認める事項のこと。

☆相談件数 (令和6年度)

区 分	取扱件数	相 談 結 果					
		通常学級	通級指導	特別支援学級	特別支援学校	就学猶予	その他
在 籍 者	40	15	(29)	24	1	0	0
来 入 児	39	29		9	1	0	0
計	79	44	(29)	33	2	0	0

※通級指導教室は外数

16 特別支援教育

(1) 市内小中義務教育学校における特別支援学級の児童生徒数の状況 (R6.9.1現在)

学校名	児童生徒数			学級数		
	総数	知障	自・情障	総数	知障	自・情障
大町東小学校	117	2	17	10	1	3
大町西小学校	251	5	23	14	1	3
大町南小学校	229	7	24	13	1	3
大町北小学校	238	2	26	15	1	4
八坂小中学校(前期)	51	0	3	7	0	1
美麻小中学校(前期)	65	2	3	8	1	1
小学校計	951	18	96	67	5	15
大町中学校	476	10	29	14	1	5
八坂小中学校(後期)	17	0	1	4	0	1
美麻小中学校(後期)	34	1	10	5	1	1
中学校計	527	11	40	23	2	7

(2) 市内から特別支援学校へ通っている児童生徒数の状況 (R6.5.1現在)

学校名	小学部	中学部	高等部本校	高等部分室等	合計
安曇養護学校	10	7	11	3	31
松本盲学校					0
花田養護学校					0
松本ろう学校					0
松本養護学校 信濃学園分室		1			1
合計	10	8	11	3	32

(3) 市内小中義務教育学校児童生徒の発達障がいに係る状況 (R6.9.1現在)

区 分	小学校	中学校	全体
発達障害診断を受けた児童生徒数 (全児童生徒に対する割合)	148名 (15.6%)	85名 (16.1%)	233名 (15.8%)
障害判定は受けていないが特別な支援が必要と思われる児童生徒数 (全児童生徒に対する割合)	80名 (8.4%)	111名 (21.0%)	106名 (7.1%)
合計 (全児童生徒に対する割合)	228名 (24.0%)	111名 (21.0%)	339名 (22.9%)

(4) 障がい区分別児童生徒数の状況 (R6.9.1現在)

【小学校・義務教育学校前期課程】

診断・判定名	学級種	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学習障がい(LD)	通常学級	0	0	0	0	1	1	2
	特支学級	0	0	0	0	1	0	1
	合計	0	0	0	0	2	1	3
注意欠陥・多動性障がい(ADHD)	通常学級	1	2	0	1	1	0	5
	特支学級	0	1	0	4	2	2	9
	合計	1	3	0	5	3	2	14
自閉症スペクトラム障がい(ASD)※広汎性発達障害(PDD)、高機能自閉症(HFPDD)アスペルガー症候群、CD(行為障がい)を含む	通常学級	1	2	12	5	4	4	28
	特支学級	7	3	15	9	6	8	48
	合計	8	5	27	14	10	12	76
その他 ※反抗挑戦性障がい(ODD)、複数の診断・判定	通常学級	1	0	7	0	2	4	14
	特支学級	8	3	5	9	10	6	41
	合計	9	3	12	9	12	10	55
障がい判定は受けていないが特別な支援が必要と思われる児童数		13	17	11	22	10	7	80

【中学校・義務教育学校後期課程】

診断・判定名	学級種	1年	2年	3年	合計
学習障がい(LD)	通常学級	0	3	2	5
	特支学級	1	1	1	3
	合計	1	4	3	8
注意欠陥・多動性障がい(ADHD)	通常学級	3	8	9	20
	特支学級	7	0	1	8
	合計	10	8	10	28
自閉症スペクトラム障がい(ASD)※広汎性発達障害(PDD)、高機能自閉症(HFPDD)アスペルガー症候群、CD(行為障がい)を含む	通常学級	0	6	4	10
	特支学級	1	5	5	11
	合計	1	11	9	21
その他 ※反抗挑戦性障がい(ODD)、複数の診断・判定	通常学級	2	2	0	4
	特支学級	9	6	9	24
	合計	11	8	9	28
障がい判定は受けていないが特別な支援が必要と思われる生徒数		8	5	13	26

17 キャリア教育

大町市では市内の幼稚園及び保育園、小中学校及び義務教育学校並びに高等学校が連携して行うキャリア教育を推進するため、大町市キャリア教育推進協議会を設置して子どもたち一人ひとりの社会的及び職業的自立に向けた取組を支援しています。また、市独自に教育委員会内にキャリア教育指導員を配置して、中学校卒業後、高校を中退したり、家にひきこもったりしている若者、家庭への支援（就職や進学相談・支援）を行っています。

(1) 活動の重点

- ア 児童生徒の自己有用感を高めるキャリア・パスポート活用の推進
 - 指導資料の利用を促す
- イ 小学生の職場見学及び中学生の職場体験学習の充実
 - 生徒の希望を叶える職場体験学習の実施
 - 職場見学、社会見学を実施
- ウ キャリア教育指導員による若者支援の充実
 - 高校生徒指導担当者との情報交換の実施
 - 市内副校長教頭会で卒業生の動向や不登校等の児童生徒の状況等の情報交換
 - 就労や進学支援のために、該当する各種機関と随時連携して取り組む
 - 不登校の児童生徒やひきこもり者への支援研修会の実施

(2) 活動内容

- 令和6年度大北地区高等学校生徒指導担当者とのキャリア支援懇談会（年2回実施）
- 市内小中学校・義務教育学校・高等学校キャリア教育担当者会議（年1回実施）
- 高等学校生徒指導及び学級担当とのキャリア支援のための懇談会（1学期中に各校へ訪問）
 - ・エクセラン高校、むつみ高校、つくば開成高校、KTC高校、筑摩高校、松本国際高等学校 等
 - ・大町岳陽高校、白馬高校、池田工業高校（定時制含）
- 市内中学生の職場体験学習への支援
- 令和6年度大町市キャリア教育研修会開催
- 令和6年度大町市キャリア教育推進協議会開催

18 教育支援センター

教育支援センター（アルプスの家）では、学校と家庭の連携を密にしながら、児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行います。それぞれの子ども状態を見ながら、一日の日課や活動内容を工夫し、集団活動や学ぶことの楽しさ、充実感が実感できるよう支援しています。

(1) アルプスの家

- 設置場所 大町市大町4710番地
- 電話番号 0261-23-6418
- 開所時間 月曜日～金曜日 9時から15時30分
- 令和6年度利用者数（在籍数）

	男	女	計
小学校	3人	7人	10人
中学校	4人	11人	15人
合計	7人	18人	25人

19 不登校・いじめの状況

(1) 不登校児童生徒の状況

【小学校・義務教育学校前期】

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
令和元年度	0	1	3	5	3	4	16
令和2年度	0	0	1	3	3	6	13
令和3年度	1	0	0	6	6	8	21
令和4年度	2	2	0	1	4	7	16
令和5年度	1	5	7	5	3	6	27
令和6年度	2	1	3	4	2	5	17

【中学校・義務教育学校後期】

年度	中1	中2	中3	合計
令和元年度	3	9	9	21
令和2年度	7	8	4	19
令和3年度	8	13	5	26
令和4年度	14	22	19	55
令和5年度	15	21	30	66
令和6年度	10	13	19	42

(2) いじめの認知件数

【小学校・義務教育学校前期】

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
令和元年度	32	20	23	10	19	21	125
令和2年度	9	15	11	8	11	10	64
令和3年度	21	8	8	8	18	28	91
令和4年度	52	37	10	12	10	38	159
令和5年度	42	59	34	46	28	24	233
令和6年度	46	49	34	23	43	3	195

【中学校・義務教育学校後期】

年度	中1	中2	中3	合計
令和元年度	10	11	6	27
令和2年度	8	6	1	15
令和3年度	15	3	2	20
令和4年度	12	8	3	23
令和5年度	2	1	2	5
令和6年度	6	6	7	19

20 いじめ防止等の基本方針

学校におけるいじめの問題は、これまでは生徒指導と人権教育の両面を中心として、その防止に取り組んで来たが、平成24年度の大津市での事件を受けて、いじめ防止に向けた一層の取り組みが求められている。そこで大津市では、「いじめ防止対策推進法」と「国の基本方針」及び「長野県いじめ防止等のための基本方針」を踏まえ、「大津市いじめ防止等の基本方針」を平成27年に定め、これに基づいて子どもたちのいじめ防止に取り組んできた現状と成果課題に対応し、平成31年に改定しました。

(1) いじめ防止等の基本的な方向

いじめは、全ての児童生徒に関係する問題である。いじめ防止等の対策は、すべての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにすることが第一である。いじめによって子どもが辛く悲しい思いをすることがないようにするため、学校において、いじめ問題を一人の教職員が抱え込むことなく、学校が一丸となって組織的に対応することが必要です。

○いじめの認知

いじめられた児童生徒の気持ちに寄り添い、ささいなけんかやトラブルであっても軽視せず、いじめの可能性のある事象について広く認知の対象とすることが必要です。

○いじめ理解

いじめは、どの児童生徒にも、どの学校でも起こりうるものです。「暴力を伴わないいじめ」であっても、繰り返されたり、多くの者から集中的に行われたりすることで、生命や身体に重大な危険を生じる場合もあります。集団全体にいじめを許さない雰囲気形成されるようにすることが必要です。

(2) いじめ防止等に関する基本的な考え方

○いじめを未然に防止するために

全ての児童生徒を対象としたいじめの未然防止の視点に力を置くことが重要です。保護者や地域では、学校の取組を理解し、日常的な家庭教育や地域の健全育成の取組を通じて子ども達を見守り、関わっていくことが大切です。

○いじめの早期発見のために

いじめの早期発見は、いじめへの迅速な対処が前提であり、学校、保護者、地域の大人が連携し、児童生徒のささいな変化に気づくことが必要です。

○いじめに適切に対応するために

教職員が一人で抱え込まず、速やかに組織として対応することが不可欠です。

(3) いじめ防止等に向けた取り組み

◇市教育委員会の取組

未然防止	早期発見・早期対応	いじめの対応
○学校教育活動充実に対する支援 ・市学校人権教育推進校の指定 ・いじめ防止等の研修の実施 ・児童生徒に対する情報モラル教育の推進 ○関係機関との連携推進 ○広報・啓発活動	○早期発見・早期対応の取組への支援・助言 ・学校の教育相談、生徒指導体制への支援・助言 ・学校のいじめを含む生徒指導上の諸問題を日常的・定期的に把握 ○相談体制整備 ・電話いじめ相談ホットラインの設置 ・外部指導者を活用し、専門的な助言や問題解決に向けた支援	・いじめの現状把握と適切な指導・助言 ・いじめ報告を受けた時、学校への支援・措置・調査の実施

- ・学校のいじめ防止等の対策の実施状況を学校評価の評価項目への位置づけを指導・助言
- ・教職員が児童生徒と向き合う時間の確保のための学校マネジメント体制づくりへの支援
- ・学校の教育活動や学校運営への保護者や住民の参画機会の促進

◇学校の取組

未然防止	早期発見・早期対応	いじめの対応
○いじめの起きにくい学校・学級づくり ・日々の授業の充実 「主体的・対話的で深い学び」 道徳教育の充実 ・児童生徒が主体的に取り組む活動の充実 ・体験活動の充実 ・教職員の研修 ・「いじめを許さない」姿勢の周知 ・児童生徒のいじめ防止等のための主体的活動の支援	○ささいな兆候であっても、早い段階から複数の教職員で関わり、積極的に認知 ・日常活動の中で児童生徒の様子に目配り ・生活記録を通して児童生徒の悩み等の把握 ・安心して相談できる窓口の工夫と周知 ・教育相談日や相談時間の設置 ・定期的なアンケート調査等を活用 ・校内の組織を中心に情報共有	○教職員が一人で抱え込むことなく全職員が組織的に対応 ・いじめの発見・通報を受けた時の対応 ・いじめの事実確認と報告 ・いじめられた児童生徒、その保護者への支援 ・いじめた児童生徒への指導と保護者支援 ・SNS上のいじめ対応

・いじめが解消している状態の要件について

- ① いじめに係る行為が少なくとも3ヶ月を目安として止んでいること
- ② 被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと
 - ・教職員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、校務の効率化に努める。
 - ・学校いじめ防止基本方針において、いじめ防止等のための取組に係る達成目標を設定し、取組の実施状況を学校評価の評価項目に位置づけ、評価結果を踏まえ、PDCAサイクル(Sはスタディー)で取組を改善する。

◇学校と家庭、地域、関係機関・関係団体が連携したいじめ防止等の取組

・保護者の役割

保護者は、子どもの教育について第一義的責任を有することを認識し、子どもが安心して生活できる環境を整え、温かな人間関係の中で、思いやりの心や規範意識、正義感を育む。

・地域や関係機関・関係団体との連携

学校基本方針等について地域や保護者の理解を得ることで、地域や家庭に対して、いじめ問題の重要性の認識を広めるとともに、学校運営委員会・学校運営協議会を活用するなどして、学校と家庭、地域が連携・協働する体制を整える。

4 重大事態への対応

いじめの重大事態については、本基本方針及び「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン（令和6年8月改訂 文部科学省）」「不登校重大事態に関する報告に関する様式等の見直し（令和6年3月 文部科学省）」に基づき、適切に対応する。

学校の対応	市・教育委員会及び学校の対応	市長の対応
<ul style="list-style-type: none"> ○学校は、「疑い」が生じた段階で調査を開始 ○不登校重大事態の場合、年間30日の目安にかかわらず市教育委員会に報告・相談するとともに、迅速に調査に着手 ・速やかに「学校におけるいじめ防止等の対策のための組織」を中核に、対応チームを組織 ・関係児童生徒への事実確認と関係児童生徒の保護者への迅速な連絡、連携した支援・指導 ・関係機関への支援を要請し、連携体制を構築 ・いじめられた児童生徒の安心・安全を確保 ・いじめた児童生徒への適切な指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・重大事態発生の場合、学校は速やかに市教育委員会に報告、教育委員会は市長に報告 ・市教育委員会は調査の主体を判断し、市教育委員会又は学校の下に、速やかに組織を設け、事実関係を調査 ・調査組織 市教委主体…重大事態に関する調査委員会を設置 学校主体 …学校いじめ防止等対策委員会」を母体に、必要に応じて専門家を加える。市教育委員会は、調査組織設置について指導・助言 ・調査方針及び調査結果の提供及び報告 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <pre> graph LR A[市教委・学校] -- "調査方針・結果提供・報告" --> B(保護者) </pre> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を踏まえた措置 	<ul style="list-style-type: none"> ○次の場合、再調査を検討する（判断基準） ・調査等により、調査時には知り得なかった新しい事実が判明した場合、又は新しい重要な事実が判明したものの十分な調査が尽くされていない場合 ・事前に被害児童生徒・保護者と確認した調査事項について、十分な調査が尽くされていない場合 ・市教育委員会及び学校の対応について十分な調査が尽くされていない場合 ・調査委員の人選の公平性・中立性について疑義がある場合 ○再調査は、再調査委員会が実施 ・委員は、公平性・中立性・客観性を確保

21 児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み

今日の情報化社会や多様化社会と呼ばれるような社会システムの大きな変化は、児童・生徒を取り巻く環境にも様々な影響を及ぼしてきています。

特に、多機能性を持つメディア機器であるスマートフォン等の急速な普及に伴い、無料通話アプリやSNS、オンラインゲーム等のいわゆるソーシャルメディアにより高い利便性が得られる一方、長時間利用による生活習慣の乱れや、不適正な利用による青少年の犯罪被害、いじめやプライバシー上の問題等につながるケースも見られることから、青少年がこのようなリスクや対応策を理解した上で、スマートフォン等を正しく利活用できる環境を整えることが、従来にも増して重要となっています。

この様な背景から、家庭における規則正しい生活の確立とテレビやゲーム、携帯電話等の使用をはじめとする生活習慣の改善について、その解決を家庭だけに委ねるのではなく、学校、家庭、そして地域と行政が一体となって取り組むため、「家庭における児童・生徒の生活習慣改善検討委員会」を平成25年度に設置し、「児童・生徒の家庭生活習慣の確立とメディア漬け危機への対策」への取り組みを、大町市青少年育成市民会議、大町市子ども会育成連絡協議会、大町市PTA連合会、大町市教育委員会と連携、協働して展開しています。

○「きらり おおまち サンプラン」

児童・生徒の生活習慣や情報機器の利用状況等の実態調査を基に、望ましい生活習慣の確立を促すため、親子でより良い生活習慣づくりに取り組む指針として「きらり おおまち サンプラン」を作成し、市内全戸に配布するとともに、機会あるごとに周知活動に取り組んでいます。

【こころづくり・からだづくり・リズムづくりの3つのプラン(サンプラン)をキャッチフレーズに取り組みを進めています】

○「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」

スマートフォン等を正しく利用するための家庭におけるルールづくりを推奨するため「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」を作成し、幼稚園、保育園、小中学校において、全児童・生徒に配布しています。

22 通学の安全確保に関する取り組み

(1) 子どもの安全を守る地域連絡会

平成17年に小学校区ごとに、地域の関係諸団体に参画いただき発足。

(2) 安心安全マップの作成・公開

ア 学区内の交通安全上の危険・注意箇所等の情報を地図上に「安全マップ」として作成し、各家庭に配布して注意喚起を図る。

イ 「安全マップ」の情報を集約し、GIS(地理情報システム)を活用した「おおまち子ども安心・安全マップ」を平成23年に構築、インターネット上に公開し、情報を学校や地域間等で共有し、さらなる児童生徒の安全確保の徹底を図る。

○安心・安全マップ掲載箇所数

学校名	交通に気をつけるところ	水路に気をつけるところ	冬季に気をつけるところ	その他の危険に気をつけるところ	計
東小学校	37	21	8	6	72
西小学校	52	8	8	5	73
南小学校	16	38	7	2	63
北小学校	52	29	9	10	100
美麻小・中学校	4	2	6	1	13
旧第一中学校	13	7	9	2	31
大町中学校	10	1	1	0	12
八坂小中学校	14	16	1	10	41
計	198	122	49	36	405

(3) 合同点検の実施

ア 平成24年に、小学校、教育委員会、大町警察署、交通安全の関係機関、道路管理者が緊急合同点検を実施。

各小学校から40項目に及ぶ危険箇所の報告を受け、見通しの悪い交差点や、歩道がなく狭い道路で交通量の多い場所、道路脇に大きな水路がある場所などの現地調査を行い、関係機関や地域と連携し、計画的に危険箇所の改善に取り組み、40箇所中32箇所について対策を実施。

イ 平成26年度に、再度各小学校区の合同点検を実施し、現在危険箇所の改善を進めている。

ウ 平成30年度より交通安全に加え、防犯の観点による合同点検も実施し、児童生徒の通学全般の安全確保を図り、着実かつ効果的な取組みを推進している。

○対策状況(令和7年3月現在)

学校名	危険箇所総数	対策済み箇所数	一部対策済及び対策予定箇所数	対策未定箇所
東小学校	30	27	3	0
西小学校	30	22	8	0
南小学校	20	18	2	0
北小学校	37	31	6	0
八坂小中学校	10	7	3	0
美麻中小学校	9	6	3	0
総数	136	111	25	0

※対策予定箇所には、複数年にわたって計画的に整備するものも含む。

(4)大町市通学路安全プログラムの策定(H27.3策定)

【通学路の交通安全の確保に向けた取組みの基本的方針】

- 学校及び保護者、道路管理者、警察署等の関係者が連携して、児童及び生徒の通学路における交通安全の確保を図り、着実かつ効果的な取組みを推進するため、大町市通学路安全推進会議を平成26年設置。
- 委員構成
長野国道事務所、大町建設事務所、大町市建設業組合、大町警察署、大町市PTA連合会、大町市校長会及び庁内関係部署(学校教育課、市民課、建設課、危機管理課)から選出された11名で構成。
- 今後の取組み
小学校区ごとに継続的に合同点検を実施し、対策実施後の効果把握、対策の改善・充実を図るため、PDCAサイクルによる取組みを実施。

【通学路の安全確保のためのPDCAサイクル】



23 学校給食

(1) 学校給食の基本方針

児童生徒に安全で安心な学校給食を安定的に提供するため次のとおり基本方針を定める。

- 児童生徒の健康の増進、体位の向上及び正しい食習慣の形成を図る。
- 栄養管理や望ましい食生活形成に関する家庭の教育力の活性化を図る。
- 食についての衛生管理を体験させる。
- 食や栄養に関する正しい知識を身につけ、自らの食生活を判断する能力を習得させる。
- 地域の水や農作物などの豊かな資源や自然環境、地域内循環について知り、自然の恵みや生産に係る人々へ感謝する心を育む。
- 地産地消の推進及び郷土食などを通じて、地域の食材や食文化を理解し郷土愛を育む。
- 児童生徒に集団生活を体得させ、協働・協調の精神を身につけさせるとともに、児童生徒間や教師と児童生徒の心の触れ合いを育む。

(2) 学校給食の重点施策

上記の基本方針を実現するため次の施策を行う。

- 当面の間、市立学校では「自校直営方式」(平成18年市村合併による八坂共同調理場を除く)とする。
- 施設状況を調査し、効率的で計画的な施設整備を行う。
- 「大町市食育推進計画」を基本とした食育の推進に努める。
- 衛生管理については、調理員、栄養士を対象とした講習会、研修会を開催のほか食品管理、作業管理、事故発生時の適切な対応等についてマニュアル化を進めている。
- アレルギー児童生徒の対応については、令和3年度に「大町市立学校給食における食物アレルギー対応基本方針」を定め、食物アレルギーを有する児童・生徒にも給食を提供するため、安全性を最優先に考え、原因食物の除去対応を原則とした対応を行っている。また、校内での食物アレルギー対応委員会等の設置や医療機関との連携など組織的な対応に努める。
- 地産地消については、地域の生産者や生産組合等と連携を図り、積極的に取り組む。

(3) 学校給食の実施状況

令和7年5月現在

学校名・施設名	給食提供数 (教職員分を除く)	一食当たり給食費
大町東小学校	113食	305円
大町西小学校	232食	305円
大町南小学校	228食	305円
大町北小学校	237食	305円
八坂小中学校	前期 42食	前期 305円
	後期 30食	後期 335円
美麻小中学校	前期 70食	前期 305円
	後期 27食	後期 335円
大町中学校	461食	335円

※平成31年4月から学校給食費を公会計化。市教育委員会事務局で徴収管理。

2.4 学校部活動の地域展開

(1) 学校部活動地域展開の背景

学校部活動は、スポーツや文化芸術活動に興味・関心のある同好の中学生が、自主的・自発的に参加し、各部活動の責任者（部活動顧問）の指導の下、学校教育の一貫として行われ、スポーツ・文化芸術振興の一翼を担ってきました。体力や技術の向上を図る目的以外にも、異年齢との交流の中で、中学生同士や中学生と教員等との好ましい人間関係の構築を図り、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、学校という環境における中学生の自主的で多様な学びの場として、教育的意義を有してきました。

しかしながら、少子化が進行する中、学校部活動を従来と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にあります。また、専門性や意思に関わらず教員が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校の働き方改革が進む中、より一層厳しくなっています。

(2) 国・県の動き

スポーツ庁及び文化庁において、学校部活動の段階的な地域移行に関する検討を進め、令和4年12月、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定し、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応等を示しました。ガイドラインでは、中学生の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するために、学校と地域との連携・協働により、学校部活動の在り方に関し速やかに改革に取り組み、中学生や保護者の負担に十分配慮しつつ、持続可能な活動環境を整備することを求めています。

また、長野県教育委員会では、令和6年3月、「長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針」及び「長野県地域クラブ活動推進ガイドライン」を策定し、令和8年度末を目途に、休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行を目指しています。

(3) 市での取組み

市では、学校部活動を取り巻く環境の変化に対応し、将来にわたり中学生がスポーツ・文化芸術活動等に継続して親しみ、楽しむことができる機会を確保していきます。当面、令和8年度末を目途に、休日の部活動を地域クラブでの活動へと移行し、可能な部活動においては、できる範囲で、平日の活動も地域クラブ活動として取り組むこととします。そして、将来的には、全部活動を地域クラブ活動として展開できるよう段階的に取り組んでいきます。

■進捗状況

- 令和6年10月 「部活動地域クラブ移行に関する意向調査」実施
- 12月 「大町市学校部活動地域展開推進協議会設立準備委員会」設置
部活動地域展開に向けて検討を開始
- 令和7年 4月 「第1回大町市学校部活動地域展開推進協議会」開催
意向調査を基に、国・県の方針を踏まえ、「大町市学校部活動地域
展開推進計画」を策定
- 10月 「第2回大町市部活動地域展開推進協議会」開催
大町市地域クラブ認定要項等を策定し、実施団体を募集
- 令和8年 3月 「第3回大町市部活動地域展開推進協議会」開催
令和7年度（展開準備期）の地域展開推進状況についての検証
次年度事業、今後のスケジュールについて協議

Ⅲ 生涯学習推進と

社会教育



いきいき学習 エンジョイライフ 大町

生涯学習推進と社会教育

基本方針

社会教育とは、教育基本法第12条で「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育」とされており、社会教育法第2条で「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）」と規定されています。

また、生涯学習とは、一人ひとりが健康で豊かな生活を営むことや、仕事や生活に役立つ知識や技術を身につけ、生きがいのある人生を送るために、自発的意思に基づき、自分に適した方法を選んで生涯を通じて行う学習とされています。

生涯学習と社会教育は相互に関連性が深く、とりわけ生涯学習は社会教育をはじめとした教育諸活動をすべて包括した概念です。

生涯学習にはあらゆる学習活動が含まれています。学校や社会の中で行われている意図的・組織的なものから、趣味、資格取得、企業内研修、スポーツ活動、レクリエーション活動、芸術・文化活動、ボランティア活動、自然体験活動、地域づくり活動、世代間交流活動など幅広いものがあります。

学習の方法には、読書、テレビ、通信教育、インターネットなどを利用して行う個人の学習もあれば、学校や公民館、民間機関などで行われるものもあります。したがって私たちは分野や程度の違いはあるとしても、だれでも既に生涯学習をしており「学び」続けているといえます。

「学び」を楽しみながら続けることで、個人の達成感や仲間との充実感、一体感などが私たちの生活の支えになり、いきいきとした豊かな人生が育まれます。また、「学び」の成果を地域で生かすことは地域社会の活性化やまちづくりの大きな力になります。

今後、人々が充実した人生を築くためには、生涯にわたる自主的な「学び」を通し、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現が求められています。こうした社会を実現するための重要な機能として、家庭教育、学校教育、社会教育が相互に連携・協力していく必要があります。

生涯にわたって、主体的に、かつ快適に学び、その成果を生かせる生涯学習社会の実現に向け、7期まで策定された大町市社会教育計画を包含した新たなプランとして、第5次大町市生涯学習推進プランを策定し3つの基本方針を掲げ、全市的に取り組んでいます。

- 市民一人ひとりに対応した「学び」の基盤と環境の整備
- 生涯をつうじライフステージに応じた継続的な学びの支援
- 未来に向けたコミュニティの再生と活性化

1 生涯学習・社会教育

高度情報化や少子高齢化による社会構造や家庭生活の変化、価値観の多様化、そして自然災害等で急激な変化を遂げている社会環境において、生涯学習社会の実現とともに、地域コミュニティの再生という面からも社会教育の力が従来以上に必要となっています。

学習ニーズを的確に把握し、自主的かつ快適な活動推進の積極的支援とともに、「教育」や「学び」により「生きる」力を身に付け、生涯学習の理念である「一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かることができる社会の実現」を図ります。

1 主要な施策の実施状況【令和6年度】 ※文化財・公民館・図書館事業については別途掲載

事業名及び内容	事業効果、成果
「二十歳の門出」の開催	8月15日開催、参加者173人
北アルプス雪形まつり児童生徒作品表彰式	6月8日開催、入賞者12人、参加者400名程度
ギャラリー・いーずらの利用日数・入館者数	開館日数52日、入館者数2,075人
大町公民館分室の運営・管理	開館日数292日、利用者数14,792人
蔵の音楽館の運営・管理	開館日数292日、利用者数450人
エネルギー博物館運営補助	入館者数8,273人
公民館分館整備助成	1件
子どもセンター事業「がったつうしん」発行	4回

2 第5次大町市生涯学習推進プラン

(1) 計画期間 令和4年度～令和8年度

(2) 基本テーマ ～人を想い、まちを創る～「学び」で自ら切り拓（ひら）くしあわせな未来

(3) プラン体系 次ページ参照

プラン体系図

基本テーマ

「学び」で自ら切り拓(ひら)くしあわせな未来
 ～人を想い、まちを創る～

推進の基本方針

市民一人ひとりに対応した「学び」の基盤と環境の整備

生涯をつうじ
 ライフステージに応じた継続的な学びの支援

未来に向けた
 地域コミュニティの再生と活性化

基本計画

1-1 多様な社会教育の充実と促進

1-2 指導者・推進役の養成

1-3 学習情報提供体制の充実

1-4 生涯学習関連施設の機能強化

2-1 ライフステージに応じた学習活動の支援

3-1 人権意識の向上と地域で育む学びの推進

3-2 生涯学習成果の活用

3-3 住民の手による地域づくりの推進

3-4 交流活動の推進

3-5 SDGsの推進(持続可能な地域づくり)

具体的な方策



2 青少年

次代を担う青少年の健全育成を図ることを、社会全体の課題としてとらえ、家庭、学校、地域社会が一体となった市民ぐるみの取り組みとして根付くよう努め、青少年育成市民会議、子ども会育成会活動の活性化、青少年センターにおける活動等の充実を図ります。

(1) 重点施策

ア 青少年の健全育成

「地域の子どもは 地域で育てる」を基調として、市民の理解と協力を得ながら、総合的かつ効果的な取り組みを推進します。

- (ア) 青少年育成市民会議を通じた市民ぐるみの運動の推進
- (イ) 子ども会育成会等関係団体との連携、組織強化と活性化
- (ウ) 青少年センターによる相談業務、見まもり活動、あいさつ運動等の充実
- (エ) 青少年リーダーの育成

イ 市民の連帯意識の高揚

明るくおもしろいのある心を育て連帯の気風を高めるため、市民総参加による「あいさつ運動」を進めます。

(2) 主な事業

ア 青少年の健全育成

○青少年関係

- (ア) 地域子育てセミナーや家庭教育懇談会の開催
- (イ) ジュニア・ユースリーダー研修会の開催
- (ウ) 青少年リーダーの育成
- (エ) 全国子ども会安全共済会への加入
- (オ) 青少年育成啓発事業推進
- (カ) 小・中・高生徒指導連絡会開催
- (キ) 高等学校への学校訪問の実施
- (ク) 子どもセンター事業の展開による、情報収集・情報提供及び、相談業務

○補導関係

- (ア) 街頭補導の実施
- (イ) 地域における青少年の健全育成と非行防止
- (ウ) 環境浄化活動の実施
- (エ) 関係機関との懇談会、連絡会開催
- (オ) 電話相談、面接相談の実施
- (カ) 青少年センターだよりなどの広報啓発活動

イ 市民の連帯意識の高揚

自治会・学校・企業などの協力を得ながら、市民総参加による「あいさつ運動」の推進

(3) 主要な施策の実施状況【令和6年度】

事業名及び内容	事業効果、成果
補導委員街頭補導活動	活動回数 42 回、延べ参加人数 165 人
青少年育成市民大会の開催	全体会・講演会を実施 参加人数 152 名
ジュニア・ユースリーダー研修事業	年 8 回実施 登録者(ジュニア 30 名、ユース 12 名)
子ども体験学習号運行業務	運行回数 9 回、利用者数 237 人

3 文化財

大町市は、仁科氏の歴史と文化を伝える、国宝建造物の仁科神明宮をはじめ、国、県及び市指定等の文化財を数多く有するとともに、希少な天然記念物や貴重な歴史・民俗資料が各所に残されている、県下有数の文化財の宝庫です。

歴史ある、大切な遺産を次世代に引き継いでいくため、関係機関・団体と連携し、文化財保護事業に取り組むとともに、文化財に関する学習機会を提供することにより、地域の歴史・文化・自然遺産として再発見し、郷土への愛着や文化財保護意識の醸成を図ります。併せて、地域振興のため、積極的な利活用を促進します。

(1) 重点目標

ア 文化財の保護・保存

- ・文化財保護事業 文化財保護事業、維持管理の支援
- ・環境整備事業 天然記念物や史跡の環境整備の実施
- ・文化財センター等の管理

イ 文化財保護意識等の醸成

- ・文化財講座 歴史・文化・自然等に関する講座の開催
地区公民館等と連携し、地域学習等の充実を図る
- ・自然観察会 居谷里湿原自然観察会の開催
- ・文化財特別展 文化祭等で文化財や歴史的資料の特別展を開催
- ・旧中村家住宅の公開 主屋・土蔵の一般公開、活用
- ・出張講座等の対応 地域住民や児童・生徒等の学習活動を支援

ウ 文化財の調査と活用

- ・開発事業等に伴う埋蔵文化財調査 保護措置の調整や発掘調査等の実施
- ・未指定文化財の調査・整備 未指定文化財や古文書等の歴史的資料の調査の実施
地域住民と協力して文化財の現地調査・整備を実施
- ・文化財の調査・登録と活用 国有形文化財登録に向けた歴史的建造物の調査
本通り周辺の建造物の調査を行い保存と利活用を促進
- ・地域観光の振興 宿場町おおまの歴史・文化散策ルートの紹介
観光協会穴場ツアーの継続開催

エ 文化財保存活用地域計画の策定 関連文化財群の悉皆調査の検討、着手

オ 文化財センター移転に向けた対応 移転先、移転先の工事内容、移転作業、スケジュール等の検討を進める

(2) 実施事業（令和6年度）

ア 文化財の保護・保存

- ① 文化財の指定・登録 国有形文化財の登録

- ・旧櫻井家住宅店舗兼主屋、同土蔵 令和6年12月3日登録
- ② 指定文化財保護補助事業 3件
 - ・若一王子神社流鏝馬行事 ・若一王子神社社叢危険木伐採・剪定
 - ・下條家関守門修繕
- ③ 指定文化財保全・環境整備事業
 - ・居谷里湿原 ・藤尾覚音寺 ・上原遺跡 ・千見城 他
- ④ 県文化財パトロール 5月～7月 6回実施 16か所（国・県指定24件）

イ 文化財保護意識等の醸成

- ① 文化財講座 4月～11月 7回開催 参加者137人
- ② 観察会 居谷里湿原自然観察会 5月3～5日 参加者90人
- ③ 文化財防火デー消防訓練 1月26日 美麻二重 水上神社 関係者約100人参加
- ④ 国重要文化財旧中村家住宅の公開 4月～11月 有料入館者342人
北アルプス国際芸術祭アート作品展示 入場者7,792人
- ⑤ 市内文化祭文化財展の実施 社地区・大町市文化祭
- ⑥ 文化財関係団体等の活動支援 木舟城研究会、塩の道ちょうじや ほか
- ⑦ 地域観光の振興 観光協会穴場ツアー「木舟城見学ツアー」 雨天中止
- ⑧ 指定文化財の管理状況の把握と所有者への助言等
- ⑨ 古地名地図のWEB公開
- ⑩ 文化財センター来館者・保管資料見学・閲覧利用者 355人
- ⑪ 職員出張講座参加者 114人

ウ 文化財の調査と活用

- ① 開発事業に伴う遺跡発掘調査 なし
- ② 開発事業に伴う試掘調査 なし
- ③ 未指定文化財建造物調査 信州大学工学部梅干野研究室 本通り周辺歴史的建造物調査
- ④ 市内土蔵収蔵物等調査 古文書、民俗資料等



国登録有形文化財
旧櫻井家住宅店舗兼主屋
令和6年12月3日登録



文化財講座
県宝指定記念
「山の神遺跡と出土品」
(常盤公民館共催)



文化財講座
「天空の道
大町峰街道を歩く」
(美麻公民館共催)



文化財講座
「仁科領東部方面最前線
野田城に登る」
(八坂公民館共催)

(3) 指定文化財

国:令和6年12月3日現在、県・市:令和6年4月16日現在

名称・指定年月日・所在地	説 明
国指定文化財	
[国 宝]	
仁科神明宮本殿、中門(前殿) 2棟 S28. 3. 31 社1159番地	本殿は桁行3間・梁間2間・神明造・檜皮葺。中門(前殿・御門屋)は四脚門・切妻造・檜皮葺で、釣屋がこれらを連結している。ともに寛永13年(1636)の造営で江戸時代初期の端正な建築である。本殿は神明造の建築物として、わが国で最古の様式を伝えていることで極めて高く評価されている。釣屋は附属指定。なお、伊勢神宮にならい20年に一度行われる式年遷宮については、今回は令和元年(2019)に行われている。
[国重要文化財]	
盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30 社2937番地1	もとは東北側山中の山寺地籍にあった堂を移築したものと伝えられているが、仁科氏の祈願寺であった関係から、同氏によって造られたものと考えられる。室町時代に建立されているが、鎌倉時代末頃の創建当時のおもかげをわずかにとどめている。桁行3間・梁間3間の寄棟造で、松本平最古の木造建築物である。
木造棟札 S25. 8. 29 社1159番地	永和2年(1376)から安政3年(1856)にいたる480年間に及ぶ27枚が指定されており、棟札が単独で指定されているのは全国でもこれだけである。この棟札によって仁科神明宮の20年に一度の式年造営の様子、仁科氏の家系と家臣、造営事情等を詳細に極めることができ、地方文化の究明の上でも貴重な資料とされている。仁科神明宮蔵。
若一王子神社本殿 S30. 2. 12 大町2097番地	一間社・隅木入春日造・檜皮葺で、承応3年(1654)の棟札1枚が付属指定されている。室町時代の末頃に仁科氏によって造営されたもので、建築様式に多くの地方様式を残している。
鉄罎口 S32. 2. 19 社4886番地2	面径24cmで表面に安貞2年(1228)8月の陽刻銘が見られる。木舟にあった仁科氏の祈願寺跡から出土したものと伝えられており、鉄製で年代の明らかな罎口としては、わが国最古のものである。このような珍しい罎口が、この地に残っているのは、仁科氏文化の性格を語るものとして貴重で興味深い。木舟集落所蔵。市立大町山岳博物館保管。
御正体 S36. 2. 17 社1159番地	銅製の円盤に仁科神明宮の本地仏大日如来などを取り付けた懸仏で、指定されているのは5面であるが、ほかに11面が附属指定されている。裏面に「弘安元年卯月廿一日」の朱漆銘のあるものや「弘安九年十二月廿二日」の墨書銘のあるものがあるほか、「志ん名」「志んめいの御しやうたい」と記されているものがある。
木造千手観音立像 S25. 8. 29 八坂1625番地	檜材・寄木造、像高168. 2cm。像造年代が平安時代末期であるが、技法や彫り方にはそれ以前のものを感じさせる。木像の胎内には願主・仏師などの名前や治承3年(1179)3月と年代など造像事情を記した墨書木札1枚、白銅製菊花双雀文鏡1枚、紙本千手観音摺仏28枚が納入されており、白銅鏡は附属指定となっている。藤尾覚音寺の本尊で、「藤尾の観音さま」と呼ばれ人々に親しまれている。
木造持国天立像、木造多聞天立像 2軀 S25. 8. 29 八坂1625番地	2軀は覚音寺千手観音立像の脇持で、檜材・寄木造。像高は持国天161. 5cm、多聞天157. 6cm。像の背面には、持国天・建久5年(1194)、多聞天・建久6年(1195)年と年号の陰刻銘が刻まれており、これが造像年代と考えられる。鎌倉時代初頭の造像であるが、作風は平安時代後期の作風を残している。
旧中村家住宅主屋、土蔵 2棟 H9. 12. 3	主屋は桁行14間・梁行6間・建坪84坪(約278㎡)の木造平屋・茅葺・寄棟造で、元禄11年(1698)建立と建築年代が明らかな民家として県内最古で、大きさも当時の民家として

美麻17668番地	は県内屈指で、農村における居住形態を知る上で貴重である。 土蔵は桁行6間・梁行4間の切妻造で、安永9年(1780)と建築年代が判明するものとしては県下で古い例に属す。置屋根で軒支柱を立てて屋根の荷重を支える構造である。
[国天然記念物]	
高瀬溪谷の噴湯丘と球状石灰石 T11. 10. 12 平 湯俣	高瀬溪谷の湯俣川下流付近で温泉沈殿物(主に炭酸カルシウム)が河床に堆積して小さな火山のような形(噴湯丘)になり、中央の湧き口に白い小豆粒大の霰石(あられいし)(球状方解石)ができる現象が珍しい。
[国特別天然記念物]	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。
ライチョウ S30. 2. 15	動物・鳥類
ニホンカモシカ S30. 2. 15	動物・哺乳類
[国天然記念物]	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。
イヌワシ S40. 5. 12	動物・鳥類
ヤマネ S50. 6. 26	動物・哺乳類
国登録文化財	
[国登録有形文化財]	
平林家住宅 主屋 H29. 10. 27 大町2572番地1	主屋は間口7間の土蔵造2階建で、式台玄関や座敷棟を併設している。明治23年(1890)に再建された建物で、松本の開智学校などを手掛けた立石清重の設計により、防火等の対策がなされた大町初の土蔵造町家として貴重。
平林家住宅 文庫蔵・塩蔵・漬物蔵 H29. 10. 27 大町2572番地1	文庫蔵・塩蔵・漬物蔵は3棟の土蔵を置き屋根形式の切主間作りの屋根で一体化した土蔵で、東正面に下屋庇をつけている。文庫蔵は江戸時代後期の建立で、塩蔵・漬物蔵は明治2年(1869)に増築されたものである。
東京藝術大学山岳部黒沢ヒュッテ H30. 11. 2 平4976番地3	昭和35年(1960)に東京藝術大学山岳部によって建設された山小屋で、標高1,200mの尾根上に建つ1階はコンクリートブロック造、2階は木造。折板状の片流れ屋根の軒を張り出し南西面に広く開口する斬新なデザインの山小屋で、テラスからは後立山連峰を望む。戦後の登山ブームの一端を示す山岳施設である。
旧北澤家住宅 主屋 R元. 9. 10 八坂908番地	嘉永2(1849)年頃に建設(明治後期・昭和50年代改修)された、山間にある集落の庄屋宅で、間口の広い寄棟造茅葺(鉄板仮葺)の2階建、軒出桁造。山村景観の核をなす豪壮な民家として貴重である。
栗林家住宅(創舎わちがい) 店舗 R4. 10. 31 大町4084番地1ほか	大正後期建設。木造2階建、瓦葺、建築面積108㎡。栗林家は大町組大庄屋を務めた旧家。近代以降も戸長、運送業、医院を営む。屋号は「輪違(わちがい)」。店舗は切妻造・平入・棧瓦葺で通りに面し、2階に床付座敷を配する。
栗林家住宅(創舎わちがい) 主屋 R4. 10. 31 大町4084番地1ほか	江戸末期建設。木造平屋・一部2階建、瓦葺及び鉄板葺、建築面積119㎡。主屋は通りから門、庭を前面に介して位置し、南側の店舗側面後方と接続する。切妻造・平入で、元は板葺。
栗林家住宅(創舎わちがい) 門及び塀	明治前期建設。木造、瓦葺、間口3.6m、板塀付、総延長8.9m。門は店舗の北に並んで通りに開く切妻造・棧瓦葺の薬医門。北側袖壁に潜り戸を設け、格式ある構えで歴史的

R4. 10. 31 大町4084番地1ほか	景観を伝える。
旧櫻井家住宅 店舗兼主屋 R6. 12. 3 大町3286番地4	明治26(1893)年頃に建設(後年に改修あり)。大町市の中心部、糸魚川街道に北面して建つ旧塩問屋の町屋。二階建切妻造平入瓦葺で、正面2階は柱と貫を現して袖壁を付す。妻面を漆喰で塗込める。明治22(1889)年の大火後の復興を伝える。
旧櫻井家住宅 土蔵 R6. 12. 3 大町3286番地4	明治12(1879)年に建設(昭和後期に改修)。建設年は棟木墨書による。主屋の背後に位置し、北面して建つ家財蔵。2階建切妻造妻入、置屋根形式。明治22(1889)年の大火前に遡る貴重な土蔵。
長野県指定文化財	
[長野県宝]	
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14 大町4188番地	平安時代中期の製作と考えられるもので、櫛の一木造。後に補われ修理された部分もあるが、平安時代初期の貞観様式を多分にもつ安曇平最古の木像である。像高5尺3寸3分(約161.5cm)の立像。弾誓寺観世音保存会蔵。
若一王子神社三重塔 S41. 1. 27 大町2097番地	弾誓寺六世木食故信法阿の発願で宝永3年(1706)から工事を始め、宝永8年(1711)に竣工した。墓股(かえるまた)内部に方位に合わせ獣面人身という珍しい彫刻が施されており、この地方としてはまれに見る優雅な塔で、松本平で唯一の木造の塔である。棟札4枚が附属指定。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27 大町4729番地4	若一王子神社の三重塔の原型とも言い伝えられ、10分の1の縮尺であるとされているが、細部の手法には若一王子神社の三重塔とは異なったところが見られる。造られた年代は江戸中期とみられる。
大黒町舞台 S62. 8. 17 大町2199番地	諏訪の名匠二代目立川和四郎富昌により、江戸時代後期の文政9年(1826)頃までに完成したと思われる。二層構成・切妻起屋根・三輪形式の稼動舞台。随所に入念巧遅な立川流の彫刻があり、美術的価値が高い。明治21年(1888)年に松本の本町二丁目から購入し、以来毎年7月の若一王子神社の夏祭りに市街を巡行している。大黒町自治会蔵。
霊松寺山門 H5. 8. 12 大町6665番地イ	入母屋造・正面3間・側面2間の楼門形式の八脚門で総檜造(そうげやきづくり)である。和様の重厚な形式を基本にして、唐様を取り入れた折衷様式でいたる所に施された素木彫の建築彫刻は、江戸時代後期立川流の流れをよく表している。嘉永5年(1852)に諏訪郡高部村の藤森広八(二代目政因)が棟梁となって、松川村観勝院に建てられたが、同寺が廃寺となった明治11年(1878)に霊松寺へ移築されたものである。
銅造十一面観音坐像御正体残闕(ざんけつ) H11. 3. 18 大町2097番地	若一王子神社観音堂の現在の本尊。本来は懸仏であったものであるが鏡板を失い仏体のみとなっている。鑄銅造で像高19cm、蓮華座の高さ3cmの坐像で、右手は施無畏、左手には瓶中蓮を持っていたと思われるがこれも失われている。やや下膨れの顔が柔和で体型はふっくらとしており、彫りは浅く衲衣(のうい)も簡略であるが優美な仏像である。
山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16 社3945番地2	鎌倉～室町時代に社間田の東山中にあったと伝えられる山寺廃寺跡から出土した火葬骨の蔵骨器で、四耳壺1・瓶子2・土師質小皿1・青白磁水注1・写経石(法華経の一部が石に墨で書かれたもの)1がある。四耳壺・瓶子は古瀬戸で、鎌倉時代中期以前の優れた製品。水注は中国の景德鎮での製造と推定される。大町市民俗資料館保管。
若一王子神社観音堂及び宮殿 H23. 9. 29 大町2097番地	観音堂は江戸時代中期の宝永3年(1706)に建立された宝形造、茅葺・三間四面の和様建築。内部は表側2間通りを外陣とし、奥1間通りを内陣として宮殿(厨子)を置く。宮殿は禅宗様式を多く取り入れ、和様と唐様を折衷したものである。棟札が附属指定。
山の神遺跡出土品 R5. 11. 30 大町4700番地	山の神遺跡は、大町市常盤にあり、縄文時代早期中葉(今から約9,000年前)を中心とした遺跡。本遺跡から発見された出土品のうち、とくに学術的に価値が高く、県内の縄文文化の一端を知ることができる貴重な資料として、押型文土器ほか4点(押型文土器3点、縄文土器1点)と異形部分磨製石器41点の計45点を指定。大町市文化財センター保管。
[長野県無形民俗文化財]	
仁科神明宮の神楽	仁科神明宮の秋の例祭に奉納される、能を取り入れた神楽。演目は剣の舞・岩戸神楽・五

S44. 7. 3 社1159番地	行の舞・水継・幣の舞・竜神神楽・道祖神の7座である。舞だけの座と、舞を伴いつつ謡曲によって天の岩戸・海幸山幸・天孫降臨の神話を展開していく座がある。
仁科神明宮・作始め神事 H2. 2. 19 社1159番地	仁科神明宮の春の例祭に、伊勢神宮の祈念祭(としごいのまつり)にならって行われている神事。鍬初めから苗代づくり・種播き・鳥追いまでの一連の水田耕作の所作が、神楽殿内を一坪の広さに仕切った中で演じられる。その年の作況を占う神事。
流鏝馬の神事 H13. 9. 20 大町2097番地	毎年7月第4日曜日の前々日から3日間(旧来は7月15～17日、後に7月28・29日)の若一王子神社の例祭で、最終日に行われる。7～8歳前後の男子が化粧をして狩衣装束をつけ、飾った馬に乗り、的板めがけ弓矢を射る神事。この神事のもとには農作の豊凶を占う神事で、武士の間で盛んであった「やぶさめ」の形を取り入れた地方色の強い神事と考えられる。
[長野県史跡]	
上原遺跡 S35. 2. 11 平1955番地355ほか	昭和25～27年(1950～52)の4次にわたる発掘調査で、配石跡や竪穴等の遺構の発見があった縄文時代前期を代表する遺跡。配石遺構は2群あって、1号群は中心石柱1個、側石柱12個により南北径3.6m、東西径2.2mの楕円形に復元され、2号群はこの南に2.4m離れ、中心石柱1個、側石柱6個により径1.8mの円形に復元されている。竪穴は配石跡の南40mにあり、径2m・深さ1mの円形竪穴で側壁が階段状になっており、焚火跡も見られた。出土遺物では土器は縄文時代前期のものを中心とし、それに伴う石器は石斧・石鏃・石匙・石錐・球状耳飾等がある。指定区域面積は約40,000㎡。
[長野県天然記念物]	
大塩のイヌザクラ S37. 7. 12 美麻3342番地	静御前がこの地を通ったときに持っていた杖をさしたのが根付いて大きくなったという伝承から、「静の桜」と呼ばれる。目通り幹囲は8.45m、太い幹に比して樹高約20mと低いが、枝は四方に良く伸びており、樹姿が雄大である。開花期は5月下旬で、花径5mmぐらいの梅花状の白い花が穂状につく。このようなイヌザクラの巨木は非常に珍しく貴重である。
若一王子神社社叢 S40. 4. 30 大町2097番地	約300本のスギと約130本のヒノキを主体にした、指定区域面積17,186.4㎡の社叢である。平坦地においてこれだけの面積の針葉樹林が見られるのは珍しく貴重である。
仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17 社1159番地	国宝仁科神明宮を囲むスギ・ヒノキを主体とした、指定区域面積19,257.78㎡の社叢である。境内入口にある三本杉(現在中央1本を失っている)や国宝本殿の西側にあるスギは目通り周囲5m、樹高50mを越える巨木で、これらに加え境内には幹囲2mをこえるスギ20数本、ヒノキ10数本が生育し古い歴史を物語っている。
居谷里湿原 S46. 8. 23 大町8279番地10ほか	この湿原の状態は、ミズゴケのよく育ったところもあり、泥炭層の発達したところもあって、必ずしも一様ではない。湿原内にはモウセンゴケやミミカキグサ・タヌキモなどの多種の食虫植物のほか、ハンノキ・ミヤマウメドキ・イソノキなどの木本と、ミズバショウ・リュウキンカ・ミツガンワなどの草本等、湿原特有の植物が見られる。また、県内では珍しい暖地性のハチョウトンボの生息地であり、ハンノキの隔離分布として学術上貴重な湿原である。指定区域面積は、20,902㎡。
大町市のカワシンジュガイ生息地 H19. 1. 11 農具川水系 居谷里沢水系	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水性二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。中部農具川(平20677番地2先から15637番地1先まで)と居谷里沢(大町8267番地11先から8194番地先まで)の生息地2箇所を地域指定。
[長野県天然記念物]	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。
ミヤマモンキチョウ S50. 2. 24	動物・高山蝶

ヤリガタケシジミ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
タカネキマダラセセリ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
クモマツマキチョウ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
タカネヒカゲ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
クモマベニヒカゲ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
コヒオドシ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
オオイチモンジ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
ベニヒカゲ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
ホンドオコジョ	S50. 11. 4	動物・哺乳類
ホンシュウモモンガ	S50. 11. 4	動物・哺乳類
[大町市有形文化財]		
広形銅戈(海ノ口上諏訪社) S46. 12. 10 平14505番地	出土地等は明らかではないが、糸魚川地方または小谷村と推定されている。全長24. 5cm。銅戈は北九州から近畿地方に分布しているが中部地方以北の出土は稀で、弥生文化の伝播を知る貴重な資料である。大町市文化財センター保管。	
盛蓮寺木造不動明王立像 S57. 3. 3 社2937番地1	腰をひねるようにして右足に体重をのせて岩座に立つ。半眼半開、二牙を上下交互にあらわしている。右肩にたれる髪の一部・左臂・裙に傷が見られる他はほぼ完全であるが、右手に構える剣を失っている。鎌倉時代末の製作で台座・光背は後の時代に補っている。総丈98cm・仏丈65cm・岩座15. 5cm。	
盛蓮寺木造薬師如来坐像 S57. 3. 3 社2937番地1	室町時代前半の文安4年(1447)に製作された檜材の小像である。小さいながら作風は大まかにゆったりとしており大きな感じをあらわしている。本像の胎内に「文安第四丁目卯三月廿四日 願主 喜香叟」の墨書銘がある。台座・光背・両手首・薬壺等を失っている。	
大沢寺木造阿弥陀如来立像 S62. 3. 23 大町4156番地	檜材・寄木造。全高78cm。後補を繰り返していると思われ、鉢部は室町時代末～桃山時代。頭部は古く平安時代の藤原様式が伺える。形状は整い均整がとれている。仁科氏の旧臣であった松村市左衛門の拝仏堂に安置されていたと伝えられる。	
西正院木造大姥尊坐像 S63. 1. 14 平1298番地	檜材・寄木造。像高39. 5cm。頭に白布をかぶり、ゆったりとした単衣をまとい、帯を前に結び右脚を立てて坐った老婆の姿の像で、写実性に富み、量感も豊かな室町時代中期の作。台座を失っている。当地における山岳信仰の一面を伝える証左として貴重。	
天正寺山門 S63. 1. 14 大町4730番地1	装飾的な要素がほとんど無い、純粋な和様の薬医門である。元禄元年(1688)の建立で宝暦10年(1760)に修理しているが、柱から梁間は建立当時のままとと思われる。禅寺にふさわしい簡素な山門で、江戸時代中期の数少ない建造物である。	
長性院木造聖観世音菩薩立像 H1. 3. 28 大町3682番地4	檜材・寄木造。総高184. 3cm、像高107cm。弾誓寺6世木食山居による江戸時代中期の作。背面下部に「万鉢之内 木食山居作」の墨書銘がある。木食山居の数多い仏像の中でも、最も円熟した時期における大型で入念な作品である。	
盛蓮寺木造如意輪観音坐像 H3. 5. 31 社2937番地1	檜材・寄木造。像高77. 6cm。後補の著しい像であるが、左膝の後部は造像当初のもので、鎌倉時代後期の像容がみられる。享保3年(1718)に修理したことを伝える朱漆銘が光背裏にある。一般的な如意輪観音の印相と左右逆になっている。	
木舟薬師堂木造薬師如来立像 H3. 5. 31 社4886番地2	檜材・寄木造。総高122. 8cm、像高113cm。後補の著しい像であるが、体部と両肩から先の主要部分は造像当初のもので、鎌倉時代後期の写実的な像容が見られる。寛文6年(1666)に修理したことを伝える木札が残っている。	
弾誓寺観音堂木造伝弾誓上人坐像 H4. 5. 19 大町4188番地	檜材・寄木造・玉眼嵌入・糊粉下地に彩色を施す。像高75cm。像容は衲衣の上に袈裟をまとい、跏趺して合掌する姿である。およそ江戸時代17世紀中頃の作。地方色でありながら彫技の冴えのみられる完成度の高い作品である。本像は江戸時代前期の常念仏盛行	

	の時代を看取れる貴重な文化財である。
弾誓寺観音堂木造伝長音上人坐像 H4. 5. 19 大町4188番地	檜材・寄木造・玉眼嵌入・糊粉下地に彩色を施す。像高78cm。像容は衲衣の上に袈裟をまとい、跏趺して両手で数珠を持つかと見られる姿である。胎内の胸部及び背部の2カ所に墨書銘が記されている。江戸時代中期の元禄13年(1700)製作。弾誓寺4世願誓岳空寂阿野造像。本格的な彫技を用いた貴重な作品である。
盛蓮寺木造虚空蔵菩薩坐像 H6. 4. 28 社2937番地	桂材・寄木造。像高24. 1cm。製作は室町時代前半と考えられる。台座・光背・持物・彩色等は江戸時代後期に補われたもの。虚空蔵菩薩像は県下において室町時代前半に遡る類例が少なく、真言密教及び修験道の信州への伝播を示す貴重な仏像である。
天正寺木造薬師如来立像 H7. 4. 26 大町4729番地	檜材・寄木造。像高261cm。胎内に打ち付けられた木札の墨書銘から、造仏を修行とする作仏聖「生嘗蓮入比丘」により、延宝5年(1677)5月に造立されたことがわかる。かなりの巨大像であり、しかも丁寧に仕上げられている点で文化的価値が高い。
大黒町追分の石造大黒天像 附 版木 H8. 3. 25 大町1514番地1	嘉永5年(1852)に高遠の石工によって彫られた石像で、大黒町の名の由来ともなっている。現在のところ松本平では最大(全長約1. 7m)にして最古のもので、彫刻技術も優れている。造立の由来を記した趣意書の版木も残っており、版木は附属指定。
山寺廃寺跡出土遺物 H8. 3. 25 社3945番地2	写経石(法華経の一部が石に墨で書かれたもの)1、灰釉小皿1の2点。県宝指定されている「山寺廃寺跡出土品」と同じ社閨田の山寺廃寺跡から出土したものであるが、表面採集されたもので出土状況は明確でない。大町市民俗資料館保管。
若一王子神社木造伝十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24 大町2097番地	檜材・寄木造。推定像高180cm。11世紀の製作。台座・光背・瓔珞(ようらく)の残闕(ざんけつ)は江戸時代の後補。明治時代の初めに燃やされて躰部が大きく損傷を受けているが、若一王子神社の本地仏で観音堂の本尊であったと考えられ、神社の歴史を知る資料として貴重である。
仁科神明宮銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25 社1159番地	円形、直径27. 4cm。鏡背には五大明王、奉納者名、紀年銘などが記されている。この鏡は江戸時代寛永13年(1636)の仁科神明宮式年造営の時に日岐盛貞によって奉納されたもので実用品ではない。
仁科神明宮木造棟札 H10. 3. 25 社1159番地	国の重要文化財に指定されている室町時代(1376)～江戸時代末期(1856)の27枚の棟札に続く明治時代～昭和時代の棟札6枚。仁科神明宮で20年に一度行われる式年造営の歴史を明らかにできる資料である。
仁科神明宮木造小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25 社1159番地	江戸時代初期の慶長19年(1614)に松本領主小笠原秀政が、領内の主要な社寺に対してその保護を目的として交付したものの一枚である。檜板に墨で禁制文が書かれた縦34cm、横61. 3cmの高札である。
山下神社木造小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26 社6097番地	小笠原秀政が領民掌握のために社寺境内に交付した禁制札である。慶長19年(1614)5月15日の墨書銘が残る。高札上部には屋根形の棧があった痕跡が残るが、現在は失われている。法量は最大高33. 8cm、最大幅59. 0cm。
八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22 大町2097番地	「天王様の神輿」として市民に親しまれた神輿は、戦後しばらくまで7月15日の八坂神社例祭時に巡行されたものである。江戸中期18世紀初頭の製作とされ、若一王子神社観音堂宮殿などを建立した大町の宮大工金原一門の手になったものと推定される。
「信越連帯新道」関係史料及びカネジョウ飯嶋家文書一括 H15. 2. 26 大町4700番地ほか	江戸時代末期から明治初年にかけての野口村庄屋文書の中核とする。この中で注目されるのが信州内陸部と北陸沿岸部を結んだ交流最短経路である「信越連帯新道」開削の関係史料である。指定数は、古文書類628点、その他看板等の史料84点を数える。大町市文化財センターほか保管。
八日町毘沙門堂の木造毘沙門天立像	仏像の総高168cm、仏高114cm、台座高40cmを測る。製作年代は頭部檜材が鎌倉時代、躰部が江戸時代初期、台座が江戸時代中期と補作が見られる。かつては右手に戟を

H16. 2. 19 大町1134番地9	持ち、左手に宝塔を掲げていたが、現在は欠失している。
ヤマク西澤家文書一括 H16. 2. 19 大町4700番地	西澤家文書には江戸時代初期の庄屋関係文書と江戸時代末期の大庄屋関係文書とが含まれている。指定された古文書類は、慶長16年(1611)年～明治25年(1892)におよぶ258点、その他の史料1点を含む。大町市文化財センター保管。
ワチガイ栗林家文書一括 H17. 3. 25 大町4700番地	栗林家は江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家柄である。今回指定された文書の内容は、庄屋という役目上から関与した法令・藩制村制・租税・土地・林野・戸口・農林業・醸造・水利・土建・治安・宗教・凶災・救恤・身分・絵図等々の農政に関する文書と、大町の宿場に関わる交通・宿駅・運輸・通信・商業・都市等々の分野の古文書を包括して、極めて多彩である。大町市文化財センター保管。
ハチイチ高橋家文書一括 H18. 3. 27 大町4700番地 ほか	高橋家は大庄屋格を受け、江戸期を通じて松崎村庄屋、閩田村庄屋を兼務した家柄である。所蔵文書には、長年勤めた村方文書を主とする租税関係や用水堰普請などのほか、地域の特産である苺の栽培・出荷関係であるとか、家業の酒造関係文書がある。特出すべきものとして、文政8年(1825)に当地で発生した赤藁騒動の見聞を記した六角鬼洞による『赤藁騒動』は唯一の現存本として大変貴重なもの。大町市文化財センターほか保管。
生婦平出土銅造瑞花双鳥八稜鏡 H18. 3. 27 八坂1108番地1 八坂支所	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを測る。制作年代は平安時代後期と考えられる。花卉を模した八稜縁に双鳥や花文が施される唐式鏡から和鏡への過渡期を示す。
大平地蔵堂の木造地藏菩薩立像 H18. 3. 27 八坂1298番地	像の制作年代は南北朝時代(14世紀前半)、檜材・寄木造で玉眼を嵌入する。全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを測る。中央の仏師の作と考えられる像である。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 27 八坂5693番地	江戸時代後期の文化13年(1816)の建造。一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は浅川豊八(大隈流)による。彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。神社祭神は健御名方命。麻田家に建立に関する由緒書が残っている。
野平神社本殿 H18. 3. 27 八坂14695番地	祭神は天照大神(明神)、健御名命(諏訪)、菅田別命(八幡)の三神を祀り、江戸時代前期の元和5年(1619)8月10日の勧請と言われる。本殿は三間社・流造り、柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大工は大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村(麻績組)大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27 八坂9641番地1	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、約200年にわたって5つの彫刻が刻まれたものである。年代の古いものから、①青面金剛像(庚申像)が元禄から享保年間、②地藏菩薩像が江戸中期の享保3(1718)年、③庚申塔が江戸後期の文化4年(1807)、④徳本上人名合碑が19世紀前半、⑤大日如来像が幕末の嘉永3年(1850)となる。大日如来のお祭は、もとは4月8日に行なわれていたが、現在は5月8日に行なわれている。
北条峰の徳本上人追善供養塔 H18. 3. 27 八坂13609番地ロー1	砂岩製で残存する石碑高が108cm、最大幅が85cmを測る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人称阿弥陀陀佛徳本 文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。碑文によると、製作年代は江戸後期の文政元年(1818)。
曾山の善光寺千人参り名号塔 H18. 3. 27 八坂9179番地4	江戸時代後期の弘化2年(1845)の製作。材質は砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを測る。塔身正面は花頭形輪郭を彫り窪め、上部には円輪郭の中に阿弥陀如来、観世音菩薩、勢至菩薩の三体、いわゆる阿弥陀三尊像を半肉彫りしている。その下に「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願拜。石工は大平村石原、若林嘉久治勝重と高遠清水八五良安信による。毎年5月3日には講中によるお祭が現在でも行なわれている。平成6年(1994)に道路工事で現在地に移転されたが、もとは美麻地籍に所在

	した。
富士浅間神社本殿 H18. 3. 27 美麻2708番地	一間社・流造。規模は間口1間2尺、奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の文化12年(1815)9月12日に再建されたもので、立川豊八(安曇郡長尾組岩原住)のよる建築。附属指定として棟札3枚がある。
富士浅間神社楽殿 H18. 3. 27 美麻2708番地	江戸時代中期の建立、伝元禄11年(1698)。大工は千見村真面、久兵衛による建築。木造茅葺き、6間四方で三面が板壁、床板張り舞台は幅11m、高さ2.8m、舞台中央には直径4.6mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27 美麻2708番地	16面を指定。江戸時代、幕末の嘉永から安政年間のもものが主体。大型のものも多く、保存も良好である。製作年代の最も古いものは、安永6年(1777)から昭和14年(1939)のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27 美麻25878番地	現在の本殿は江戸時代末期、天保12年(1841)9月の造営再建である。一間社・神明造。大工棟梁は大町の曾根原甚五郎、曾根原謙蔵。最も古い慶長17年(1617)の棟札と、藩奉行6名の連署が見られる幕末の万延元年(1860)の禁制札の2点が附属指定されている。
千見神明宮絵額と句額 H18. 3. 27 美麻25878番地	千見神明宮拝殿に奉納される絵額(絵馬)のうち6面、句額のうち8面が今回指定された。絵額の製作年代は天明7年(1787)～安政2年(1855)にわたる。また、句額は文化5年(1808)～明治33年(1900)製作のもの。
水上神社本殿 H18. 3. 27 美麻9152番地	一間社・流造り。彫刻が優れる。古い棟札として、江戸時代中期享保4年(1719)のもものが残る。現在の社殿は文政8年(1825)建立、大工棟梁は越後市振の片桐利七とその一門によるもので、装飾彫刻に優れている。庄屋小林家にはこの時の造営帳が残っており大変貴重である。
下條家関守門 H18. 3. 27 美麻26036番地	松本藩と松代藩とが境を接する旧千見村に建てられた、関守の地位と格式を象徴する門である。建築年代不明。松本藩水野氏の代(1642～1725)に関守を置き、下條家はその任をまかされて当時50石をあたえられ、鉄砲組を配して警備にあたった。門正面は三間、奥行き二間の門に切妻屋根。北側には三間の長屋が残存する。現在はトタン屋根であるが、もとは茅葺き。
マルセン下條家文書一括 H18. 3. 27 美麻26036番地	元和年間(1615)より明治初期に及ぶ武家(藩の記録)、関守文書(46点・26%)を中心とする。藩政の一端を担った在地の史料として貴重。指定文書169点。
ヤマジョウ中村家文書一括 H18. 3. 27 美麻17668番地	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政及び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。また、「中村家年代記」のように、出来事や世の中の風聞など村ならではの史料が残される。指定文書616点。旧中村家住宅土蔵保管。
大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 27 追加指定 ①②③美麻17668番地 ④常盤3662番地4	もともとの大塩の高札場(大塩南村)は、現在、県天然記念物になっている「静の桜」より、100mほど南側の街道沿いに存在したものであり、指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。①「キリシタン禁制」(正徳元年(1711)・91×33cm)、②「毒薬禁制」(正徳元年(1711)・124×49cm)、③「にせ銭金制」(天保10年(1839)・82×36cm)、④「親子・博奕・忠孝等の定め」(正徳元年(1711)・123×52cm)。①～③の3点は旧中村家住宅土蔵に展示されている。④は個人所有。
向生仏屋敷出土灰釉陶器広口瓶 H18. 3. 27 美麻17668番地	昭和初期、耕作中に発見されたもので、器高は19.7cm、口径10.2cm底径8.5cm。口縁部の一部が欠損するのみで、ほぼ完形である。産地は岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は大原1号窯式(10世紀前半)。旧中村家住宅土蔵展示。

木造阿弥陀仏如来立像 H18. 3. 27 常盤4308番地3	総高48. 5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。個人所有。
薬師堂の木造薬師如来立像 H18. 3. 27 常盤4308番地3	薬師如来像は木食山居作と推定され、総高45cm、像高36. 5cm、台座12. 5cm。附属指定の木造聖観音立像も木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。聖観音立像は総高53cm、像高43cm、台座10cm。個人保管。
中村孝三述『学びの糸口』 H19. 3. 27 大町4733番地3 大町市立大町西小学校	この手記は明治維新の学制発布当時の大町の人々の動きを記録し、単なる制度の解説書ではなく、唐突な制度改正に戸惑う地方の人々の気持ちを活写し、民衆の気持ちも察せられる重要な文献史料である。
ハチマル栗林家文書一括 H28. 3. 24 大町4700番地	江戸時代中期以降、大町組の大庄屋を勤め、明治時代においても大町の要職にあった八丸栗林家に残された古文書類で、江戸時代・明治時代の大町の様子を知ることで近世(江戸時代)の文書1, 811点、近代(明治～大正時代)の文書614点、計2, 425点。大町市文化財センター保管。
ヤマセン永田家文書一括 H28. 3. 24 大町4700番地	美麻千見において江戸時代に大町組千見村の庄屋を勤め、一時期は大町組の大庄屋も勤め、明治時代初期に千見の戸長を勤め、旧美麻村の合併など新しい時代の村づくりに尽くした永田家に残された古文書類で、江戸・明治時代の山間地域の様子を知ることで近世(江戸時代)の文書363点、近代(明治時代)の文書222点、計585点。大町市文化財センター保管。
[大町市民俗資料]	
宮本・松崎紙すき用具コレクション S50. 4. 15 社3945番地2	社地区は江戸時代から紙すきが盛んで、宮本紙・松崎紙と呼ばれ珍重されてきた。この資料は当地で行われてきた紙すき用具を集めたもので、紙すきの全容を知る上で貴重な資料である。大町市民俗資料館保管・展示。
仏崎観音寺の千有一馬集絵馬 H9. 3. 24 常盤6966番地	安政2年(1855)に絵師村上完民、中藤月漢によって描かれた、縦210cm、横475cmの北安曇郡内最大の絵馬。画面下部に寄進者名などが村ごとに二段余にわたって列記されており、当時の庶民信仰の在り方などを示す貴重な資料である。
医王谷飯綱神社筒粥占い神事 H9. 3. 24 八坂25794番地	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそこで行なわれていたものである。伝承によれば、江戸時代初期の元和7年(1621)に飯綱神社がその地に勧請されたときから神事は始められたと言われている。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中・気象関係・農作物関係・天皇家など40項目の占いを行なう年頭の神事。郡内では唯一の神事。
水上神社の御輿巡幸 H18. 3. 27 美麻9152番地	担い棒つき鳥居形や神殿等で構成されていたが、現在は神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本鉾を神輿に立てて用いている。袷に帯刀姿の警護4人による巡幸の神事。神輿は江戸時代末期の作と推定される。
[大町市史跡]	
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6 大町4729番地4ほか	鎌倉時代後期から室町時代末までの仁科氏の居館跡である。平城で、規模は東西180m・南北120m、外堀と内堀の二重の堀や土居を回らせた居館である。仁科氏の滅亡後にその菩提を弔って、ここに天正院を造ったと言われている。
新郷1号古墳及び副葬品一括 H8. 3. 25 平8040番地443 ほか	古墳時代後期の6世紀末に築造されて8世紀初めまで使用された、松本平では数少ない積石塚である。横穴式石室で、埋葬状態もよく残っており、副葬品も豊富に残されていた。昭和58年(1983)に発掘調査。副葬品(出土品)は大町市文化財センターで保管。
権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27	権現山の山麓に堂屋敷と言いつたえられてきた礎石が残る屋敷跡。永禄年間(1558～1569)、戸隠大権現が上杉の兵火の難を逃れるため、この地に奉遷を計画したとの伝承が

美麻(新行)8316番地1	ある。しかし、文禄3年(1594)の鎮静により、夫筏別院から当地への奉遷はなかった。附属指定として、戴神社奥社に隣接するウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラムツ(1本)の計5本。
千見山城跡 H18. 3. 27 美麻(千見城山)25450番地ロー3 ほか	伝承では、城主は上杉方大日方源吾長辰氏と言われる。また、武田方の山県昌景により、弘治2年(1556)に火攻めにされて落城したと伝えられる。曲輪や堀跡が残り、網戸、空堀、犬戻、厩、水の手、城裏、帳場、山城、一ノ木戸、二ノ木戸、西木戸、馬場、鍵掛などの地名が残る。本丸東西50m×南北20m、二の丸東西40m×南北30m、三の丸東西20m×南北15mを測る。なお、天保6年(1835)造立の城主供養塔がある。
大塩山城跡 H18. 3. 27 美麻(大塩中村城山)855番地ほか	本丸跡(12×27m)、二の丸、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山城。兵糧倉、水槽、城内、攻城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠があり、「木曾義貞、寿永3年(1184)の義仲戦死後、仁科盛遠によって大野田に隠される。安貞元年(1227)、森城に拠する阿部貞高を討つために大塩城を築く(信府統記)。後に義重は仁科の姓を名乗る」とする伝承がある。
堀の内遺跡 H18. 3. 27 美麻(大塩中村城山)938番地ほか	これまでに、遺跡内では平成5年(1993)と平成12年(2000)における2回の発掘調査が実施されている。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡である。中世の遺構としては、居館が確認されている。大塩山城跡の根小屋と思われる。
[大町市天然記念物]	
オオヤマザクラ S46. 12. 10 大字平22419番地3ほか	国内でも北部の地方で自生するサクラで、群生地としては大町市が南限であり、比較的分布密度の高い中綱湖・青木湖周辺の自生のサクラが指定されている。オオヤマザクラは淡紅色の華やかな色彩を持ち、病害虫にも強いサクラである。
霊松寺のオハツキイチョウ S63. 1. 14 大字大町6665番地イ	オハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の意味で、ギンナンが葉の上に結実するもの。こうした葉はこの木の場合、全体で10%程度である。オハツキイチョウは現在のイチョウの進化以前の姿と言われ、先祖返りのような珍しい現象で学術研究上貴重な木である。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23 大字常盤6720番地3	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。この存在によって、従来はなめらかな地形と考えられていた盆地の岩盤が、実はかなりの起伏に富んでいることがわかった。また糸魚川―静岡構造線の通過位置を知る貴重な手掛りでもある。
一本木神社のカシワ H3. 5. 31 大字常盤4733番地ー1	目通り周囲3.35m、樹高25.5m、推定樹齢300年。二次林の構成種としては稀に見る大木で、推定樹齢の割には樹形の均整がとれ、腐朽部が少なく旺盛な活力を維持している。大径木としては残りにくいカシワの中で巨樹として現存するのは珍しい。
市立大町山岳博物館のトキ標本 H4. 5. 19 大町8056番地1	トキは特別天然記念物であり、国際保護鳥として保護されてきたが、日本産のトキは絶滅した。このような状況下にあるトキの標本は大変に貴重なものである。市立大町山岳博物館のトキは大正8年(1919)11月、長野県大町岳陽高等学校のトキは大正6年(1917)11月にそれぞれ美麻で捕獲されたものである。
長野県大町岳陽高等学校のトキ標本 H4. 5. 19 大町3691番地2	
海ノ口のアカマツ(カサマツ) H5. 6. 25 平13188番地4	樹形は単幹の傘形で、樹高18m、目通り周囲4.17m。樹齢は300年以上と推定される。まっすぐに伸びた樹幹は地上9.5mの位置で大枝に3分岐して、それが広がり傘形となっている。この樹形から地元の人々は「カサマツ(笠松)」と呼んで大切にしている。
中シマのモリアオガエル繁殖地 H6. 4. 28 平23109番地1	モリアオガエルは樹上に泡状の卵塊を産む特異な生態をもつカエルで、産卵は梅雨期の雨の降る夜間に行われる。大町市のモリアオガエルの繁殖地は5カ所しかなく、特に中シマは比較的まとまった産卵が見られる貴重な繁殖地である。
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28 常盤4203番地	東西一対のカツラの木は、薬師堂の門木として大切にされてきた。市内最大のカツラと思われるが、均整のとれた樹形をもち田園風景の中にひときわ目立っている。東幹は樹高20.5m、目通り周囲3.5m。西幹は樹高25.5m、目通り周囲4.1m。

西山西原のイチイ H7. 4. 26 常盤8063番地5	イチイは別名アララギともいう。イチイがひととき目立つため、この木のあるリンゴ園は通称「アララギ園」と呼ばれている。樹高12. 5m、目通り周囲2. 95m。雌雄異株で、この木は雌木である。イチイは大木として残るものは極めて少なく貴重である。
大黒町追分のシダレザクラ H7. 4. 26 大町1517番地1	大黒天の石像の脇に生育しており、「大黒様のシダレザクラ」と呼ばれ親しまれている。樹高8. 5m、目通り周囲3. 05m。推定樹齢は約150年で、石像の製作年代と重なる。シダレザクラでは市内最大のもの。
三日町若宮八幡宮のヒノキ H9. 3. 24 大町8254番地	樹高29m、目通り周囲5. 1m。三日町分水集落の氏神である若宮八幡宮の御神木で、均整のとれた自然樹形を保っている。ヒノキは優良な建築用材であるために大径木として残るものは稀で貴重なものである。推定樹齢は400年以上。
西山城山のエドヒガン H9. 3. 24 常盤8099番地1	樹高29m、根回り周囲5. 33mで、東西二幹に分かれたエドヒガンザクラ。西山城跡の急峻な北斜面に生息しており、谷側に向かって枝を張る自然樹形である。この樹を切ると山が崩れると言い伝えられ、これが大径木になった一因となっている。
高根町曾根田のエドヒガン H10. 3. 25 大町7174番地1	単幹で均整のとれた傘形の樹冠を呈する、樹高12m、目通り周囲4. 65mのエドヒガンザクラ。推定樹齢は300年程で、戦前までこの地にあったお堂との関係が考えられる。地元には400年程前に遊行僧がこの樹を植えていったという伝承がある。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19 平18235～18240番地	マメシジミは二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属する。小形の二枚貝で、殻長は3～5mmを測る。地域指定された姿見の池は、西海ノ口西方の山腹(標高約1, 100m付近)にあり、面積は1. 5㎡の小さなものである。本種は今のところ市内ではここだけに確認されている貴重種である。
大倉のイチイ H18. 3. 27 美麻21770番地	昭和8年(1933)に旧長野県天然記念物指定。昭和44年(1969)、県条例の全面改正により指定解除。坪庭に鉢植えしたのが大木になったと伝えられ、伝承では樹齢約1000年と言われている。目通り4. 73m、根周り4. 7m、高さ21. 3m。
水上神社の大杉 H18. 3. 27 美麻9152番地	水上神社の御神木。目通り6. 30m、根周り7. 67m、高さ53. 1m。伝承では樹齢750年余りと推定されている。「水上神社の小檜と杉」の名称で昭和22年(1947)に旧長野県天然記念物指定。檜は現在枯れて切り株のみが残る。
若栗のアオナシ H18. 3. 27 美麻34161番地口 若栗峠	目通り周囲4. 31m、樹高16. 8m。成長に伴う融合性の枝幹、均整のとれた美しい立木。基部には洞が見られるが、近年保全対策も取られて樹勢も安定している。
[大町市天然記念物]	地域を定めず指定されているもの(種指定)。
大町市のヌマカイメン S62. 3. 2	大字平の中綱湖と木崎湖下流の農具川に生息。かつては世界各地に広く分布していたが、開発や汚染などにより急速に姿を消しつつある淡水海綿の一種である。長野県下では大町市だけに生息し、希少かつ貴重な生物である。
大町市のカワシンジュガイ S62. 3. 2	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水性二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」ともいえる貴重な生物。県指定地以外の農具川と居谷里沢及びその周辺支流(水路)に生息。
大町市のキザキコミズシタダミ H13. 6. 27	キザキコミズシタダミは日本産ミズシタダミ科の希少種の1種に数えられている。カワシンジュガイとともに氷河期の生き証人(遺存種)ともいえる貝である。国内では大町市平の木崎湖と中綱湖にしか生息していないと考えられる貴重な固有種である。

【指定・登録文化財件数】

○国指定14件

国宝(建造物)1件、国重要文化財8件(建造物3件、美術工芸品5件)、国特別天然記念物(地域を定めず指定)2件、国天然記念物3件(このうち地域を定めず指定2件)

○国登録9件

国登録有形文化財(建造物)9件

○県指定29件

県宝9件(建造物4件、美術工芸品5件)、県史跡1件、県天然記念物16件(このうち地域を定めず指定11件)、県無形民俗文化財3件

○市指定80件

市有形文化財49件(建造物8件、美術工芸品41件)、市史跡6件、市天然記念物21件(このうち地域を定めず指定3件)、市民俗資料4件(有形2件、無形2件)

4 人権教育

基本的な考え方

大町市では、国際社会全体であらゆる人権問題を解決していこうとする気運の高まりに合わせ、平成15年3月、「人権の世紀」と言われる21世紀の大町市における人権教育・啓発の指針となる「人権教育のための大町市行動計画」を策定しました。

また、平成20年には、先の「行動計画」を基にした人権諸施策を継続して推進するため、「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」を定めています。

さらに、平成21年度から23年度は、文部科学省人権教育総合推進地域事業の指定を受けて、学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取り組みを行いました。

市民一人ひとりが人権教育を通じて、人権問題を自分自身の課題として捉え、同和問題をはじめとする、外国人、女性、子ども、高齢者、障がい者、インターネット、感染症、性的少数者等に係る様々な人権課題に対する深い理解と認識により、人権を尊重し、明るく差別のない、市民参加と協働のまちづくりを進めています。

- ・あらゆる機会を通じた人権教育の推進
- ・市民の主体的な参加の促進
- ・人権の理解から人権尊重へと意識の高揚を図り、自らの尊厳を認識する場の提供
- ・異なる文化や考え方等、多様性を互いに尊重し合う「共生の心」の醸成

地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にす人権教育の推進を図るため、学校、家庭・地域、企業、県の機関・組織、市の関係課等と連携・協力しながら人権教育の総合的な取り組みを進めます。

(1) 重点課題

- 1 人権教育推進体制の充実と連携の強化
家庭、地域、企業等、推進組織の充実と幼稚園・保育園を含む学校教育、PTAとの連携
- 2 人権教育指導者層の充実と資質の向上
人権関係団体、人権教育推進協議会委員、企業人権教育推進協議会委員、社会教育関係者等への研修機会の提供
- 3 教育・啓発活動の推進
人権尊重に向けた取組の広報、啓発資料の配布と映像教材の貸し出し
- 4 学校、地域、企業、行政の人権学習活動の充実
各機関におけるあらゆる機会を捉えた人権教育の推進・啓発の促進

(2) 令和6年度人権教育推進事業

ア 就学前教育関係

- (ア) 市立保育園・私立幼稚園・認定こども園に人権教育の推進を呼びかける。
- (イ) 幼児教育・保育関係職員の講座・研修会等への積極的参加を呼びかけ、また資料を提供する。

イ 学校教育関係

(ア) すべての教職員が人権問題について正しい認識をもち、児童・生徒に対し差別の不当性を理解させ、差別のない社会をつくる人間の育成を目指す。

- ① 「学校人権教育研究委員会」を継続し、人権教育を推進するための研究協議を行い、市内幼・保・小・中・高校の人権教育の一貫した実践を図る。
- ② 市内幼・保・小・中・高校教職員を対象とし、人権教育研修会のまとめを行う。
- ③ 助成希望を通して、市内幼保小中高等学校における人権教育に係わる講演会ほかの開催に協力・支援を行う。

(イ) 解放子ども会の運営

- ① 差別を見抜く力、差別に立ちむかい解決していく力の基盤となる学力保障を重点に運営していく。(平成17年度より休会)

(ウ) 人権教育の資料収集と整備、活用

- ① 小学校低中高学年用「あけぼの」・中学校用「あけぼの 人間に光あれ」の配布と活用の呼びかけ、「人権教育作品集（ヒューマンライツ）」および「大町市学校人権教育実践録」の作成と配布
- ② その他、資料の収集

(エ) 人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会等との連携

- ① 各推進協議会を通じて、学社一体の人権教育の推進を図る。

(オ) 人権教育関係ポスター・作文の募集、ポスター展や有線放送を通して学校人権教育を進める。

ウ 社会教育関係

(ア) 社会人権教育関係機関・団体における人権教育・啓発活動を推進する。

- ① 公民館・公民館分室
- ② 連合自治会
- ③ 人権教育推進協議会
- ④ 企業人権教育推進協議会
- ⑤ 人権擁護委員・人権擁護審議会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会
- ⑥ 女性団体・シニアクラブ・補導員・子ども会育成会・その他諸団体
- ⑦ P T A連合会・各学校 P T A
- ⑧ 部落解放運動各種団体

(イ) 人権・同和教育推進懇談会事業の推進。

- ① 研修会、人権教育講演会を実施し、人権・同和問題に対する理解と認識を深め、地域での教育を推進する。

(ウ) 社会人権教育指導者を養成し確保する。

- ① 人権教育指導者養成のための研修への参加案内・呼びかけ
- ② 市役所職員の研修会への参加
- ③ 人権教育指導者による地域内外における人権教育の推進

(エ) 社会人権教育設備及び教材の整備

- ① 啓発DVD等の視聴覚教材等の充実整備
- ② 人権関係資料・教材の整備（常盤公民館 同和教育資料室を含め）

エ 社会人権教育活動の推進

（ア）人権を考える市民の集い

- ① 市内6地区の学校を会場に開催

（イ）市内全地域、市民対象の人権教育

- ① 各種団体の自主的な人権教育講座開設への協力
- ② 広報活動の拡充 「広報おおまち」に人権啓発記事を掲載、有線放送・ケーブルテレビの活用、資料の配布等
- ③ 公民館が開設する講座等の人権教育学習を組み込む場合の協力

（ウ）企業人権教育の推進

- ① 企業人権教育推進協議会への加入と協力の推進
- ② 大北地区企業人権教育推進連絡協議会への協力
- ③ 企業人権教育推進協議会研修の実施
- ④ 企業独自の人権教育の推進への協力と啓発

（エ）同和問題に対する教育の推進

- ① 大町市人権・同和教育推進懇談会、事業計画の策定と学習の促進
- ② 部落解放運動各種団体の自主的計画による学習会に協力

（オ）市内の人権擁護委員及び関係機関との協力

- ① 各種人権啓発事業、研修参加での連携
- ② 人権週間及び旬間の活用、人権問題の啓発、作文・ポスター募集などの協力

オ 人権教育の一層の推進に向けての今後の方針

（ア）人権教育の学社連携の拡充

- ① 幼保小中高の一貫した人権教育の推進と授業公開への地域・企業人権教育関係者への参加呼びかけ
- ② 地域社会の一員として「人権を考える市民の集い」へのPTA参加の呼びかけ

（イ）リーダー養成・意識改革につながる研修・啓発の推進

- ① 「人権を考える市民の集い」の案内、チラシ、パンフレット、資料、広報紙による啓発活動
- ② 各教育機関が人権教育を推進できるような情報・映像教材等の提供
- ③ 対外的な各種研修会の案内及び担当者の参加、随伴、オンライン研修
- ④ 各種機関・団体の人権問題への自主的な取り組みの促進
- ⑤ 人権週間及び県民運動強調旬間に合わせての人権啓発事業の協力・資料の配付

(3) 令和6年度実施事業

区分	事業名	目的・内容	期日・会場等	演題・講師等	参加者
人権教育・啓発事業	人権を考える市民の集い	市民一人一人が人権問題を自分自身の問題として捉え、互いの人権を尊重する意識や態度を身につけ、人権尊重を当たり前のこととして行動できるよう地区ごとに、学校を会場として、児童生徒と地域住民が一堂に会し、児童生徒の意見発表と講演を通じて人権学習を進める集いを開催する。	6月27日 平地区 大町北小学校	「聴覚障がい者も世界にはばたける ～聴覚障害を乗り越えて～ 中村晃大	206 (一般) 38
			7月2日 大町地区 大町中学校	「みんないろいろちがういろ十人十色」 小泉 涼	477 (一般) 6
			8月30日 八坂地区 八坂小中学校	「いつかの言葉が希望になる」 ～母の臓器提供とその家族～ 遠藤麻衣	151 (一般) 24
			9月12日 美麻地区 美麻小中学校	「人権って大事なもの」 ～副読本「あけぼの」を使って～ 清水 稔	111 (一般) 17
			10月22日 常盤地区 大町南小学校	「共生社会に向けてできること」 井出今日我さん	210 (一般) 19
			11月8日 社地区 大町東小学校	「多様性と助け合いの社会を知ろう」 きみはきみのままでいいんだよ 猪又 竜	136 (一般) 9
			授業公開・懇談会	授業参観及び懇談会を通して、人権教育における学校と地域との連携を深め、一層の進展に資する。	11月13日 大町東小学校
	八坂小中学校	授業学級 7年9年 助言者 中信教育事務所指導主事 小平 勇喜			26 (一般) 5
	ポスター、作文募集、作品集発行	児童生徒に人権学習の一環として人権に関する作文・ポスター制作を依頼し、作品集を編集して配布する。	11月募集 2月発刊	「ヒューマンライツ」第46号	74
ポスター展示	作品集に集録した作品を一般市民に公開する。	1月23日～30日 庁舎展示コーナー			
作文の有線放送	集録作品から選定した作品を有線放送農業協同組合が放送する	3月初旬 朝、昼、夜	旧市内小中学校 大町岳陽高校	5 1	
幼、保園、小学校、中学校、高等学校が実施する講演会等へ助成	学校等で計画する人権に関する講演会等に対して講師謝礼などを補助。	対象なし			

区分	事業名	目的・内容	期日・会場等	演題・講師等	参加者
	人権・同和教育推進懇談会事業の開催	人権・同和教育推進懇談会の開催と、交流研修会及び講演会の開催	11月25日 常盤公民館	啓発DVD「芸能と差別」の視聴 NPO法人人権センターながの 講話 高橋典男さん	28
			1月18日 常盤公民館	講演「部落差別の歴史を学んで」 長野県人権啓発センター 宮澤茂樹さん	20
	啓発DVD貸し出し	一覧作成、人権啓発	随時		
研修会の開催	人権教育推進協議会研修会	人権教育推進協議会主催	5月11日 市役所	講演「人にやさしい地域づくりを進めるために」 中信教育事務所指導主事 小平勇喜さん	20
	企業人権教育推進協議会研修会	企業人権教育推進協議会主催	6月6日 市役所	研修会 講演 「最近の人権を取り巻く状況について」 中信教育事務所指導主事小平勇喜さん	20
	学校人権教育研究委員会研修会	学校人権教育研究委員会主催	5月21日 市役所	講演「こどもがまんなかの社会(学校)を実現するために」 中信教育事務所指導主事 荻原忍さん	22
	人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会、人権擁護審議会の合同視察研修		10月12日	「長野県立歴史館」 「長野刑務所」見学	5
	対外的な研修会への参加及び随時、オンライン研修		約10回	中信教育事務所・大北企業人権 主催等	

5 公民館

公民館は、市民の自主的な学習活動を奨励し、援助することにより豊かな人間性を培うとともに、心豊かでより良い地域社会を生み出すことにある。多様化する社会にあって市民の要望を把握しながら、生涯学習時代に対応する公民館活動を推進します。

(1) 施設と機構

昭和29年の市制施行に伴い、大町市公民館を設置し、大町・平・常盤・社の4支館体制で運営してきましたが、昭和58年から大町・平・常盤・社の4公民館を独立並列とし、平成18年の市村合併により、美麻・八坂の公民館が追加、6公民館となりました。

館名	所在地	対象地域	施設の概要
大町市 大町公民館	大町市大町1601-2 電話 0261-22-9988	大町地区 35分館	会議室 2 視聴覚室 料理実習室 講習室 学習室 実習室 児童室 延べ床面積681.67㎡ (昭和61年新築 文化会館併設)
大町市大町 公民館分室	大町市大町1058-13 電話 0261-22-0352		会議室 2 講堂 研修室 2 学習室 4 視聴覚室 栄養指導室 延べ床面積1,226.02㎡ (平成3年新築 中央保健センター併設)
大町市 平公民館	大町市平10352-1 電話 0261-22-0694	平地区 21分館	講堂 学習室 会議室 視聴覚室 実習室 延べ床面積996.63㎡ (昭和59年新築 女性未来館ピュア併設)
大町市 常盤公民館	大町市常盤3601-18 電話 0261-22-0321	常盤地区 8分館	学習室 3 研修室 2 視聴覚室 図書室 料理実習室 講堂 延べ床面積1,265㎡ (平成4年新築)
大町市 社公民館	大町市社3945-2 電話 0261-22-0378	社地区 7分館	会議室 作業室 大研修室 研修室 資料室 大展示室 延べ床面積891㎡ (昭和60年新築)
大町市 美麻公民館	大町市美麻11810-イ 電話 0261-29-2311	美麻地区 5分館	小会議室 中会議室 講堂1・2 読書ストリート 延べ床面積545㎡ (平成19年新築 美麻支所併設)
大町市 八坂公民館	大町市八坂1133-1 電話 0261-26-2380	八坂地区 6分館	八坂情報コミュニティセンターアキツ併設 ホール 会議室 展示ホール 郷土資料室 図書コーナー 延べ床面積859.88㎡ (平成7年新築)

(2) 令和6年度実施事業

大町公民館	平公民館	常盤公民館	社公民館	美麻公民館	八坂公民館
大町地区 市民運動会 大町地区 球技大会 大町地区文化祭 北アルプス 囲碁・将棋大会 各種講座の開設	各種講座の開設 平地区球技大会 平地区少年少女 球技大会 平地区市民運動 会 平地区ご長寿を 祝う会 平地区マレット ゴルフ大会 文化祭（ピュア フェスタ） 平地区育成会冬季 体験事業 平地区スマイル ボウリング大会 豊かな老後のた めの平地区市民 の集い	常盤地区球技大会 常盤地区子ども 球技大会 常盤地区子ども会 リーダー研修会 常盤少年駅伝競走 ゲートボール大会 サークル活動作品 展示会 常盤卓球・ソフト バレーボール大会 常盤囲碁・将棋・ マーじゃん大会 各種講座の開設	社地区球技大会 社地区親睦運動会 社地区文化祭・ 民俗資料館特別展 友好会ゲート ボール大会 元旦マラソン 各種講座の開設	美麻小中学校・ 美麻地区運動会 美麻地区夏季 球技大会 美麻地区文化祭 各種講座の開設 美麻地区子ども会 育成協議会各種 活動	公民館長杯マレット ゴルフ大会 ふれあい運動会 八坂地区文化祭 レクリエーション スポーツ大会 各種講座の開設

(3) 講座・学級の開設状況

大町公民館

(令和6年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
外国人のための日本語講座	4/3～3/26	40	200	すくすく広場	6/6～3/6	15	277
菊づくり講座	4/28～9/8	6	67	楽しい陶芸講座	6/27～2/20	6	43
文学紀行講座	6/29～10/19	5	136	初心者のためのデジタル一眼レフカメラ講座	10/24～11/14	4	28
楽しい木彫講座	8/4～10/27	6	26	古典講座	11/9	1	15

平公民館

(令和6年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
親子教室ひよこクラブ	5/14～3/4	22	347	ヨガ教室	12/19～1/30	6	96
初心者のためのスマホ講座	5/22～6/19	5	56	しめ縄づくり教室	12/23	1	21
たたみ1畳エクササイズ	7/5～26	4	48	春のヨガ教室	3/17～31	3	28
シニアのためのウォーキング講座	7/2～30	3	15				
そば打ち講座	11/20～12/11	4	25				

常盤公民館

(令和6年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
親子教室ともだち広場	6/12～2/26	16	526	腰痛予防改善エクササイズ	1/27～3/17	6	166
3B体験講習会	9/4、9/18	2	10	初心者のためのスマートフォン講座	2/27～3/13	3	37
スマホ撮影テクニック&編集教室	10/22～11/19	5	31	ひな祭りアレンジメント講座	2/27	1	16
そば打ち教室	10/31～11/21	4	14	ちりめん和紙でつくる押絵のおひなさま	3/19	1	12

社公民館

(令和6年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
親子教室なかよし広場	6/5～2/19	17	418	そば打ち講座	12/14・21	2	10
体力Upエクササイズ講座	10/8～11/12	6	132	初心者のためのスマートフォン講座	2/25～3/11	3	12
手づくりクリスマスリース講座	11/12	1	16				

大町公民館分室 対象講座なし

美麻公民館

(令和6年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
元気アップ運動教室	4/29、4/30	2	130	木彫り教室	11/11～12/19	7	50
高齢者・熟年学級	6/20～12/05	6	75				
イワナつかみ体験	8/5	1	48				

八坂公民館

(令和6年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
高砂大学	6/26～3/12	10	300	文化財巡り	11/9	1	30
すこやか広場	6/21～3/7	9	150	そば打ち講習会	11/15～12/13	5	50
竹細工講習会	6/28～10/21	5	35	体操教室(元笑気クラブ)	10/15～11/12	5	45
コケ玉づくり講習会	9/20	1	10	郷土ふれあい体験学習	12/2	1	150

大町公民館分室サークル一日体験開催状況(令和6年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
日本空手道剛柔流剛誠館	7/26	19:00～20:45	大町短歌会	10/8	13:30～15:00
大町童謡唱歌を歌う会	8/23	10:00～11:30	書草会	10/24	9:30～11:00
やまなみ会	9/26	14:30～16:30	エゴスキューグループワーク	11/24	10:00～11:30

大町公民館サークル一日体験開催状況(令和6年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間

平公民館サークル一日体験開催状況(令和6年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
朗 読 は づ き	5/26 9/30	13:30~16:00	キ ル ト	10/18	9:30~12:00
つ く し ダ ン ス ク ラ ブ	7/22	19:00~21:30	大 町 太 極 拳 ク ラ ブ	11/13~12/4	19:00~21:00

常盤公民館サークル体験開催状況(令和6年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
太 極 拳 常 盤 教 室	5/20~ 6/17	13:00~15:00			

(4) 利用状況

(令和6年度)

館 名	利用件数	利用延べ人数	館 名	利用件数	利用延べ人数
大 町 公 民 館	1,630	12,195	大 町 公 民 館 分 室	1,445	14,792
平公民館(女性未来館との合計)	1,678	20,090	美 麻 公 民 館	302	3,020
常 盤 公 民 館	1,220	18,877	八 坂 公 民 館	158	1,687
社 公 民 館	253	4,712	蔵 の 音 楽 館	184	450

6 図書館

(1) 基本方針

乳幼児期の絵本とのふれあいや、市民の読書と学習に役立つことができ、「暮らしの中に生きる図書館」として、利用拡大を図りながら「豊かな心を育む読書」の推進や、さまざまな学習に対する的確な情報提供を行います。また、市民のニーズに十分応えられるよう図書館資料の収集と充実を図り、生涯学習の拠点として「誰もが安心して利用」でき、魅力的で「親しまれる図書館」を目指して、積極的に図書館サービスを行います。

さらに「子どもの読書活動の推進」を重点施策と位置づけ、乳幼児期から本に親しみ、成長段階に応じた読書ができる環境を提供するよう努めます。

(2) 重点目標

- ・ 生涯学習、情報時代にふさわしい図書館を目指し、資料の整備、資料情報の質の向上を図ります。
- ・ おはなし会やブックリストなど乳幼児期から積極的に読書活動を行う意欲を高めるための方策を講じます。
- ・ 小中学校と連携・協力し、子どもの読書活動の推進を図るとともに、調べ学習に役立つ図書館を目指します。
- ・ 高齢者、障害者が利用しやすい施設とサービスの提供を進めます。
- ・ レファレンス（調査相談業務）の充実と、その対応のための資料整備を図ります。
- ・ 県立図書館や関係諸機関との連携を密にして、広範囲な資料要求に応えます。
- ・ インターネットのホームページやインスタグラムを利用した情報提供を推進します。
- ・ 読書ボランティアの育成と図書館活動の推進を図ります。
- ・ 利用の拡大を図るため、広報活動の充実に努めます。
- ・ 第2次子ども読書活動推進計画の周知と実践

(3) 施設

名 称	市立大町図書館		
所 在 地	大町市大町 4710 番地 6		
建 物	R C 造 2 階建		
	床面積	1 階	1,181.83 m ² 2 階 545.11 m ²
開館時間	火・水・木・金	午前 9 時 30 分～午後 7 時 00 分	
	土・日・祝日	午前 9 時 30 分～午後 5 時 00 分	
休 館	○毎週月曜日	○館内整理日（毎月最終の火曜日）	○年末年始
	○資料整理点検期間		

(4) 令和6年度図書館事業実施状況

事業名	内容	実施時期	参加対象者・数	備考
子どもの読書推進	おはなしの森	月1回	幼児～大人	ボランティア
	おいでえほんのおへや	月1回	乳児～大人	ボランティア
	子ども朗読道場	月1回	小学生	ボランティア 朗読指導
	ブックスタート	月2回	4ヶ月・1歳6ヶ月児健診	読みきかせ・ブックトーク
	セカンドブック	年6回	4歳児	絵本のプレゼント
大人の読書推進	万葉集・古文書読書会	月1回	一般	サークル
	おとなのための「朗読会」	4.6.8.10.12.2月	一般	講座受講生
展示コーナーの充実	新刊本の展示	随時	一般	館内の書架やブックラックを活用し、利用しやすく魅力的展示に努める
	話題本の展示	随時	一般	
	季節・行事に応じた図書の展示	随時	一般	
	えほん等のおすすめ本の展示	随時	乳幼児から一般	
	ヤングアダルト向け図書 ボードゲームの展示	随時 常時	中学生・高校生 利用者全般	
体験コーナーの設置	おりがみ教室	随時	幼児～大人	職員
視聴覚障がい者サービス	視覚障がい者の方に 図書録音テープ 点字図書の貸出	随時	視聴覚障がい者	ボランティア 「かつこう」の会 「ほたる」の会
くまの子文庫	園文庫の配本と巡回	年2回巡回	市内7保育園 市内3幼稚園 子育て支援センター 中央保健センター	4月 配本 9月 入れ替え(幼稚園) 2月 回収
高齢者施設読書推進	施設訪問による読み聞かせ	随時	施設入所者	職員
シルバールン	高齢者施設への本の配本	随時	施設入所者	随時配本
託児サービス	保護者が安心して図書館を利用できる無料サービス	月1回	生後6ヵ月から就学前まで	ファミリーサポートバンビ
図書館相互利用促進事業	大北5市町村の図書館の相互利用と図書の輸送システムの運用・新聞データベースの閲覧	輸送：週2回	利用者全般	シルバー人材センター
市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」	県と県内77市町村が費用を出し合い、パソコンやスマートフォンで読める電子書籍を貸し出すサービス		利用者全般	
読書活動推進イベント	秋の読書週間イベント			10月上旬
松本山雅読書週間協力事業	松本山雅のテーマ展示及び選手の葉配布			10月下旬から11月上旬
郷土の歴史と古文書入門講座	古文書を読みながら郷土の歴史を学ぶ	月1回	利用者全般	ボランティア講師
地域の歴史入門編	初心者でも分かりやすく郷土の歴史を学ぶ	月1回	利用者全般	ボランティア講師
もんぺのおばちゃんお話し会	大町の民話お話し会	奇数月	利用者全般	ボランティア
蔵書点検	図書の整理	5月28日～6月7日		休館/職員・ボランティア
図書館寄席	地元の落語家による寄席	8月25日	一般	ボランティア囃家
読書マラソン	期間内に決められた貸出数を超えた利用者に抽選で賞品をプレゼント	10月26日～12月28日	一般	職員

事業名	内 容	実施時期	参加対象者・数	備 考
図書館ギャラリー	市にゆかりある芸術家の作品や児童生徒の作品を展示	随時	利用者全般	
季節のイベント	天体望遠鏡の使い方講座	7月9日	利用者全般	一研究の題材用
	夏休みこども工作	8月4日	小中学生	簡易分光器をつくろう
	ハロウィン工作	10月19日	幼児～小学生	へんしんおめんをつくろう
	お正月飾り作り	11月30日	利用者全般	羽子板づくり
	クリスマス会	12月14日	利用者全般	ボランティア・職員
	本の福袋	1月上旬	利用者全般	児童向け
リサイクル本	リサイクル本の配布	年2回	利用者全般	
大活字本紹介	高齢者学級や高齢者施設に出向き読み聞かせと大活字本を紹介し、来館促進する。			
新刊本お勧め本紹介	新刊本の中で図書館が特に薦める資料を紹介			
所蔵本お勧め本紹介	館内所蔵の中で職員が特に進める資料の紹介			

(5) 令和6年度 子どもの読書活動推進

事業	内 容	対象・回数
① 乳児から未就学児親子に対する絵本とのふれあい		
ブックスタート	保健センターの健診時を利用し、読みきかせボランティアの協力により絵本の読みきかせ、相談、読書の楽しさと大切さを知っていただく啓発活動を行う。	4ヶ月児と1歳6ヶ月児親子 (月1回ずつ)
セカンドブック	自分でも本を読む意欲を持ち始める時期の4歳児に本を贈ることにより、親子での読書を通じて読書習慣をつけることを目的とする。	年6回
親子読書の推進・啓発	○年齢に応じた絵本リスト紹介 ○児童図書の充実 ○親子折り紙教室・ブックトーク・絵本の読み聞かせの開催	乳幼児から保護者まで (通年)
おはなしの会	○乳幼児から未就学児を対象としたおはなし会の開催 「おいでえほんのおへや」	乳幼児から保護者まで
くまの子文庫	○園文庫の配本と巡回	市内の幼稚園、保育園に配置

② 児童・生徒の読書活動の推進		
おはなし会等 *おはなしの森 *子ども朗読道場	○図書館と連携したボランティアによる読みきかせや語り ○小学生を対象とした朗読練習	市民全般（毎月） 小学生（毎月）
図書館利用の促進	○児童向け図書案内及び新刊コーナーの充実等 ○季節にちなんだ行事の開催（子ども読書の日、折り紙教室、七夕、夏休み特集、クリスマス、正月、節分、春休み特集等） ○読みきかせや交流の場の提供 ○学校司書との連絡会の開催 ○図書館見学、職場体験の受け入れ ○アルプスの家でボードゲームを指導。児童との交流を図る。	児童・生徒
図書館協議会の促進	○学校図書館司書、司書教諭も含め市図書館との連絡（図書館運営・蔵書・選書などの意見交換） ○読みきかせボランティアを導入した「朝の読みきかせ」の推進・協力 ○小中学生へ「朝読書」の推進・協力	小中学校、図書館 市民代表（協議会委員）
中高生への読書推進 《読書に対する意欲の向上》	○ヤングアダルトコーナーの充実 ○読書推進の啓発	中・高生

③ 市民による子どもへの読書活動の推進		
ボランティア養成講座及び活動ボランティアとの連携	○読みきかせボランティアの養成と拡大 ○読みきかせボランティア養成講座 ○活動サークルとの連絡会、支援、協力 ○「手づくり絵本」展示会場の提供等	市民全般 登録ボランティア
イベントの開催	○ボランティア連絡会による活動発表会及び情報交換会	会員及び市民全般
公民館図書室の充実と連携	○公民館蔵書の配置 ○公民館図書室の実情の把握、改善 ○公民館活動との連携 ○子ども会育成会等との連携	地区公民館 地域市民
障がい者サービスの充実	○テープ図書の作成 ○電子図書館「デジとしょ信州」の障がい者向けコンテンツの活用	市民全般
④ 広報活動		
	○広報、新聞、有線で新着図書紹介やイベント案内 ○図書館カレンダーに行事案内を掲載し配布 ○図書館ホームページ、インスタグラムの活用 ○各種の催しを、市内幼稚園、保育園、小学校にチラシ配布	市民全般

(6) 蔵書構成

(令和7年3月31日現在)

分 類		蔵書冊数	構 成 比	分 類		蔵書冊数	構 成 比
一 般 図 書	N 郷土資料	8,427 冊	5.2 %	児 童 図 書	39,259 冊	24.3 %	
	0 総 記	4,478	2.8	紙 芝 居	1,168	—	
	1 哲 学	4,668	2.9	合 計	161,442	100.0	
	2 歴史・地理	10,222	6.3	園 文 庫	3,374 点	—	
	3 社会科学	16,426	10.2	雑 誌	4,791	—	
	4 自然科学	9,313	5.8	視 聴 覚 資 料			
	5 工業・工学	8,923	5.5	C D	1,845 点	—	
	6 産 業	4,535	2.8	ビ デ オ	1,568	—	
	7 芸 術	12,945	8.0	D V D	752	—	
	8 語 学	2,104	1.3	テ ー プ 図 書	1,781 本	—	
	9 文 学	39,481	24.5	総 合 計	175,553	—	
	小計	121,522	—				
	文 庫	7,280	—				
	大 活 字 本	1,873	—				
参 考 図 書	491	—					
新 書	14,611	—					
点 字 図 書	661	—					

(7) 利用状況

ア 分類別貸出冊数

(令和6年度)

分類		児 童	一 般	合 計	構 成 比
一 般 図 書	0 総 記	42	530	572 冊	0.95 %
	1 哲 学	131	1,379	1,510	2.51
	2 歴 史・地 理	244	4,322	4,566	7.60
	3 社 会 科 学	264	2,676	2,940	4.89
	4 自 然 科 学	292	2,843	3,135	5.22
	5 工 業・工 学	912	7,656	8,568	14.26
	6 産 業	291	2,177	2,468	4.11
	7 芸 術	1,127	4,318	5,445	9.06
	8 語 学	32	382	414	0.69
	9 文 学	854	20,667	21,521	35.81
	E 絵 本	3	32	35	0.06
	B 文 庫	191	4,885	5,076	8.45
	D 大 活 字 本	244	1,531	1,775	2.95
	R 参 考 図 書	0	16	16	0.03
	S 新 書	53	1,999	2,052	3.41
	小 計		4,680	55,413	60,093
児 童 図 書	0 総 記	300	175	475	0.92
	1 哲 学	142	230	372	0.72
	2 歴 史・地 理	324	517	841	1.63
	3 社 会 科 学	532	524	1,056	2.05
	4 自 然 科 学	1,657	1,718	3,375	6.56
	5 工 業・工 学	752	855	1,607	3.12
	6 産 業	396	369	765	1.49
	7 芸 術	1,202	1,254	2,456	4.77
	8 語 学	93	123	216	0.42
	9 文 学	3,365	3,598	6,963	13.53
	E 絵 本	13,531	19,013	32,544	63.25
	K 紙 芝 居	278	457	735	1.43
D 大 活 字 本	14	12	26	0.05	
S 新 書	1	23	24	0.05	
小 計		22,587	28,868	51,455	100.00
郷 土 資 料		70	533	603	—
雑 誌		480	4,143	4,623	—
視 聴 覚 資 料					
C D		96	813	909 点	—
ビ デ オ		0	1	1	—
D V D		630	1,190	1,820	—
テ ー プ 図 書		0	84	84	—
合 計		28,543	91,045	119,588	—

イ 月別貸出数と登録者数

(令和6年度)

月	開館日数	貸出数	一日平均	学習室利用者数	一日平均	登録者数
4	24	12,895	537 冊	107	4 人	28
5	23	9,646	419	117	5	43
6	19	9,019	475	180	9	29
7	25	9,835	393	187	7	127
8	26	10,891	419	342	13	37
9	24	9,120	380	287	12	30
10	26	10,035	386	222	9	21
11	25	10,511	420	234	9	44
12	23	11,786	512	169	7	31
1	23	9,673	421	153	7	32
2	16	6,154	385	17	1	10
3	21	9,793	466	147	7	34
計	275	119,358	434	2,162	8	466

7 山岳博物館

地域の総合博物館という基本的な性格をもち、観光施設として山岳及び地域の自然を紹介し、教養・文化創造・憩いの場を提供するとともに、資料の収集・保管・展示、調査研究、教育普及活動を進める。

(1) 施設概要

名称 市立大町山岳博物館
 所在地 大町市大町8056-1
 電話 0261-22-0211 F A X 0261-21-2133
 敷地面積 41,575.69㎡
 建物構造 鉄筋コンクリート造〔地上3階・地下1階〕
 床面積 1階：1,177.4㎡ 2階：686.1㎡ 3階：116.7㎡ 地階：159.2㎡
 付属施設 付属園・山岳図書資料館

(2) 令和6年度 資料収集・保管管理事業〔実績〕

ア 収集資料

[令和7年3月31日現在]

人文科学系資料		自然科学系資料			
区分	数量	区分	数量	区分	数量
山岳	12,558	蘚苔類(乾燥標本)	674	その他液浸標本	103
山岳・美術寄託	403	維管束植物(液浸標本)	7	図書・AV	7,540
歴史	12	維管束植物(さく葉標本)	12,820		
民俗	959	地質標本(岩石、化石、鉱物)	3,070+197 ケース		
美術	454	哺乳類(剥製等標本)	249		
考古	0	鳥類(剥製標本)	699		
図書・AV	42,230	昆虫(標本ドイツ箱)	258		
計	56,616			計	25,420
総計 82,036点+197ケース					

イ 資料収集

(寄贈)・植物資料2件955点 ・山岳資料4件67点 ・山岳図書資料5件39点 計1,061点
 (寄託)・山岳資料1件2点 計2点

ウ 飼育動物・栽培植物

[令和7年3月31日現在]

種名	雄	雌	不明	計	種名	雄	雌	不明	計
ハクビシン *		2		2	トビ *			8	8
ニホンカモシカ *	3	1		4	キジバト *		1		1
タヌキ	1			1	フクロウ *		1		1
					スパールバルライチョウ	1			1
					ニホンライチョウ	4	3		7
計	4	3		7	計	5	7	8	18

*保護動物を含む

栽培植物69種

(3) 令和6年度 調査研究事業〔実績〕

ア 主な調査研究事業

- ① 高山植物の生活史に関する研究
- ② 大北地域の植物分布調査
- ③ 企画展に関する調査・研究
- ④ ライチョウの飼育・増殖技術を目指した研究
- ⑤ 北アルプス地域の気象に関する調査・研究
- ⑥ 大町市周辺の火山灰に関する調査・研究

(4) 令和6年度 教育普及事業【計画】

ア 企画展・特別展

名 称	期 間
企画展「大町の少年が世界を駆ける～山岳ランナー上田瑠偉10年の軌跡～」	8月10日～10月14日
企画展「日本人とエベレスト～その聖性から大衆化まで～」	10月19日～12月1日
企画展「学校の生きもの探索記」	3月9日～5月10日

イ 常設展示

展示資料点数1,027点（自然科学系453点、人文科学系574点）

ウ 移動展示

名 称	期 間	場 所
「さんばく研究最前線」出張展示	4月～、7月～、10月～、2月～	大町市八坂公民館
「2024信濃大町美術展・おおまちセレクション ー山と、水と、ー」	9月8日～23日	
安曇野アートライン推進協議会「アートライン展」	11月23日～12月15日	アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）

エ 主な教育普及活動

名 称	期 間
友の会総会記念講演会「長野県におけるイワナとその増殖について」	4月21日
付属園まつり	5月1日～5日
自然ふれあい講座「みんなで温暖化ウオッチ～セミの抜け殻を探せ」	8月3日
わくわく自然講座「水辺の生き物」	8月4日
企画展「大町の少年が世界を駆ける」オープニング講演会	8月10日
上田瑠偉トレーニングキャンプ・トークイベント	8月11日～12日
野外活動講座（講演会）「山岳都市おおまの歴史」	8月31日
上田瑠偉トレラン体験会	9月15日
上田瑠偉鷹狩山トレッキング	9月16日
大町自然探検隊「河原の石ころをさがそう」	10月13日
講演会「写真で見るエベレスト日本隊」・シンポジウム「エベレスト 聖性からその喪失まで」	11月17日
信州自然講座「北アルプスのライチョウをとりまく今を知る」	2月8日
山のサイエンスカフェ in さんばく2025	3月8日
企画展「学校の生きもの探索記」ミュージアムガイド	3月9日

オ その他の主な教育普及活動

名 称	期 間
友の会活動への支援・協力	4月～3月
学校との連携授業（市内小学校の博物館活用事業）	4月～3月
博物館実習の受入	7月30日～8月4日（6日間）
学習会等への協力（出張講座等）	4月～3月
雪形まつりへの協力	5月～6月
博物館資料の貸出（特別利用）	4月～3月
山岳図書資料館の利用（事前予約者）	4月～3月
観覧者への展示解説（事前依頼者）	4月～3月

カ 主な情報発信

『山と博物館』の発行 季刊（春、夏、秋、冬） 市内全戸配布など各号9,000部発行
『山岳博物館研究紀要』の発行（第10号）
『山岳博物館年報』の発行（令和6年度版）
インターネット・ウェブサイト、SNSの運用

キ 他団体との主な連携

大町博物館連絡会
安曇野アートライン推進協議会・博物館美術館部会
大町山岳博物館友の会
長野県山岳総合センター
ライチョウ会議
信州大学山岳科学研究所との研究協力協定
長野県環境保全研究所との連携・協力に関する協定
全国山岳博物館等連絡会議
（公財）富山市ファミリーパーク公社とのライチョウ類の飼育技術提携に関する協定
（公社）日本動物園水族館協会
オーストリア・インスブルック市との友好提携協定、アルプス動物園との友好提携協定

ク ミュージアムカフェ・ショップの営業(caf6かもしか)

(5) 令和6年度 動植物飼育栽培繁殖事業

ア 動物飼育繁殖

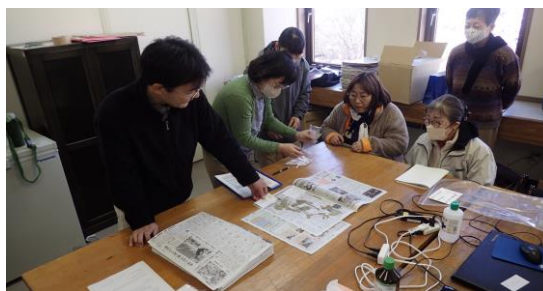
動物の生体展示
教育普及への活用
傷病鳥獣の救護
希少種の保護・繁殖
施設整備

イ 植物栽培繁殖

高山植物・湿地植物の栽培展示
調査研究・教育普及への活用
希少種の繁殖



企画展「大町の少年が世界を駆ける」オープニング講演会



高知県立牧野植物園から送られてきた植物さく葉標本の点検風景



付属園を活用した学習授業

(6) 利用状況

ア 入館者

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
26	489人	291人		100人	21人		77人	
27	5,147	2,425		1,022	186		1,514	
28	13,092	8,922		2,229	725		1,216	
29	11,424	7,779		1,831	625		1,189	
30	10,885	6,831		1,664	1,445		945	
31	4,930	2,148		888	1,036		858	
32	5,298	1,934		658	826		1,880	
33	7,897	2,979		1,032	1,469		2,417	
34	7,113	2,972		626	1,727		1,788	
35	8,599	3,635		878	1,943		2,143	
36	10,163	4,181		1,329	2,132		2,521	
37	14,243	5,313		1,633	4,549		2,748	
38	15,893	6,394		1,854	4,727		2,918	
39	26,242	10,464		1,658	12,600		1,520	
40	25,560	14,214		1,696	8,050		1,600	
41	26,680	10,399		1,711	13,070		1,500	
42	25,900	12,891		1,649	8,301		3,059	
43	41,538	18,458		2,071	17,769		3,240	
44	32,967	16,273		2,100	10,845		3,749	
45	30,929	13,405		1,941	11,623		3,960	
46	39,326	18,414		3,001	14,718		3,193	
47	40,670	17,500		3,025	13,268		6,877	
48	58,373	25,809		4,178	22,612		5,774	
49	62,254	28,702		4,277	23,432		5,843	
50	67,692	32,345		4,896	23,616		6,835	
51	70,603	32,111		5,142	25,150		8,200	
52	54,700	26,155		4,311	18,907		5,327	
53	64,129	26,346		4,158	24,903		8,722	
54	63,943	27,769		4,485	25,089		6,600	
55	57,038	25,743		4,414	19,909		6,972	
56	65,132	31,697		7,558	16,182		9,695	
57	70,215	31,894	809	6,400	10,391	5,827	6,929	7,965
58	86,413	33,590	988	6,632	15,885	7,992	12,303	9,026
59	82,384	30,335	816	5,905	12,969	9,172	15,070	8,117
60	99,866	36,686	1,142	8,025	22,782	8,559	15,902	6,770
61	86,678	34,797	1,086	6,109	16,001	8,107	16,069	4,509
62	86,238	33,132	918	5,581	18,751	7,065	17,186	3,605
63	84,925	36,116	841	5,932	14,947	6,085	14,735	6,269
元	80,744	41,018	1,199	6,450	13,191	4,650	10,527	3,709
2	82,798	43,444	1,108	6,752	16,486	3,045	7,119	4,844
3	86,477	47,004	1,276	7,313	13,817	4,212	8,278	4,577
4	73,824	42,197	725	5,719	13,068	1,687	7,015	3,413
5	75,766	45,182	809	5,807	12,249	2,807	5,325	3,587
6	64,939	38,354	933	4,809	10,561	1,932	4,974	3,376
7	63,860	37,356	981	4,650	9,493	1,840	4,164	5,376
8	53,984	36,002	869	4,189	6,601	1,905	2,244	2,174
9	47,562	31,119	626	3,417	7,626	1,245	2,100	1,429
10	42,440	28,219	637	3,105	6,023	764	2,006	1,686
11	34,618	24,220	482	2,200	4,766	561	1,183	1,206

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
12	34,059 人	23,082 人	501 人	2,273 人	5,344 人	648 人	1,024 人	1,187 人
13	35,013	24,064	439	2,163	3,389	671	1,577	2,710
14	28,399	20,527	472	1,744	2,518	675	808	1,655
15	28,322	19,693	535	2,152	2,184	785	1,082	1,891
16	21,551	14,664	376	1,073	2,875	602	644	1,317
17	19,265	12,065	213	630	3,138	692	928	1,599
18	23,363	14,056	135	996	3,120	545	1,836	2,675
19	17,572	10,991	120	742	2,401	407	1,037	1,874
20	18,515	11,532	130	803	2,766	381	578	2,325
21	17,942	11,269	100	704	3,055	61	1,098	1,655
22	15,147	9,578	103	594	2,665	466	467	1,274
23	21,020	12,363	127	855	2,963	328	1,396	2,988
24	16,133	9,818	114	640	2,344	498	587	2,132
25	12,237	7,550	97	522	2,008	142	353	1,565
26	20,919	12,249	119	893	3,146	655	370	3,487
27	18,294	10,427	101	795	2,782	440	613	3,136
28	16,890	9,774	98	709	2,442	433	540	2,894
29	18,692	10,210	77	735	3,084	230	1,176	3,180
30	19,097	10,795	79	840	2,895	245	826	3,417
1	19,881	11,459	115	1,070	3,305	247	391	3,294
2	12,195	4,734	74	508	3,670	58	599	2,552
3	14,072	6,247	73	735	2,817	126	801	3,273
4	21,307	9,762	114	1,004	5,253	528	1,136	3,510
5	20,760	10,377	115	866	5,137	143	794	3,328
6	24,649	12,980	167	1,171	5,486	357	1,108	3,380

8 民俗資料館

民俗資料館は、社地区に残された文化財をはじめ、仁科文化や、社地区に関係ある資料を中心に展示し、文化向上に寄与するとともに、地域のコミュニティーセンターとしての機能を持つものとします。

(1) 施設

名 称	大町市民俗資料館
所 在 地	大町市社 3945-2
電 話	0261-22-0378
床 面 積	891 m ²
開 設	昭和 60 年 4 月 1 日
開 館	月曜日（祝日の場合は翌日）を除く日 冬期（12月から3月まで）は、土曜日・日曜日・祝日、年末年始を除く日 時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時

(2) 展示室

ア 特別展示室

考古資料として、当資料館裏山に広がる山寺廃寺跡から出土した長野県宝の四耳壺・青白磁水注・写経石等を展示。当時の中国から輸入した陶器などがお墓の骨壺に使われていて、大きな寺があったことを物語っています。

また、民俗資料として、明治時代のひな人形・五月人形・七夕人形等を展示し、歴史資料として、地区内の歴史的建造物を写真パネルで紹介しています。

イ 小展示室

江戸から昭和 30 年代に入るまで、社地区の主要産業として地域経済を支えてきた、松崎紙および宮本紙の資料（昭和 50 年市指定文化財〈民俗資料〉に指定）を展示。

釜・簀（す）・すき舟・馬鋏（ませ）などの紙すき用具のほか、紙すきの模様を説明した写真などを交え、歴史・工程両面から紹介しています。

ウ 企画展示室

旧社小学校に所蔵されていた、明治から現在に至るまでの教科書資料を中心に、市内の学校の移り変わりを年表にまとめています。

(3) 利用状況

入館者状況

年度	総数	年度	総数
S62	1,859 人	R元	472 人
63	1,856	2	320
H元	2,169	3	424
2	1,992	4	411
3	2,064	5	339
4	1,723	6	277
5	1,284		
6	1,434		
7	1,048		
8	1,104		
9	845		
10	1,139		
11	676		
12	690		
13	634		
14	492		
15	427		
16	253		
17	534		
18	227		
19	367		
20	355		
21	468		
22	527		
23	623		
24	681		
25	588		
26	635		
27	537		
28	600		
29	560		
30	511		

9 文化会館

文化都市おおまの創造と心豊かなまちづくり・ひとづくりを推進する拠点文化施設として、計画的な施設の改善を図りながら、市民要望に応じた優れた舞台芸術の鑑賞機会を充実させるとともに、市民の自主的な文化活動を支援し、地域文化の振興を図ります。

1 鑑賞を通じて芸術文化に触れる機会の提供

市民の皆様に、ポピュラーコンサートなど優れた幅広いジャンルの舞台芸術を鑑賞する機会を確保するため、市民のニーズに沿って事業を展開します。また、舞台芸術を身近に感じられるように小規模な観客設定での鑑賞事業も企画します。

2 特色ある文化の創造

(1) アンサンブルコンサート

小編成による演奏を行い、気軽に行ってみたくなるコンサートを目指す。

(2) 開館40周年記念事業に向けたワークショップ

大町市文化会館の開館40周年記念事業に向けたワークショップの開催。

3 市民の参加と交流

(1) 「市民芸術祭」の開催

市民の芸術文化活動の発表と交流の場として、市民芸術祭を開催します。

(2) 「ミュージックサマー」の開催

市内を活動拠点にしている音楽団体をはじめ、市内在住・在勤者が発表と交流のできる音楽イベントを開催します。

4 人材育成

(1) 芸術文化活動の支援

大町市少年少女合唱団の団員増加や大町市芸術文化協会への加盟促進を図り、市内芸術文化団体のリーダーとなる人材を育成し、自主的な芸術文化活動の促進を図ります。

(2) 合同発表会等の開催支援

市民芸術祭から独立して自主公演を行っている芸術団体の発表など、市民参加による地域に根ざした特色ある芸術文化活動を支援し、市民との協働の事業を実施します。

5 文化施設の整備

特定天井のLED化事業をはじめ、施設の計画的な改修に努め市民の芸術文化活動の拠点となる施設の整備・充実を図ります。

①施設

名 称	大町市文化会館
ホールの愛称	エコーホール
所 在 地	大町市大町1601-2
電 話	T E L 0261-22-9988 F A X 0261-22-9849
設備概要	大町公民館、文化会館棟 大ホール1,144席（親子室、車椅子席あり）、練習室3室、 リハーサル室、楽屋4室、展示室 サン・アルプス大町棟 大会議室（200人）、和室研修室（20人）、小会議室（25人）、 中会議室（50人）、研修室（75人）
施設延べ面積	6,478.03㎡
開 設	昭和61年5月28日

②令和6年度実施事業

事業名	期 日	内 容
なつかシネマ「幸福の黄色いハンカチ」	5月19日	来場者アンケートを基に、より上映を希望する声の多かった「幸福の黄色いハンカチ」を上映した。
いつか思い出すかもしれない日のダンス	6月2日	大町市出身のダンサー横山彰乃さんを講師に4日間のワークショップで作品を創作し、大ホールのステージで披露。
信濃大町寄席	6月22日	入船亭扇遊師匠、紙切りの林屋楽一さん、長野県出身の落語家である柳亭市遼さんの3名による落語と紙切りを披露。
ワンコインコンサート「羽瀨浩樹」	7月7日	大町市在住のバリトン歌手羽瀨浩樹さんとピアニスト中村倫子さんのコンサートをワンコインで楽しめるイベント。
ミュージックサマー(大町市民芸術祭)	7月14日	夏の音楽イベントとして3回目となる今回は市内で活動する音楽団体14チームによるステージ発表を行った。
三浦一馬五重奏団「熱狂のタンゴ」	7月15日	バンドネオン奏者三浦一馬が現代に受け継ぐ想い、切れ味鋭いリズム、情熱と哀愁あふれるパッションのアンサンブル。
ちっちゃなコンサート	7月21日、23日	信州アルプス交響楽団で活躍する5名のアンサンブルコンサートを大ホール舞台上と大町中学校で実施。
ワンコインコンサート「オゴツェ」	7月30日	ワンコインで楽しめるコンサート。ヴァイオリニスト川崎妃奈子とピアニスト松田紫帆のコンサート。
バックヤード寄席	8月18日	大町市出身の落語家、柳家圭花さんによる落語を普段見ることのできない文化会館のバックヤードで開催した。
2024セイジオザワ松本フェスティバルスクリーンコンサート	9月15日	「オーケストラコンサートBプログラム」を収録し、スクリーンコンサートのために制作した映像をディスク化し放映。
信濃大町美術展・おおまちセレクション	9月8～23日	地元作家の作品および市内に所蔵されている秀作を展示し、芸術文化によるまちづくりに寄与することを目的に開催。
ワンコインコンサート「須沢恭子」	9月23日	ピアニスト須沢恭子さんを中心に、尺八の両角昌幸さんとヴァイオリンの八幡美緒さんによるワンコインで楽しめるコンサート。
大町市民芸術祭「DANCE LIVE 2024」	10月20日	市内で活動する6団体が出演。バレエ、ジャズ、ヒップホップ、コンテンポラリーと様々なダンスステージを披露した。
大町市民芸術祭「市民芸能SHOW」	11月3日	大町市文化祭2日目に合わせて開催。基本的な舞台で様々なジャンルの8団体によるステージショーを行った。
大町市文化祭ふぁみりーシネマ『FLY (2024年)』	11月4日	大町市文化祭タイアップ事業として開催。文化祭に訪れた方というよりは、この映画を見に来た家族連れが多かった。
大町市民芸術祭「ハーモニーコンサート」	11月10日	反響版セットによる生音を基本としたステージで市内だ活動する音楽団体6チームが日頃の練習の成果を発表した。
なつかシネマ「太陽の季節」	11月17日	来場者アンケートを基に、より上映を希望する声の多かった「太陽の季節」を上映した。
大町市少年少女定期演奏会	12月8日	大町市少年少女合唱団との共催により実施。初の試みとして「泉小太郎物語」と題し、朗読と歌で郷土の伝説を表現。
大町市芸術文化協会 はばたきの集い「春の舞台」	3月2日、9日	合唱やダンス、和太鼓に器楽など様々なジャンルの発表を一度に行うため、特殊な舞台セットを組み12団体が発表。

③エコホール利用状況

(令和6年度)

利用件数 97件

利用者数 29,315人

ホールオープンからの延べ利用者数 1,399,573人

④サン・アルプス大町利用状況

(令和6年度)

利用件数 356件

利用者数 15,607人

10 女性未来館ピュア

女性労働者や勤労者家庭の女性などを対象に、職業生活や家庭生活に必要な相談、指導、講習等を行います。また、レクリエーションなど余暇活動の場所と機会を提供し、女性の福祉を総合的に増進するよう努めます。

(1) 施設

名 称	大町市女性未来館ピュア
所在地	大町市平10352-1
電 話	0261-22-0694
建 物	鉄骨耐火被覆構造 平屋建て 床面積 614.46㎡
各 室	第1講習室、第2講習室、茶室、料理講習室、音楽室、 軽運動室、図書室、託児室、相談室、談話室、事務室
開 設	昭和59年4月1日
開 館	開館時間 午前8時30分～午後9時30分

(2) 令和6年度実施事業

	名 称	実施月	回数	受講者数・延人数
講 座 の 開 設	R6ピュアに輝く女性講座	5～12月	6回	15人/延72人
	サークル「キルト」幼児用スタイ作り	7月	2回	7人/延14人
	大人の脳トレ♪ リトミック講座	7月～8月	5回	9人/延25人
	クラフトバンドで物づくり講座 初心者コース	6月～10月	5回	11人/延51人
	保育サポーター講座	7月	3回	4人/延14人
	夏休みボッチャ体験教室	8月	3回	37人/延75人
	大人になっても英語であそぼ!	8～9月	5回	7人/延35人
	仁科三湖 自然と歴史ウォーキング講座	11月	3回	22人/延30人
	背骨コンディショニング体操教室	3月	3回	12人/延25人
そ の 他	女性未来館ピュア運営委員会	11月・3月	2回	委員6名/会議出席各回10名
	利用者の会総会	7月・11月	2回	延35人
	第37回 仁科の里ピュアフエスタ	11月	1回	150人
	第49回 豊かな老後の為の平地区市民の集い	3月	1回	90人
	サークル体験会 朗読はづき	5月・9月	2回	延51人
	サークル体験会 社交ダンス(つくしダンスクラブ)	7月	1回	4人
	サークル体験会(4日間) 大町太極拳クラブ	11～12月	4回	5人/延17人
	サークル体験会 キルト	10月	1回	5人

(3) 令和6年度施設利用状況(平公民館との合計)

ア 利用者数

利用者の区分 利用方法	総 数	女性労働者	家庭主婦等	その他	備 考
個 別 利 用	29	0	0	0	
グループ活動等 による団体利用	1,678	250	608	0	
その他	0	0	0	0	
総 数	1,707	250	608	0	

イ 年齢階層別利用者数

総 数	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上
20,090	20	25	120	19,925

1 1 大町市文化財センター

(1) 施設

名 称	大町市文化財センター
所 在 地	大町市大町 4700 番地
電 話	0261-23-4760
施 設	鉄骨 2 階建て、1 階総面積 460.68 m ² 、2 階総面積 247.98 m ² 、 総床面積 738.66 m ² 1 階…展示室 219 m ² のほか、事務室・研究室、収納室 1・2、収蔵庫 1、 保存作業室 2 階…学習室 94 m ² のほか、資料室、収蔵庫 2 学習室は、市民に開放し、講座などをおこない、資料室は市民の方々の 知りたい郷土の歴史等、情報資料の提供をする。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時 休館日 毎週土・日曜日、国民の祝日、年末年始
おもな収蔵品	市内各地の遺跡出土品（常盤山の神遺跡、常盤大崎遺跡、平一津遺跡、平上原遺跡など） 加藤朝鳥（文筆家）資料<加藤寿々子寄贈品>、市所蔵・寄託古文書、市所蔵絵画など

(2) 利用状況（令和 6 年度）

来館者、資料見学・閲覧者、講座受講者 355 人

1 2 重要文化財旧中村家住宅

(1) 施設

名 称	重要文化財旧中村家住宅
所 在 地	大町市美麻 17668
電 話	0261-29-2580
施 設	主屋…木造平屋茅葺、総床面積 298 m ² 土蔵…木造二階建茅葺、総床面積 159 m ² 、展示施設、収蔵庫 管理棟…木造平屋建トタン葺、総床面積 33.924 m ² 、事務室、トイレ 重要文化財の民家を公開。土蔵には、旧中村家及び美麻に関する歴史的 資料を展示・公開。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで） 休館日 毎週月曜日・火曜日（月曜日・火曜日が休日の場合は翌日及び 翌々日）、12 月 1 日～3 月 31 日

(2) 利用状況（令和 6 年度）

・入館者数 342 人 ・北アルプス国際芸術祭アート作品展示 入場者 7,792 人

13 社会教育施設一覧表

令和7年10月1日現在

名称	所在地 電話番号	建築面積 (㎡)	休館日 開館時間	利用できる施設・設備	使用料・入館料 併設施設
大町公民館	大町1601-2 0261-22-9988	681.67	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	第1会議室(14人) 第2会議室(25人) 学習室(24人) 視聴覚室(25人) 料理実習室(20人) 実習室(24人) 児童室(和室:15人) 講習室(和室:10人)	使用料金表による ◇文化会館 ◇勤労者福祉施設
文化会館	文化会館 大町1601-2 0261-22-9988 サン・アル プス大町	6,478.03	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 大ホール 9:00~22:00 大ホール以外 8:30~21:30	ホール(1,144席) 楽屋(4室/33㎡~82㎡) 練習室(3室/15㎡~38㎡) リハーサル室(94㎡) 展示室(90㎡) ほか 大会議室(200人) 研修室(75人) 中会議室(50人) 小会議室(25人) 和室研修室(20人) 軽食喫茶室(40人)	使用料金表による ◇大町公民館 ◇スケートボードパーク
平公民館	平10352-1 0261-22-0694	996.63	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	講堂(300人) 実習室(16人) 会議室(15人) 視聴覚室(30人) 学習室(30人)	使用料金表による ◇女性未来館ピュア
女性未来館ピュア	平10352-1 0261-22-0694	614.46	祝日 ・年末年始 8:30~21:30	軽運動室(104㎡) 音楽室(20人) 講習室(2室/60人) 料理講習室(25人) 相談室・託児室・図書室・茶室	使用料金表による ◇平公民館
常盤公民館	常盤3601-18 0261-22-0321	1,264.70	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	学習室1(20人) 学習室2(20人) 学習室3(20人) 研修室1(30人) 研修室2(15人) 視聴覚室・同和教育資料室(20人) 図書室 料理実習室(20人) 講堂(200人)	使用料金表による
社公民館	社3945-2 0261-22-0378	891.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	大研修室(300人) 研修室(50人) 会議室(15人) 作業室(20人)	使用料金表による ◇民俗資料館
民俗資料館	社3945-2 0261-22-0378		月曜・年末年始 8:30~17:00	展示室(4室) 資料室(20人)	使用料金表による ◇社公民館
大町公民館分室	大町1058-13 0261-22-0352	1,226.02	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	視聴覚室 講堂 研修室(2室) 学習室(4室) 栄養指導室	使用料金表による ◇中央保健センター
蔵の音楽館	大町2542-1 0261-22-0420	79.30	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	1F演奏室 2F倉庫	施設利用料 1時間200円 冷暖房使用料 1時間100円
図書館	大町4710-6 0261-21-1616	1,181.83	毎週月曜日・毎月最終火曜日 ・蔵書点検期間 (毎年6月中の10日間程度) ・年末年始 火・水・木・金(通年)9:30~18:30 土・日・祝日 (4月~11月)9:30~18:00 (12月~3月)9:30~17:00	1階 一般コーナー、児童コーナー 新聞・雑誌コーナー、AVコーナー 2階 視聴覚室(兼学習室50人)、会議室 地域資料室、保存図書コーナー	
文化財センター	大町4700 0261-23-4760	738.66	土曜・日曜・祝日 ・年末年始 9:00~17:00	展示室(1室) 学習室(40人) 資料室(1室)	無料
山岳博物館	大町8056-1 0261-22-0211	2,683.95	月曜・年末年始 但し7月・8月は無休 (4月~11月)9:00~17:00 (12月~3月)10:00~16:00	エントランスホール・展示室(5室) 講堂(80人) ミュージアムカフェ・ショップ 付属園(付属動植物園) 山岳図書資料館	大人 450円 高校生 350円 小・中学生 200円 ◆30名以上の団体 大人 400円 高校生 300円 小・中学生 150円
ギャラリー・ いーざら	大町3300-1 0261-22-0420	120.00	不定期(展示期間外) 10:00~18:00	展示室1(88㎡) 展示室2(32㎡)	展示室1 7,000円 展示室2 3,000円
八坂公民館	八坂1133-1 0261-26-2380	859.88	土曜・日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	交流ホール(約100人) 会議室(2室)	使用料金表による ◇コミュニティセンターアキツ
コミュニティ センターアキツ	八坂1133-1 0261-26-2380		土曜・日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	展示フロア 図書コーナー	使用料金表による ◇八坂公民館
美麻公民館	美麻11810-イ 0261-29-2311	545.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	小会議室(6人) 中会議室(24人) 講堂(108人) 読書ストリート(1,400冊)	使用料金表による ◇美麻支所
旧中村家住宅	美麻17668-1 0261-29-2580	480.00	月曜・火曜 12月~3月 9:00~17:00	主屋、土蔵(見学・展示) (重要文化財指定施設)	大人 310円、子ども 150円 一般団体 200円、小人団体 100円

IV 社 会 体 育



1 社会体育

社会体育基本方針

近年の高度情報化や少子高齢化の進展等、社会情勢の変化によりライフスタイルや価値観が多様化する中、スポーツに対する意識や取り組み方も多様化しています。

また、スポーツ種目の多様化や地域におけるスポーツを通じたコミュニケーションの拡大の他、新型コロナウイルス感染症の影響による市民の運動機会の減少に伴い、スポーツ活動の重要性が高まってきています。

こうした環境の変化により、スポーツや健康、体力づくりへの市民の関心が高くなる一方で、実際の活動に、なかなか参加できない市民も多く、環境も十分とはいえない状況です。

市民ひとり一人が、年齢や体力に応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上等により「生涯スポーツ」を推進します。

(1) 重点目標

ア 生涯スポーツの推進

- (ア) 各年代に対応した多様なスポーツ教室の充実、スポーツクラブ活動の促進
- (イ) 体力や年齢、興味、目的に応じたスポーツ活動による健康、体力づくりの推進
- (ウ) 生涯スポーツ推進のための情報発信
- (エ) 誰もが気軽に参加できるニュースポーツの導入と普及、指導者の育成

イ 競技スポーツの推進と指導者の育成

- (ア) スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツクラブ、スポーツ指導員会等各種スポーツ団体との連携による組織強化と人材育成等
- (イ) 学校体育・部活との連携、地域指導者の発掘

ウ スポーツを通じたコミュニティづくり

- (ア) 総合型地域スポーツクラブの育成、支援等
- (イ) 各地域で実施するスポーツ大会や教室、健康づくり等による地域コミュニティの再生、支援
- (ウ) 地域特性を生かしたスポーツ振興

エ スポーツ施設の整備と有効活用

- (ア) 市民のスポーツ活動や健康づくり、交流の場等の拠点としての体育施設の整備、充実
- (イ) 市民のスポーツの推進や競技水準の向上のため、レベルの高い大会やイベント等が可能な施設、環境整備

(2) 事業計画

ア 各種スポーツ大会等の開催（主催大会）

開催月	大会名
7月	・市民スポーツ祭（夏季）
8月	・木崎湖カップカヌー大会
9月	・大北駅伝大会
10月	・大北スポーツ競技会 ・大町アルプスマラソンの協力
1月	・市民スケート大会
2月	・市民スキー・スノーボード大会

イ 各種スポーツ教室の開催

年代別対象教室	教室名
幼児期	・運動あそび教室（年長児クラス） ・保育園・幼稚園巡回運動あそび（年中・長児クラス）
児童・青少年期	・小学生スキー体験会 ・少年少女海洋教室 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」
成年期	・ママさんフリータイム広場（夏季・冬季） ・トレーニング講座
実年期	（運動の習慣づけのための教室） ・ボディーバランス教室 ・水中運動教室

ウ スポーツ協会等スポーツ団体との連携

- (ア) スポーツ協会事業全般にわたる支援
- (イ) 「大町スポーツクラブ」への支援
- (ウ) スポーツ少年団への支援、指導者の育成

エ 小中学校及び地域と連携したスポーツ活動の推進

- (ア) 学校授業、PTA及び地域のスポーツレクリエーション活動の受け入れと指導協力（海洋センターを利用したカヌー・SUP体験活動、冬季の運動公園を利用した歩くスキーの貸し出し、ニュースポーツ用品の貸し出し及びスポーツ推進委員による指導など）
- (イ) 中学校部活動地域移行（地域展開）への支援（指導者の発掘、確保など）

オ 体育施設利用調整会議の開催

- (ア) 体育施設の有効利用と利用者のニーズの把握
- (イ) 大会行事等主幹団体の利用調整（年1回）
- (ウ) スポーツ合宿等のための市内旅館、民宿利用調整（年1回）
- (エ) スポーツ活動通年利用団体の利用調整（年2回）

カ 体育施設の整備充実、保守管理

- (ア) 運動公園及び市内体育施設の保守管理、清掃の徹底
- (イ) 体育施設管理員及び学校施設開放と連携のとれた保守管理の実施
- (ウ) 陸上競技場及びサッカー場のスタンド解体と管理棟新設
- (エ) 運動公園テニスコート人工芝修繕

キ 各種スポーツ大会の後援及び支援協力

- (ア) 大町アルプスマラソン
- (イ) おおまびょんカップサッカー大会
- (ウ) スポーツ振興事業補助金の活用促進

ク 各種スポーツ指導者の育成

- (ア) スポーツ振興事業補助金（指導者育成）の活用促進

ケ その他の施策

- (ア) 総合体育館の有効活用の推進等
 - ① トレーニングルーム利用講習会の開催（毎月2回）
 - ② 大町市公共施設予約システムの更新

(3) 体育施設
(社会体育施設)

NO	名 称		位 置	開設年	面 積	利 用 競 技 種 目	
1	西 公 園	運 動 場	大町市大町4687	S 42年	12,198.02㎡	野球(2面)・ソフトボール(2面)・ゲートボール(2面) スケートリンク(冬季のみ1面)・ナイター照明	
2		体 育 館	" 4710	S 42年	966.24㎡	バレーボール(1面)・バドミントン(3面)・空手道 バスケットボール(1面)・剣道	
3	運 動 公 園	陸 上 競 技 場		S 53年	21,755㎡	フィールド内(ゲートボール16面)・サッカー(1面)	
		メインスタンド棟			1,097㎡	収容 メインスタンド1,400人、芝スタンド4,000人 更衣室(2)・倉庫(3)・役員室(1)・事務室(1)・医務室(1)・便所ほか	
4		サ ッ カ ー 場		S 52年	12,401㎡	(1面)	
		メインスタンド棟		739㎡	収容 メインスタンド743人、芝スタンド2,000人 選手控室(4)・倉庫(3)・役員室(1)・放送室(1)・医務室(1)・便所ほか		
5		総 合 体 育 館		S 63年	4,863.01㎡	大アリーナ(1,627㎡)、小アリーナ(558㎡)、ランニングコース(170m)、 バレーボール(4面)、バドミントン(13面)、バスケットボール(3面)、卓球(20台)、 体力測定室ほか ギャラリー(固定席544)・収容人数2,500人	
6		マレットゴルフ場		S 57年	36ホール	北コース 18ホール(パー72)	
7		こ ども 広 場		S 62年		900㎡	南コース 18ホール(パー72)
8		弓 道 場		S 62年	609.22㎡	遠的(1面)・近的(1面)	
					255.57㎡	射場129.6㎡、的場44.82㎡、6人立、更衣室81.15㎡	
9		多 目 的 広 場		S 62年	10,005㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(2面分)	
10		庭 球 場		全 天 候	S 56年	2,815.74㎡	全天候(4面)・ナイター照明 ※R元年度全面改修
				全 天 候	S 58年	2,908.8㎡	全天候(4面)・ナイター照明 ※R元年度一部改修
11		野 球 場		S 61年	12,677.232㎡	野球(1面)	
	メインスタンド棟	704.09㎡	収容人数 スタンド562人、内野階段スタンド352人、内野芝生スタンド1,070人、 外野スタンド2,616人、更衣室(2)・事務室(1)・本部席(1)・放送室(1)・便所ほか				
12	第一屋内運動場	H 6年	987.13㎡	運動場(925.44㎡)・ゲートボール(2面)・テニス(1面)・ミニサッカー(1面)			
	第二屋内運動場	H 29年	1,977.58㎡	運動場(1,738.39㎡)・ゲートボール(2面)・テニス(2面)・ミニサッカー(2面)			
13	多目的芝生広場	H 25年	2,700㎡	ゲートボール(2面)・グラウンドゴルフ(1面)			
14	平 野 球 場	平9539-3	S 35年	10,550㎡	野球(1面)		
15	平 運 動 場	" 9370-1	S 52年	12,071㎡	ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(ソフトボール1面分)		
16	平ゲートボール場	" 9365-1	S 57年	1,550㎡	ゲートボール(2面)		
17	B & G 海 洋 セ ン タ ー	体 育 館	" 10352-2	S 54年	1,627.8㎡	第1体育館(747.3㎡)・バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3面)・テニス(1面)・卓球(4台)、第2体育館(524.7㎡)・柔道(50畳)・空手道・剣道	
18		艇 庫	" 9707-2	S 54年	450㎡	カヌー(27)・O Pヨット(14)・12ftヨット(2)・カッター(2)・ボードセイル(9)ほか	
19		多 目 的 広 場	社3945-3	S 57年	11,279㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明	
20	常 盤 運 動 場	常盤3516-38	S 42年	9,845.41㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明		
21	やしろ公園運動広場	社8200	H 8年	5,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明		
22	社 体 育 館	社4953-4	H 29年	495㎡	バレーボール(1面)・バドミントン(1面) ※H 6年建築		
23	八 坂 運 動 場	八坂8408	S 50年	11,000㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・ナイター照明		
24	八 坂 テ ニ ス コ ー ト	" 8408	S 50年	1,636㎡	人工芝(2面)・ナイター照明		
25	八坂トレーニングセンター	" 11642	S 58年	1,703㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(2面)・バドミントン(4面)・卓球室		
26	八 坂 山 村 広 場	" 14850-120	S 60年	6,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明		
27	八 坂 ゲ ー ト ボ ー ル 場	" 14850-120	H 5年	1,467㎡	屋内ゲートボール(1面)		
28	八 坂 マ レ ッ ト ゴ ル フ 場	" 8411-2	H 5年	9,600㎡	18ホール		
29	美 麻 運 動 場	美麻14239	S 48年	6,492㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・各種スポーツ		
30	美 麻 丸 山 運 動 場	" 13707	H 4年	28,873㎡	ネットなし : 野球(2面)・ソフトボール(2面)・サッカー・ラグビー(1面)		
31	美 麻 テ ニ ス コ ー ト	" 14250-1	H 3年	5,857㎡	人工芝(6面)		
32	美麻 ゲートボール場	大 塩	" 3366	S 62年	1,171㎡	屋外(1面)	
33		千 見	" 28751-1	S 57年	2,531㎡	屋外(2面)・ナイター照明	
34		二 重 屋 内	" 8410	H 5年	1,411㎡	屋内(1面)	
35	美麻トレーニングセンター	" 11690-1	S 56年	650㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(1面)・バドミントン(3面)		

(学校施設)

	名 称		位 置	面 積	利 用 競 技 種 目
1	大 町 東 小 学 校	運 動 場	社6700	12,067㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)
2		体 育 館		1,002㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)・バドミントン(2面)
3	大 町 西 小 学 校	運 動 場	大町4773-3	13,169㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
4		体 育 館		1,486㎡	バレーボール(2面)・剣道・空手道
5	大 町 南 小 学 校	運 動 場	常盤3543-1	16,275㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・テニス(1面)
6		体 育 館		1,247㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
7	大 町 北 小 学 校	運 動 場	大町5806-8	10,215㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
8		体 育 館		982㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3面)
9	八 坂 小 学 校	運 動 場	八坂1090	8,190㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
10		体 育 館		1,027㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
11	美 麻 小 中 学 校	運 動 場	美麻27503	12,878㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
12		体 育 館		1,227㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
13	旧 第 一 中 学 校	運 動 場	大町4528	12,455㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
14		体 育 館		4,073㎡	バレーボール(4面)・バスケットボール(3面)・卓球(10台)
15	大 町 中 学 校	運 動 場	大町3759	14,198㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
16		体 育 館		1,487㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)
17	八 坂 中 学 校	運 動 場	八坂11648	9,388㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
18		体 育 館		1,198㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(4面)

※東小体育館では、バスケットボールとバレーボールは女子と中学生以下の男子に限り使用できる。

体育施設の利用状況

(人)

施設名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
大アリーナ	20,379	23,740	27,946	28,128
小アリーナ	12,592	13,046	17,188	15,743
トレーニングルーム	2,482	2,194	2,402	2,359
総合体育館会議室	614	1,167	1,524	1,358
陸上競技場	7,060	11,920	12,424	10,333
サッカー場	5,415	6,314	9,242	6,388
クレール庭球場	/	/	/	/
全天候庭球場	14,342	10,754	12,552	16,215
野球場	2,846	3,081	3,416	4,137
マレットゴルフ場	5,964	4,224	3,239	2,714
弓道場	2,689	2,997	3,636	4,027
多目的広場	10,128	11,797	9,093	9,077
第一屋内運動場	8,152	8,921	9,614	8,355
第二屋内運動場	25,914	24,630	26,619	27,434
第二屋内運動場会議室	1,200	872	1,145	1,737
多目的芝生広場	2,620	3,296	2,834	1,841
体育研修センター	790	1,246	636	192
B & G 第一体育室	6,162	7,882	6,725	7,823
B & G 第二体育室	3,321	5,941	4,015	5,075
B & G 多目的広場	873	2,818	1,582	1,780
B & G 艇庫	665	651	936	801
平野球場	2,537	1,438	2,640	3,427
平運動場	4,949	5,191	6,534	6,360
西公園体育館	8,793	9,522	10,912	11,240
西公園運動場	2,574	2,068	2,988	2,577
常盤運動場	10,548	7,203	4,021	4,023
社公園運動広場	7,761	11,638	7,082	5,988
社体育館	4,398	2,527	2,524	1,956
東小体育館	6,843	5,547	3,785	4,132
西小大アリーナ	7,497	7,488	7,176	6,942
西小小アリーナ	113	332	358	460
南小体育館	3,761	4,056	3,355	2,981
北小体育館	1,641	1,373	1,418	1,054
旧一中大アリーナ	5,459	5,650	7,048	5,581
旧一中小アリーナ	360	200	713	556
大町中体育館	5,201	6,149	5,928	7,928
大町柔剣道室	712	691	170	828
東小グラウンド	594	484	455	20
西小グラウンド	0	0	0	301
南小グラウンド	0	81	233	200
北小グラウンド	280	550	520	200
旧一中グラウンド	65	30	38	18
大町中グラウンド	0	200	1,153	706
八坂運動場	0	0	40	0
八坂テニスコート	0	115	25	8
八坂マレットゴルフ場	60	64	46	0
八坂トレーニングセンター	1,837	2,069	898	903
八坂山村広場	0	180	30	0
八坂ゲートボール場	727	48	80	0
八坂小学校グラウンド	400	450	0	0

施設名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
八坂小学校体育館	440	800	0	0
八坂中学校グラウンド	0	0	0	0
八坂中学校体育館	0	0	0	0
美麻運動場	60	0	0	0
美麻丸山公園運動場	8	96	0	250
美麻テニスコート	924	1,356	1,322	483
美麻トレーニングセンター	1,022	851	1,169	1,409
大塩屋外ゲートボール場	0	0	0	0
二重屋内ゲートボール場	0	118	245	0
千見屋外ゲートボール場	0	0	0	0
美麻小中学校校庭	0	0	0	0
美麻小中学校体育館	0	252	0	0
合計	213,772	226,308	229,674	226,048

スポーツ大会等開催状況

(令和6年度)

スポーツ大会等名	実施日	実施場所・内容	参加者数
令和6年度 市民スポーツ祭夏季大会	6月30日他	開会式 総合体育館（大アリーナ） 15競技	809人
木崎湖カップカヌー大会	8月18日	本部 木崎湖B&G艇庫	27人
第2回 大北駅伝大会	9月8日	会場 小谷村	2チーム 出場
第74回 大町市民登山	8月24日	爺ガ岳	20人
第23回 大北スポーツ競技会	9月29日	開会式 運動公園陸上競技場 10競技	678人
第41回大町 アルプスマラソン	10月20日	主催 アルプスマラソン実行委員会	2,261人
令和6年度 市民スケート大会	令和7年 1月26日	西公園スケート場	16人
令和7年度 市民スキー大会	令和7年 2月24日	爺ガ岳スキー場	110人

スポーツ教室の開催状況

(令和6年度)

教室名	実施期間 (回数)	実施場所・内容	参加者数
ママさん フリータイム広場	7月2日～3月11 日(全11回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 ニュースポーツ等 指導者 スポーツ推進委員他	135人
運動遊び教室 (年長児2クラス)	5月13日～10月 21日(2クラス 全20回)	会場 総合体育館、サッカー場他 内容 運動あそび 指導者 運動あそび講師	484人
少年少女海洋教室	7月15日～8月1 日(全3回)	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌーほか 指導員 B&G海洋クラブ員他	56人
ボディバランス教室	6月20日～3月 13日(全13回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 トランポリン・ヨガ・自重トレーニング ほか 指導者 スポーツ推進委員ほか	480人
小学生スキー体験会	1月25日	会場 爺ガ岳スキー場 内容 小学生対象スキー教室 指導者 スポーツ推進委員	49人
パーソナルトレーナ ーによるトレーニン グ講座	4月18日～3月 19日(全26回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 トレーニング 指導者 長谷川 幸	435人

令和7年度 教 育 要 覧

令和8年3月発行

発 行 大町市教育委員会

TEL 0261-22-0420

FAX 0261-23-7001
